

# 2013年 総明会会報

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

# 頂きを目指す

繋がる伝統を世界へ



# 明治中學校 校歌

作詞 武島 羽衣  
作曲 楠見恩三郎

## 一章

帝都の真中駿河臺  
遙かに望む富士のねの  
高きに理想の影追ひて  
集る健兒勇ましや

## 二章

学びの高嶺文の海、  
嶮しく荒き行末を  
懼れず笑みて進みゆく  
我等が意氣は天を呑む

## 三章

忠と孝の大糸を、  
色どる正義、愛、誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや

## 四章

世界に王たる日の本の  
國民の基と身をなして  
我等が校の名を揚げむ  
我等が國の威を揚げむ

# 校 歌

作詞 兄玉 花外  
作曲 山田 耕筈

## 一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が  
撞くや時代の暁の鐘  
文化の潮みちびきて  
遂げし維新の栄になふ  
明治その名ぞ吾等が母校  
明治その名ぞ吾等が母校

## 二、權利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ  
強き光に輝けり  
独立自治の旗翳し  
高き理想の道を行く  
我等が健兒の意氣をは知るや  
我等が健兒の意氣をは知るや

## 三、靈峰不二を仰ぎつつ

刻苦研鑽他念なき  
我等に燃ゆる希望あり  
いでや東亜の一角に  
時代の夢を破るべく  
正義の鐘を打ちて鳴らさむ  
正義の鐘を打ちて鳴らさむ



高橋克明君(高I)



岡田光平君(高III)



松田晴日さん(中2)

霊峰富士を仰ぎ見て  
明治魂は恒久なり

在校生が校舎屋上から富士山を撮影しました。



100周年記念式典／2012年11月17日

# 創立100周年 記念事業



MEIJI WALKER／2013年1月17日



人文字めいじろう／2013年1月8日

第2回スピーチコンテスト／2013年2月5日



東日本大震災被災地(女川)支援・サッカー交流／  
2013年1月12日～14日





入学式



## 学校行事

- 4月 入学式
- 5月 六大学野球応援  
中学修学旅行  
高校修学旅行
- 9月 中学体育祭  
高校球技大会
- 11月 紫紺祭



六大学野球応援



中学体育祭



高校修学旅行



高校球技大会

紫紺祭





北海道日本ハムファイターズGM 山田正雄



総明会名誉会長 向殿政男  
明治大学名誉教授

特集1  
明治発、世界へ

## さまざまな分野で 活躍するOB



BBCワールドワイド ジャパン 非常勤取締役 輪座克彦



ギタリストアントニオ・古賀



俳優 大竹 宏



邦楽囃子演奏家 望月太三郎



# 総 明 会



昭和59年開催の第20回総会において命名された。  
初代校長の鶴澤総明先生のお名前をいただき、かつ、  
明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。

## 目 次

第49回 総明会総会懇親会のご案内	2
総明会会長挨拶	4
校長挨拶	5
名誉会長挨拶	6
〔特集1〕 明治発、世界へ	9
〔特集2〕 新世輝の時代	34
「いただき」を目指す「品をあなたに」	40
教室の頂点	42
100周年記念事業	43
学校報告	55
活動報告 同期会	65
班クラブOBOG会	65
平成25年度総明会活動報告	146
前年度幹事学年挨拶	160
編集後記	173
総明会 会則	167
100周年記念事業寄付への御礼	165
第49回総明会御寄付者一覧	164
本年度幹事学年挨拶	162
次年度幹事学年挨拶	161

(学) 明治大学 理事長

日高憲三

明治大学長

福宮賢一

明治大学付属

明治高等学校・中学校 校長

金子光男

(明治大学政治経済学部教授)

日 時:平成25年11月10日(日)  
総 会:午後4時から  
懇親会:午後5時から(受付開始 午後4時30分)  
場 所:ハイアット リージェンシー東京 B1F  
電 話:03-3348-1234 新宿区西新宿2-7-2



# 第49回総明会 総会・懇親会のご案内

拝啓

初秋の候、総明会会員の皆様におかれましては、  
益々、清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、早いもので、本年の総会・懇親会を、ご案内する季節になりました。

母校は昨年の創立100周年を経て、新たな時代へのスタートを切りました。

今年は昭和61年卒「新世輝(しんせいき)」が幹事学年を務めさせていただきます。

今年は、100年の歴史と伝統を今に伝え、その思いをもつて世界に羽ばたく精神を

「頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ」

というテーマに設定し活動して参りました。

年に一度、同窓の仲間と酌み交わす旨酒に今年も酔いしれてみてはいかがでしょう。

どうぞ、同期の方にお声をかけていただき、

またご家族の皆様も、一緒に西新宿にお集まりいただきたく、ご案内申し上げます。



## ハイアット リージェンシー東京のご案内

### ■徒歩でのアクセス

- 新宿駅西口より徒歩約9分
- 地下鉄大江戸線 都庁駅A7出口  
C4連絡通路経由で徒歩1分
- 地下鉄丸の内線 西新宿駅より徒歩約4分

### ■新宿駅より無料シャトルバス

新宿駅西口 小田急ハルク前35番のりばより20分間隔で往復運行(毎時10・30・50分発)

[所要時間: 約10分程度] 運行8:00~22:00





## 会費案内

今年も会費事前納付制度を実施いたします。当日のお支払いにくらべ、1,000円割引させていただきます。ぜひ、ご利用ください。  
事前納付のお振込み先につきましては、下記をご覧ください。

	事前納付	当日払い
一般会員(昭和47年から平成13年までのご卒業)	9,000円	10,000円
シニア会員(昭和46年以前のご卒業)	7,000円	8,000円
ヤング会員(平成14年から21年までご卒業の社会人)	5,000円	6,000円
学生会員(大学生・大学院生)	2,000円	3,000円
ご同伴者(上記会員が同伴する会員以外の方)	4,000円	5,000円

## お得な事前納付をお勧めします。

## 会費 事前納付振込先

10月31日(木)までに納付をお願い致します。

入金確認のため、氏名の前に卒業年を入れてください。ATMでの振込名義の変更は可能です。

例：

昭和年代卒業の方：61メイジ コウタ

平成年代卒業の方：ヘイ10メイジ チュウタ

個人名義の同行口座間のATMおよびインターネットバンキングを利用した振込は無料です。ATMでご利用の場合、時間外手数料が発生するケースもあります。

※なお、一旦納付された会費につきましては、お返しできませんのでご了承ください。  
当日欠席された場合は、貴重な浄財といたしまして、総明会活動に利用させていただきます。



第49回総明会のテーマ  
「頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ」に基づきまして、世界で認められた伝統音楽と現代音楽のコラボレーションをお楽しみいただきます。

演奏者

昭和61年卒業 望月太三郎(杉浦邦雄) 中村隆之

ゆうちょ銀行 振替口座

昨年と異なります

記号：00180-5

番号：549451

名義：第49回総明会総会懇親会

名義カナ：ダイヨンジユウキユウカイ

ソウメイカイ ソウカイコンシンカイ

三菱東京UFJ銀行

昨年と異なります

支店名：荻窪支店(店番157)

預金種類：普通預金

口座番号：0156212

名義：第49回総明会総会懇親会 清水 稔夫

名義カナ：ダイヨンジユウキユウカイ

ソウメイカイ ソウカイコンシンカイ

シミズ トシオ

- 第四十九回  
総会式次第(案)
- 一、開会の辞
  - 二、会長挨拶
  - 三、議長選出
  - 四、書記選出
  - 五、議事進行
  - 第一号議案 会務報告
  - 第二号議案 会計報告
  - 第三号議案 監査報告
  - その他
  - 六、閉会の辞

※まことにお手数ながら、出欠につきましては、同封のがきにて、または、総明会ホームページよりご連絡をお願いいたします。  
なお、出席のお知らせをいただいていない方でも、直前に出席可能になった方等、ご連絡をいただかなくても出席可能ですのでお気軽にお運びください。 総明会ホームページ：http://meiji.cside7.com/

## 第49回 総明会によせて

総明会会員の皆様、昨年は「母校創立100周年事業」に多大なるご支援・ご協力を頂きまして誠に有難うございました。母校の学生達も「鶴澤総明基金」を活用して、今後十年以上、海外語学研修や国内外の活動に活躍の輪が広がって行くと聞いております。これも母校を愛する会員皆様の温かなご厚意と、深く感謝を申し上げます。

明治大学付属  
明治高等学校・中学校  
同窓会 総明会会長  
**尾島育四郎**



さて、今の学生達を観ていますと情報量の多さに驚きます。頭と心が何時休んでいるのかと感じます。確実に時代が変化して様々な価値観が多様化しています。私なりに解釈しますと、数百年から数千年前の人類が経験してきた時代考証が参考になります。まずは、人類文明の発展において、一、言語の発明・二、文字の発明・三、紙に印刷術の発明が人類の三大発明であると言われております。

特に印刷技術の発展は素晴らしいもので、かつては社会のごく一部の階層にしか読まれることは無かった書物が、一五世紀半ばグーテンベルクの活版印刷技術発明以降、次第に書物は普及し、誰でも読むことが可能になり庶民文化も飛躍的に向上しました。欧州初の活版印刷書籍は聖書でありました。アルファベットは二六文字しかないため、漢字文化圏に比べて活字の数も少なくて済む利点があり、ルネサンスの三大発明と言われる「火薬・羅針盤・印刷術」と共に、人々の生活も飛躍的に向上致しました。しかし、史上初めて木版印刷及び活字印刷を行ったのは中国であります。ただ中国・日本のよ

うな漢字文化圏においては、活字の数が膨大なため、活版印刷はあまり定着しませんでした。

現在はまさに第四の波・インターネット革命です。驚く情報技術革新で今迄に無い新たな世界で歴史を刻んで行くでしょう。

ただし、時代が変わっても人間同士の絆は変わらないのではないのでしょうか。毎年総明会幹事学年と一年間仕事を通じて感じる事は礼儀作法や社会的集団生活に於ける規律が実によく出来ています。明治高校出身者の母校愛や意識の高さに人間的な魅力を感じ敬意を表する次第です。これこそ母校の「質実剛健」「独立自治」なる建学の精神そのまます。まさに総明会は今後共こう在りたいものです。

建学の精神を、  
今、新たに思い起したい  
— 向こう100年の  
本校の発展のために —



明治大学付属  
明治高等学校・中学校  
校長

金子 光男

わが校の建学の精神である「質実剛健」「独立自治」は、確たる資料はないものの鵜澤初代校長によって据えられたものであろう。これはまた、大学の「権利自由」「独立自治」に呼応したものである。ことは想像に難くない。そして、大学史によれば、岸本辰雄の講義、講演で語られた彼の熱い理想がこの言葉に凝縮され、それが大

学建学の精神を明示するものとして定着したようである。

このように、これらの言葉の由来をたどってみれば、そのいずれもが岸本、鵜澤の生きた社会や時代、要するに歴史とかけ離れたものでないことがよく分かる。

では、その歴史とは何か。本大学の創立期は、それまでの政府による近代化のための諸政策が西南の役を乗り越えて、ようやく功を奏しつつある時期に当たったが他方で、藩閥政治の矛盾が覆いがたくなってきた時代でもある。かくて、明治六社以来の自由・民権の思想が国会開設という政治運動に結実し、政府もこれに抗しきれず、ついに1881（明治14）年、詔勅によってその要求を約束せざるをえなくなった。折しも、本学創立の年である。岸本の説く「権利自由」「独立自治」は

こうした時代を背景とする。この言葉にこめた彼の意図を一言に約せば、それは当時の啓蒙思想家たちと同様、人々のいまだ封建的な心情に特有の、お上（かみ）に対する依存心を克服させ、もって独立人格の育成にあったと言えまいか。この目的を彼は、自由主義的フランス法教育

や健全な法意識の涵養を通して達成しようとしたのであろう。

とすれば、岸本、鵜澤の教え子である我々は、彼らの建学の言葉を勝手な解釈にまかせてはならない。殊に「独立自治」とは、ただ放任された人間によって自然に為しとげられるほどヤワなものではない。厳しい指導と幅広い勉学がその基になければなるまい。「一身独立して一国独立す」と称えた福澤諭吉は、硝煙あがる江戸の幕末期、これを物とせせず塾生らと共に、必死になって英書を読み続けたと言っではないか。

今年は、本校の新たな100年を目ざす記念すべき年である。ここに改めて両先生らが唱えられた建学の言葉を噛み締め、心を新たに日々を歩むすがとしよう。されば、付属の明日はさらなる輝きを増すにちがいない。

## 明高魂～ 伝統の継承と 時代への対応、そして 新旧の融合～

明治大学付属  
明治高等学校・中学校  
同窓会  
総明会名誉会長  
**向殿政男**



総明会の総会・懇親会の担当をホスト学年制にしてから、何年経つのだろうか。現顧問の山崎敬生先輩の発案で始まったと聞いているが、働き盛りで忙しいさなかの45才前後で引き受ける訳であるから、それは大変だろうと思われる。それにしても、実に良く、毎年、ホスト学年がバトンを受け渡して、続いて来たものである。いつか途切れるかもしれないと、本

気で心配をしていた時期もあったが、実際にはこの伝統は、脈々と引き継がれて今年もまた昭和61年度卒の新世輝にバトンが渡された。これも、明高魂の一つのあかしではないだろうか。

普段は余り関係していなかった卒業生でも、その時期になると母校のため、音頭を取る人が必ず現れて、同期を中心に一丸となり、一致協力をして、困難な役割を果たして、これまで次々と引き継いできた。与えられた役割をきちっと果たす、逃げない、自主的に、工夫を凝らし、自分達で主体的に取り組み、そのこと自身を面白くして、皆で盛り上がる。更に、これを機に同期の絆を強め、益々明治が好きになって行く。不思議な仕組みである。私の同期もそうだった。この仕組みが明高魂を養い、活動した卒業生がまた明高魂を強めていく。これが伝統というものだろう。

是非、この伝統を引き続いて行つて欲しいものである。変わるのは時代の常。新しい時代に対応する総明会になって行つて欲しい。そして、新しい総明会の文化を築いて行つて欲しいものである。た

だし、質実剛健、権利自由という建学の精神と上記の明高魂という基本は決してぶれてはいけない。

母校が神田猿楽町から西調布へ移り、男女共学となり、新しい母校の歴史が始まった。新しい時代に相応しい、総明会の新しい盛り上がりをも自分たちの感性で創り上げて行つて欲しい。ところで、今後、最も興味のあることは、上記の建学の精神と明高魂という基本線を保った上で、文化の異なつた神田猿楽町時代の卒業生と西調布の卒業生とが、今後、如何に融合して、伝統を連続的に継承をして行くかである。この点で我々には巧くやつてきた経験と歴史がある。旧制明治中学の卒業生と新制明治高校の卒業生、この大変革期における連携と伝統の継続である。実に巧く融合し、一体化してここまで来ている。是非、この歴史に学び、ホスト学年制のバトンの継承と共に、新しい時代にふさわしい総明会の構築をこれから卒業生に期待したい。



# 総明会

会長

四十一年卒

尾島育四郎

41明友会

副会長

四十四年卒

関谷 芳久

男坂倶楽部

副会長

四十五年卒

吉田耕太郎

獅子の会

副会長

五十一年卒

井家上哲史

明々会

専務理事

五十年卒

山崎 秀樹

明紫会

常務理事

四十三年卒

中村 正容

紫讃会

事務局長

五十四年卒

熊倉 章雄

明誠会

会計

五十六年卒

狩野 智雄

明翔会

## 第49回総明会総会・懇親会

総明会会長（昭和41年卒 41明友会）

尾島 育四郎

〒150-0001 渋谷区神宮前5丁目41-6

昭和44年卒  
総明会  
副会長

関谷 芳久

男坂倶楽部

昭和50年卒  
総明会  
専務理事

山崎 秀樹

明紫会

昭和51年卒  
総明会  
副会長

井家上哲史

明々会

昭和45年卒  
総明会  
副会長

吉田耕太郎

獅子の会

昭和56年卒  
総明会  
会計

狩野 智雄

明翔会

昭和54年卒  
総明会  
事務局長

熊倉 章雄

明誠会

昭和43年卒  
総明会  
常務理事

中村 正容

紫讃会

総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎 敬生



市原企業株式会社 代表取締役  
〒299-0102 市原市青柳2-1-23

昭和36年卒

総明会 名誉会長  
明治大学校友会会長

明治大学名誉教授

向殿 政男

TEL.03-3701-1691

祝 第49回総明会総会

猿楽会

昭和26年卒

総明会 顧問 総明会前会長

弁護士 佐久間 洋一

昭和43年卒 紫讃会

事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-12-1 第2寿ビル7階

電話 03-5568-6646 ファックス 03-5568-6648

URL <http://www.sakuma-law.com/>

〒二六、〇〇〇三  
荒川区南千住二、三四、四  
電話 (三八〇一) 六八三〇

重盛元也

明治高校PTA顧問  
明治白駿会

登録商標 ゼイタク煎餅  
東京名物 重盛の人形焼

寺村梱包株式会社

取締役会長 寺村武二  
(昭和26年卒猿楽会 水泳部OB)

代表取締役 寺村一義  
(昭和56年卒明翔会 バスケットOB)

東京都文京区本郷2-19-11  
TEL 03-3813-6686  
FAX 03-3813-6689  
<http://www.teramura-pack.co.jp>

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

特集  
1

# 明治発、世界へ

総明会名誉会長  
向殿政男

北海道日本ハムファイターズゼネラルマネージャー  
山田正雄

ギタリスト  
アントニオ・古賀

BBCワールドワイド ジャパン 非常勤取締役  
輪座克彦

邦楽囃子演奏家  
望月太三郎

俳優  
大竹 宏

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

総明会名誉会長

特集1  
明治発、世界へ

# 男政殿向

「昭和生まれの“明治”育ち」





「明治魂、明治はかにここまでなるとは思ってもみなかった。」冒頭にそんな話から始まった。

昨年度末で明治大学理工学部教授を定年退職され、現在は明治大学名誉教授、総明会名誉会長として「多忙の中、お話を伺った。

### 【中高生時代】

私は木場の「木材屋」の次男として生まれ、親からは高校までで跡を継ぐように言われていた。疎開から帰ってきて、小学三年で当時の明治小学校に入り、兄や弟は早実（当時は大学推薦がなく高校で終了であったため、親の薦める進学先であった）に入った。当時の中小企業の跡取り息子たちは、高卒で家業を継ぐことがよかれとされていた。

しかし、自分は明治中学を受け、早実も受かったが、親に了承をとり、明治に入ることとなった。（明治「とにかく入りたかったので、とても嬉しかった」

明治中学高校時代は、とても有意義であった。（明治中は、当時みんな丸坊主にされたので、すぐ明治の生徒とわかった）

当時は、とてもおとなしい性格で、最初マンドリン部に入ったが、同期の久保田孝君や二年上の伊東さん（アントニオ・古賀氏）がいて、プロ並みに演奏が上手で、とてもついていけないと辞めてしまった。

しかし、野球部がとても強く、応援団はあったがブラバンがなかった、当時の釜谷先生から、「マンクラをやっていたなら、お前がブラバンを作れ」と言われ、同期の仲間数人と吹奏楽班を結成した。最初は演奏も下手で、同期の久保田君が行進曲を作曲してそれを運動会で披露しようとしたところ、チーター（松枝先生から「下手くそだからやめてくれ」と言われた思い出がある。チーターとはにかく元気だった。みんなもよく知っていると思うが、雪の日は、裸で、共立女子高校前まで走らされた。私は一度も殴られなかったが、今ではありえない、はちゃ

●むかいどのまさお  
一九四二年生まれ。  
総明会名誉会長  
明治大学校友会会長  
明治大学名誉教授

めちゃんな教師かもしれない。しかし、命日には多くの卒業生が集まる、とても魅力的な部分を持った教師であったと思っている。

当時の学生は、中小企業の跡取りが多く、とくに都内東側の下町地区の生徒が多かった。私も都電で通っていて仲間がいっぱいいた。（深川不動尊を通る十五番電車と記憶している）

私は当初、大学に行く予定はなかった。家業を継ぐものと思っていた。しかし、高校三年のとき、地方からの集団就職で人がいっぱい来たので、大学に行けることとなった。私は、暗記物（社会や国語は苦手で、数学や理科が得意だったので、工学部電気工学科に進んだ。

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

総明会名誉会長 向殿政男

# 「大学時代」

大学時代、ひとつは、スポーツに目覚めた。生田合気道部の創設部員の一人で、監督となり、その後、明治大学に就職したことから、定年になる昨年度まで会長（部長）を務めた。また、スキーが大好きで、毎年、GWには夏スキーとして槍ヶ岳の涸沢に行き、スキー板を担いで山頂から一気に滑る、一日四本ぐらいしかできないが、就職してからも続けていた。（天候が悪化して帰れなくなり、危うく授業に間に合わなくなるところだったことからそれ以降夏スキーはやめた。）

また、麻雀も始めた。「神保荘」という麻雀荘があって、そこのおばさんと仲が良かった。基本的に御茶ノ水で仲良かったのは麻雀荘のおばさんである。昼休み



に半荘だけやる予定で始めるが、わかると思うが当然、午後一番の授業には間に合わない。「化学」の授業には1回も出なかったかもしれない。

授業料を稼ぐため、明治高校の先生の紹介で家庭教師をたくさんしていた。書道習っていたことから、家庭教師においても役立った。

大学では工学部電気工学科及び電子通信工学科で、特にコンピュータが発展して行く時代で、その関連の研究を熱心に行った。当時はあまりコンピュータの分野は主流ではなく、研究成果や研究内容が注目されていたことから、アメリカ大手のコンピュータ関連の企業からの就職の引き合いや、大学院の後藤以紀先生の勧めで、電気試験所（今言う産業技術応用研究所）に実習生として研究に加わり、様々な成果をあげたことから、研究所から就職の勧誘があった。しかし、明治大学からの強い勧誘により、大学に残り、はじめは専任講師として教鞭に立ち、教授となり、様々な企業との先進的な共同研究を行い、国際的にも認められてきた。このように、大学生時代において「明治一筋」の道が開かれたのである。

# 「現在」

学生で十五年、大学の教師として四十三年勤め、合計五十八年間、「明治」と関わってきた。今考えると、明治中学高校時代、いったいいい先生がいた。大変、お世話になったと思うている。

何か「明治」には、好きになる魅力がある。今では、明治中高や明治大学に父母会のOB会がある。この方たちは、明治の卒業生ではない人が多い。お子さんが明治ということ、とにかく盛り上がりつつある。大変、ありがたい。感謝である。卒業生も、卒業してしばらく経ってからだんだん好きになる人も多い。総明会幹事学年もその一つのきっかけだろう。皆さん大変、感謝している。正直言って幹事学年の方たちが一生懸命頑張っている。総明会を運営している。こんなに長く続くなんて思ってもみなかった。

明治「が好きになる理由、いろいろ考えた。『質実剛健』のもと、意外と自由であり、多様性があることのよさがある。また、個人を認めて何事にも自由に責任をもってやるのが好きになる。そんな自然体の要素がいいのであろう。

スポーツで新聞に記載されていた「泥

# 「昭和生まれの“明治”育ち」

臭く常に前へ」というフレーズがまさに明治「イメージ」に合っていて飾らない雰囲気、それがいいのではないか。

卑怯なことはしない、前向きに愚直にやるのが好き、世間に、恥ずかしくないように努力する。その意気込みが、明治が愛される理由となるのであろうと思う。

「これから」

定年で教育に関するマネジメントをしなくてよくなった。在職当時は、学部長も勤めていて、学生たちの生活面も指導育成した。様々な学生を救ったと思っている。いつときの軽犯罪はありえる。それを頭ごなしに「悪」とすることではなく、前向きに成長させる教育をすることが大事である。

在任中も、教育が一番。暇があれば研究というスタイルでやってきた。教育は本当に面白い。いろんなタイプの学生と一緒に研究や交流することは、自分にとって、とてもプラスになる。私のモットーは、「その場にいったてを好きになる」である。自分が常に精進し、その場を面白くしていく。そのエネルギーが自分や周りを幸せにすると考えている。

これからは、「安全学」をさらに研究していきたい。これには、例えば国の省庁でも様々、多岐に渡る分野があり、将来的に必要な課題である。エレベーター事故など、いろいろと関わってきたが、企業や消費者、被害者など、いろいろな立場がある。私は、立場を超えて中立に公平公正に科学的な見地から研究を進めていきたいと考えている。

「現在の明中高生に」

とにかく、明治を好きになってほしい。自分で好きになることをしてほしい。総



明会もそのひとつ。自分の個性をしかり持って、基礎的知識や根本を掘り下げる探究心を忘れないでほしい。

また、対人関係として、自分の信念をしかり持って他人の意見を聞き価値観を認める。このことがこれから世の中を渡る大事なことだと思ふ。

さらに、時代は変わっていくのでその時代をみて生きていく。「不易流行（ふえきりゅうこう）」という言葉がある。根本を変えるな、しかし時代に対応しろという意味。人を裏切ったり、ごまかしたりしない、間違ったときは素直に謝る、そのような人間になってほしい。

この取材を通じて、我々、会報委員は、生きていく上で“ものすごいエネルギー、やる気をもたらした。なおかつ、明治はか”の精神がふつと沸いてくるのを感じた。取材した日、御茶ノ水で「明治」談義が大いに盛り上がったのは言うまでもない。

向殿先生、ありがとうございました。これからも更なる活躍を期待しています！

特集1  
明治発、世界へ

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ  
北海道日本ハムファイターズGM

やまだまさお ●  
一九四四年生まれ。  
六三年、大毎オリオンズ入団。  
二〇〇七年から北海道日本ハム  
ゼネラルマネージャー。

# 山田正雄

「何ごとにも真剣」

明治大学が春季リーグ  
優勝を決めた試合。ネ  
ット裏からグラウンド  
を見つめる





「第一巡選択選手、北海道日本ハム。大谷翔平、投手、花巻東高校」

会場がどよめき、拍手が巻き起こった。メジャー入りを表明し、日本球団からの指名拒否をしていた大谷を北海道日本ハムが単独指名。北海道日本ハムは、前年のドラフトでも、原監督の甥で巨人入りを熱望する東海大の菅野智之投手を一位指名し、入団拒否されていたが、山田正雄ゼネラルマネージャー（GM）はマスコミに対して毅然と話した。

「球団として、例年いけばん力がある選手を指名してきた」

二年連続で「ドラ1」を逃す危険がありながら、素質のある選手を集め、主力に育て上げていくチームの指針を貫いた。大谷は、メジャー入団を掲げながらもプロ志望届を出していた。山田GMはそこに着目した。

「本当の目標は、パイオニアになることだと言っんです。そこで、前人未踏の二刀流と一緒にチャレンジしていこうという事になった」

北海道日本ハムに入団した大谷は、投手と野手の二刀流を実践。早くも今、夢が形になろうとしている。

山田GMも明治高校時代はエースで中軸打者だった。一九六三年、大毎オリオンズ（現千葉ロッテ）に入団後は野手に専念。六八年には三割をマークしたが、近藤貞雄コーチの助言で、七〇年に投手に転向。だが、勝ち星をあげられないまま二年後、野手に再転向した。

「私の場合は選手層の薄い時代。ピッチャーがいなかった苦肉の策です」

明治高校（中学）は、春夏を通じて七回甲子園に出場しているが、エース山田正雄を擁した六〇年から六三年は出場を逃している。

「神宮に近い青山中学に通っていました。六大学野球でプレーすることにあこがれて明治高校に入りましたが、入った途端に後悔しました。松田龍太郎監督という伝説の人が指導していたからです」

一年の秋、勝てば選抜に出場できた準決勝日大ニ高戦。三対二で迎えた八回裏ニアウト満塁。ライトを守っていた山田GMがフライを落球して逆転され敗戦。

「十一月三日で、もう寒かった。当時のアンダーシャツはウール製で暖かいんだけど、大学からのお下がりだから縮んでいて動きにくい。ちょうど手首も痛めて

いて、グローブをしつかり握れなかった。グローブに入ったボールをポロリと落とした感覚は今でもはっきり憶えている」  
伝説の松田監督は山田少年を許さなかった。

「仲間の一人からは『どれだけ殴られるか分からないけれど頑張れ』と励まされた。部屋で正座して待っていると、監督が竹刀を手に飛び込んできて『切腹しろ』と。竹刀だと思ったら自身の日本刀だった。とっさに土下座しました。手を前に出したところ、日本刀が床にささった。指の三センチ先ですよ。励ましてくれたチームメイトはセンターを守っていて彼もきちんと声を出さないからだと私と同じくらい殴られていました」

二年夏の準決勝帝京高戦では、セカンドへのスライディングの際にスパイクされ、十針縫う怪我で戦線離脱。

「もう、そのころから野球部を辞めたくて仕方ありませんでした」

甲子園出場への意欲が湧き上がらないまま迎えた三年最後の夏。五回戦で田淵幸一を擁する法政一高と対戦した。

「相手はデータを取って、こちらを研究していた。カーブかストレートか、球種

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

北海道日本ハムファイターズGM 山田正雄

が分かっていて、きっちりバットを振ってくる。配球が完璧に読まれていました」山田GMは、家庭の事情で明治大学に進学しなかった。野球部OBの小泉孝一氏が当時を回想する。

「柴崎グラウンドでの日大三高戦で、山田さんが十人連続三振と圧巻のピッチングを披露した。試合が終わった後、部室で山田さんが弁当を食べてた。周りに大学の野球部員がたくさんいるなかで、堂々とよく食べるな、と思った」

六大学で野球をやりたい。山田少年が中学時代から抱いていた夢を諦めたころだった。心が荒れていた。

「中学卒業のとき、『神宮で会おう』が野球部の仲間との合い言葉でした。でもある夜、入学金をどうしようかと親が話しているのを聞いてしまったんです」

夏の大会が終わわり、プロ入りを打診する話が八球団からきていたが、それを明大・島岡監督が、「大学に来るから」とすべて断っていた。だが、大毎オリオンズ

のスカウトだけが、家庭の事情に気が付いたのだ。

「プロ入り一年目、二軍で打率四割と好調で、六月に一軍に呼ばれました。デビューは神宮球場。その年に出場したジュニアオールスターも神宮でした」少年時代の夢が違う形で実現した。だが、十二月に肋膜炎を発症してしまふ。

「翌年のハワイキャンプに参加。首脳陣の期待に応えようと、風邪をひいていたのに無理をしてみました。体が熱いので冷やすために水風呂に入った。いま考えるとまったくの無知ですよ」

体をこわし、実家での療養を余儀なくされた。二年目は試合出場なし。一軍で



野球部OB小泉孝一氏と

の試合出場は翌六五年四試合、六六年六試合と、体調を崩した影響は大きかった。実働十年、打率二割四分二厘、三十安打、七三年、二十九才で退団。サラリーマンに転身する。両国にある小さな下着メーカーの営業だ。

「世間から比べたらプロ野球生活は楽ですよ。その楽が染みついていたから辛かった。自宅を六時に出発。夕方、もうお腹が空いて我慢ができないころに、納品が間に合わない、下着の袋詰めを遅くまでさせられる。駅前の焼鳥屋での接待で使った五千円の領収書も落としてもらえない。そうした世間並みの辛さを理解するまでが大変でした」

八六年、日本ハムの監督に二度目の就任をした大沢啓二監督から、スカウトの声がかかった。

「大沢さんからは、四十才で呼んだけれど、実績もないし何年も保証できないと言われました。一年一年真剣に思い切つてやらなきゃいけないと気を引き締めた。仕事をやり始めたら天職だと感じました。元選手のスカウトは、野球はやるものという感覚が抜けない。私は野球を見るのも……むしろ見る方が大好きでしたから」

# 「何（なん）とにも真剣（まけん）」



高校で野球が嫌いになりましたからね」

スカウト時代は、アマチュア選手に意識させないように、姿を隠しながら活動をしていた。

「プロの選手として活躍するためには、しっかりと自分を持つていないとダメ。やれと言われれば一生懸命やるのではなく、自分から進んでやらないとダメ。その姿勢を見るために、目立たないようにしていました」

森本稀哲（現横浜DeNA）も、山田GMがスカウトした一人。帝京高時代の森本は、グラウンドで自分の守備位置を黙々とトンボ掛けしてならしていた。

「スカウトがきていると知っていてやっているのかと勘ぐって、高校の隣にある帝京病院の四階からグラウンドをこっそり覗き見たけれど、やっぱりきちんとやっている。これは本物だと思い、指名に繋がりました」

二〇〇七年、GMに。ダルビッシュ有のメジャー行きや、主力選手のトレードなど、チーム編成でも貫く姿勢に対して、ときにはファンからの不満も届く。

「ファンから『おまえが辞めろ！』と言われました。でも、個人の成績だけを重視するのではなく、チームの将来を見すえた中長期的な考えが必要。今大事なのは、自分のことだけに専念してリーダースhipのとれない中堅選手よりも、稲葉や金子誠の後任が必要な時期」

さらに、プロ野球選手であると同時に

社会人としての考え方や、選手の退団後の人生についても、山田GMは思いを巡らしている。

「選手の意識も変えていかなければいけない。高校を出て十年たったとしても、まだ二十代。残りの人生は四十年以上ある。昔は高いお酒や高級車、高級クラブに行ったりすることがステータスだったけど、いまは違います」

北海道日本ハムでは、入団後、選手は講習を受け、レポートを提出する。セカンドキャリアを見据えての一環である。

「やはり、十年以上のサラリーマン生活が、自分にとって糧になっていきます。どんな状況に身を置かれても、とにかく一生懸命に全力を尽くしてきたことで今に繋がっている。これから社会に出る明治高校のみなさんも、希望した職業につけなかったからといって、その境遇に不満を言わずに、一生懸命にその仕事をすれば、必ず道は拓かれますよ」

特集1  
明治発、世界へ

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ  
ギタリスト

# アントニオ・ 古賀



# 「音魂と心音」

おとだま

こころね

まさに、音魂だ。

おとだま

ギターの調べと歌声に魂がこもる。ライブで聴くアントニオ・古賀氏の演奏に心が揺さぶられた。

「いまは、温もりと『こころね』のある歌が少ない。心音のある歌は、親と子、そして孫と歌い継がれていく。古賀メロディはもちろんですが、世代を超えて聴かれ、歌われる歌をコンサートやライブでは歌っています」

アントニオ・古賀氏は、昭和三十三年（一九五八）年、十七才で、古賀メロディをラテンにアレンジした『フラメンコ・スタイル古賀メロディ』でデビュー。『その名はフジヤマ』などを送り出し、瞬く間に人気ミュージシャンとなった。

「当時のコンサートでも、古賀メロディを弾いてはいたものの、自分の音楽とは違うと思っていました。でも、海外で演奏するようになって、気持ちが変わってきた。ラテンの本場で日本の曲を弾くと、お客さんが涙を流して感動してくれる。



現地の曲を弾いても、日本人にしてはよくやっている程度の反応しかないのに」

エチオピアで、『影を慕いて』を演奏したときには、涙を誘うはずのサビの部分で観客が熱狂。キューバでも、現地のミュージシャンと古賀メロディをセッションして観客を魅了した。

「古賀メロディの継承はもちろん、日本人は日本の曲を大事にしていかなければならないとの思いを新たにしました。若い人から『高齢の方まで、みんなが口ずさめる曲をもっともつと伝えたい』

理事長を務める公益社団法人高齢者文化振興事業団・虹の会で、二十数年のあいだに、全国の特別養護老人ホーム四十九カ所を訪問。「ステージから『元気ですか

ーっ！』と声をかける。職員の若い人たちには、『アントニオ猪木じゃないよ』、六十歳以上の人たちには、『アントニオ元氣に改名した』と言うと、どっとウケる。私の音楽で、元氣になってもらうかわりに、私もみなさんから、拍手や感動で『氣をいただく。これが何よりの健康法』

十年前に再婚し、現在九才の男の子の父親でもある。精力的な古賀氏だが、平成二十二年（二〇一〇）年、六十七才のときに、ガンで胃の五分の四を摘出。入院中にアルバムを構想を練った、古賀メロディをキューバのミュージシャンがアレンジ、古賀氏と共演し、現地で録音。『Nat's Mood〜アントニオ・古賀の世界』としてデビュー五十周年を飾るアルバムができあがった。

古賀氏がキューバを訪れたのは、平成六（一九九四）年。理事長を務める日本ラテンアメリカ音楽協会で、コンサートの収益を毎年届ける活動の一環だった。百台のピアノに始まり、ギターを百本贈り、『アントニオ古賀基金』も設立。

「キューバは古き良き日本そのもの。貧しくて夢や希望がある。人と人との連帯感や親子のつながりがあり、他人への

# 頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ ギタリストアントニオ・古賀



十七才で  
古賀政男氏の内弟子に。

二〇〇〇年にカストロ元議長と会談。  
二〇〇八年に、連帯大勲章を授与された

気遣いもある。物がないから、私が持っているボールペンをほしがる。でも、あげると、お返しに葉巻をくれる。教育も行き届いていて、治安はいい。もちろん音楽は街中に溢れている」

以来、キューバには、二十回以上訪問し、結婚式も現地で挙げた。

楽器の寄付や、キューバ音楽の普及と発展に貢献が認められ、古賀氏は、文化功労賞、連帯大勲章をキューバ政府から授与されている。

古賀氏が寄贈したピアノで音楽を学び、プロになった全員の音楽家が、「来日して日本人に恩返ししたい」と、東日本大震災の被災地で古賀氏とともにチャリティコンサートを行った。

「結局は人と人との縁です。キューバでの私の結婚式にはカストロ元議長の長男夫婦も出席してくれました。また、今年、四男のアントニオ・カストロ氏が乃木神社で結婚式を挙げ出席させていただきました。」

キューバとの国際交流が盛んな古賀氏は、築地の生まれ。父を戦争でなくし、場外で蒲鉾店を営む母親が、女手一つで古賀氏を育てた。

「子どものころは、お店を手伝いました

よ。店先で、『この蒲鉾はモノが違う。焼津の蒲鉾だ！ 表面のツヤが違う。板からはずせば弾力が大違い』なんてやってた。小学校三年生のちっちゃいのが、威勢よく啖呵売するのを面白がって、みんなよく買ってくれた。蒲鉾屋だけに、商売が板についてた。お袋も私が売るのが儲かるから、店に出てこない。重い竹輪だとか、なることを冷蔵庫から出して、自転車に載せて配達もした。東京は坂道が多いから苦労しました。それが今でも、血となり肉となって身に付いている。ライブでのトークにも、店先の啖呵売で鍛えられたことがいきてる」

落語や観劇が好きだった母親に連れられて観た古賀政男ショーで、クラシックギターの旋律に魅了されたもの。このころ、シヨールに出演していた阿部保夫氏のもので、ギターを学ぶことになる。

思春期のころは、ロカビリー全盛時代。「明治高校の文化祭でギターを弾いても、周りは坊主頭の男ばかり。クラシックギターじゃ、ロックみたいに女のコにもてないでしょ。トリオ・ロス・パンチョスが、ギターを手にムードたっぷりに歌っていた。これだ！ と飛びついたのがラテン

# 「音魂と心音」

おとだま

こころね

あんとにお・こが●  
本名、伊東貞行。  
一九四一年生まれ。  
『フラメンコ・スタイル 古賀メロディ』で歌手デビュー。



との出会い」

コンクールでの全国大会優勝など、高校在学中から、ギタリストとしての才能を発揮し、阿部保夫氏との関係で、古賀政男氏との面識もあった。早くから、芸能の世界とは繋がりがあった古賀氏だが、語ってくれた明治高校時代の楽しい思い出からは、等身大の高校生の姿が浮かび上がる。

「校庭で、手で打つ野球が流行ってました。グラウンドを取るために、朝一番乗りで登校していました。ボールをわざと神田女学園に投げ入れて取りに行ったりね。若かりしころのチーター（松枝先生）にも走らされました」

卒業から五十年以上たっても、当時の記憶は鮮明だ。

希望がもてない時代、明治高校生に期待することを聞いた。

「自分の置かれた状況がよくないときに、政治が悪いからとか、責任なすりつけないで、自分から率先して行動するべき。そして、人と人との繋がりを大事にすること。私は、言葉で説教せずに、自分たちで行動して若い人たちに伝えようと、同年代を説得しています」

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

## BBCワールドワイド ジャパン 非常勤取締役

獅子の会の輪座克彦です。我々の代は昨年暮れに日本橋にある、かつて野球部で活躍した河田君のやっている蛇の目寿司でにぎやかに忘年会を開きました。約二十五名の仲間たちが元氣な姿を見せ、昔話に花が咲きました。

さて、私は本所吾妻橋の紀伊国屋という小さな文房具屋の長男として生まれました。当時、周りの商店の後継ぎは何故か決まり事だったようで、自分も何も考えずに明治中学を受験し、見事に落ちました。そして苦節三年？ 晴れて明治大学付属明治高等学校に入学できました。もちろんそのころは、まだ男子校で汗臭く色気のない学生生活でした……。

部活は多少自信のあった英語が活かせるESSに入部。今振り返ると、そこでの三年間の部活が私の人生に大きな影響を与えてくれたと思います。例えば上級生でいつも難しい顔をしていたS先輩が演出した難解なテネシー・ウィリアムズの戯曲に出演。内容は全く理解不可能でも劇中で流れていたフレンド・リーの





# 輪座克彦

がほうじん  
「我逢人」

あのもの哀しいハスキーな声で唄う「この世の果てまで」を聴いた時はまさに驚きで鳥肌が立ったのを覚えています。たしかMJQのサマータイムもかかっていた。それまでビートルズばかり聞いていた私には、それは大人の世界。今でも曲を聴くとあの時の感動が蘇ります。ESSで同じ釜の飯を食べた同期の仲間達とは今でも付き合いが続いています。

ただ、今だから話せますが、応援団の連中は怖くてとても近寄れない存在でし

た。同期のYさんが院長(当時はまだ副院長)をやっている大病院に母親の治療で訪れた時の事でした。私が一番苦手としていた応援団の一人がなんと、待合室で診察待ちをしていたのです。

最悪の事態に私の顔はこわばり、血圧は跳ね上がり、心臓が止まるかもしれないほどのショックでした。ところが彼は、見かけと大違いの優しい微笑みで私に話しかけてくれたのです。それが縁で今では私の無二の親友の一人です。人生の出

会いとはわからないものです。

オヤジの夢であった明治大学商学部産経学科に何とか無事に入学。どのクラブに入るか迷っている時に、高校のESSの先輩のSさんに校門で出くわし、半ば強制的に私はESSに入部させられました。大学では、ESS以外の楽しい事をやって、青春を謳歌しようという私の夢は消え去りました。ドラマセクションに入った私が二年の時、U先輩に誘われてMP(モデルプロダクション)に明治大学ESSを代表して参加。関東の英語劇好きが集まるMPでまた新たな世界が開けました。MP二年目、大学三年の時に演出の奈良橋陽子さん(キャスティング・ディレクターとして映画「ラスト・サムライ」や「サユリ」を担当。)の舞台監督として参加。その縁で彼女が私が大学四年の時にBBC(英国放送協会)の番組配給の仕事を紹介してくれたのです。まさにそれが私の人生を決定づけた運命の時でした。オヤジの夢を叶える事はできませんでしたが、オヤジも最後まで応援をしてくれました。

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

BBCワールドワイド ジャパン 非常勤取締役 輪座克彦



わざわざつひこ●一九五一年生まれ。BBCワールドワイド ジャパン社長を経て、非常勤取締役。フリーマントル メディア エンタープライゼス・コンサルタント



別の道を歩みだした私は何としてでもこれで何とか恩返しをしようと密かに誓ったのでした。それから三十八年間ひたすらBBCの優れたテレビ番組を日本に配給し続けてきました。それはまた私にとって題名の如く『我、人と逢うなり』、人と人との出会いの尊さを学ぶ人生だと

思います。  
昨年十一月に平成二十四年に英国王リザベス女王より名誉大英勳章OBEを受章する事ができたのもまさに出会いがあったからこそだと信じています。  
これからも映像を通じて英国と日本の文化のちいちゃな架け橋になれるようにこつこつと『我逢人』の心でいきたいと思います。

## 【輪座克彦氏インタビュー】

「BBCの売上を上げることだけが頭にあつて、文化をひろめるなんてことは考えたこともなかった」

イギリスの文化を日本に広く紹介した功績で名誉大英勳章OBEを受章した輪座克彦氏は、いともあっさりと言つた。

「実家が文房具屋で、三十円の鉛筆一本、消しゴム一個売って売上がいくらというのと一緒。でも、テレビ番組を売るというのはどういうことなんだと、最初は戸惑いました」

大学を卒業後、輪座氏はBBCエンタープライズ社の日本総代理店であつた株式会社陸奥社に入社。当時は二インチのフィルムだつた放送用のテープを担いで、日本国内のテレビ局に届けて回つた。

「イギリスから番組の資料が届くと、これは日テレ、これはTBSと、営業用の試写テープを作つて届ける。いまはDVDやオンラインで見ることができると、あの頃はフィルム。放送が決まると、一時間分なら抱きかかえて、二時間なら両

# 「我逢人」

脇にかかえて運んでいました。いま、ゴルフのドライバーショットが飛ぶのも、あのころ鍛えられたおかげ」

「野性の王国」「素晴らしい世界旅行」などで、ドキュメンタリーの映像素材は使われたが、アニメやドラマは、なかなか受け入れられなかった。『ルーシーショー』『奥様は魔女』……、アメリカのドラマが全盛。日本の若者がハンバーガーとコーラに傾倒していく真つ最中だった。

「キャデラックにGEの家電、でっかいソファ、アメリカはみんなの憧れだった。イギリス文化は、島国で暗い。日本と似ているところがあるかもしれないけど、憧れにはならない。ハリウッド映画やテレビアニメ、日本人にウケうけるのは、みんなアメリカのもの。コメディでは、『巨泉×前武ゲバゲバ90分』が人気だったときに、『モンティ・パイソン』を営業。テレビ東京が、はじめてコメディを放送した番組で、デビューしたばかりのタモリがテレビに初出演した番組です」

テレビから映画へ、そしてインターネッットテレビやイベントまで。輪座氏の関わる舞台が大きく広がっている。

BBCのドキュメンタリーといえば、『ディープ・ブルー』（二〇〇三年）、『アース』（二〇〇七年）、『ライフーいのちをつなぐ物語』（二〇一二年）制作、撮影に時間をかけたスケールの大きい映画が、すぐに思い浮かぶ。

「配給が他社でしたので、『ディープブルー』と『ライフ』ではBBCはあまり儲からなかった。『ライフ』では、エイベックスさんと組んで配給しました。こうした営業も私の仕事。巨大な恐竜のロボットが会場を歩き回る「ウオーキング・ウイズ・ダイナソー」は、一九九〇年にBBCが制作し、日本ではテレビ朝日も放送した番組が元になっています。八月には、横浜でOrbi（オービー）がオープンしました」

二〇一一年にBBCがパートナシップを結んだセガとともに、世界に先駆けてオープン。日本最大級のスクリーン（幅四十メートル×高さ八メートル）を設置。BBC EARTH制作の全オリジナルストーリーを上映する。

「テレビ会議、電話会議がひっきりなしです。時差が八時間あるから、昔は二時三時にテレックスのやりとりをしていた。ひと文字いくらの値段だから、文章を短くまとめる訓練になりました。重要な案件はじっくり考えて手紙を書いて送った。やりとりの間、一週間ほどは余裕ができる。いまは、イントラで電話が繋がって簡単に何でも電話。仕事が速い半面、余裕がないのがどうかな。その一週間があったからこそ、うまくできた仕事もあったはず」

最後に、世界で活躍するため、国際人としての心構えを聞いた。

「すべては人と人との出逢い。外資に務めていて、外国人と接する言葉は英語だけれど、メンタルは国際人じゃない。肩書きや国籍は関係ない。国際人というくくりもありません。人と人との付き合いをきちんとすること。ただし、あうんの呼吸は通じない。日本人の美徳が理解されず、辛い思いもしました。交渉事では、よいものをよいと分かってもらうように相手を説得する技術を見つける必要はあります」

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

邦楽囃子演奏家

# 望月 太三郎

「壊すことは創造」

「中学高校時代は、伝統芸能の世界で生きていくなんて実感を持っていませんでした」

邦楽囃子演奏家の望月太三郎（本名・杉浦邦雄）氏は、昭和六十一年卒業。今回の幹事学年である新世輝の同級である。

祖父は、田中流囃子方田中傳一郎氏、父と兄は長唄三味線の杵屋五三吉氏、杵屋五吉郎氏という芸能一家に生まれ育ち、後に人間国宝となる望月朴清氏のもとに十三才で入門。

「こういう家では、どこでも習い事として通わせるんですよ。でも、ぜんぜん身が入っていませんでした。月謝を使い込んで、ゲームセンターに行ったりしていました。中学生なんて、みんな同じようなことをしていました」

中学では、部活に一生懸命になっていたというわけでもない。



「テニス部に入部していましたが、夏休みに入るまで一度も部活に出たことがなかった。いきなり試合に出してもらったんですが、ルールすら分からない。尾崎先生に、『まじめにやらないなら、辞めろ!』と言われて、退部しました」

中学三年生からは、親戚の経営する喫茶店で連日のアルバイト、高校生になってからは、バンド活動を始めた。

「小遣いには不自由しない、月々五万円の支払いで、ドラムセットを買った。総額七十万円のローンを高校生に組ませるんだから、宮地楽器もたいしたものですよ」

ところが、折からのバブルが弾けて、アルバイト先の喫茶店が地上げにあって潰れてしまっ。

残金四十万円の支払いを返済するあてもなく、途方にくれていると、喫茶店でバイト仲間だったロック好きなファンキーなおばさんから、「真面目に稽古すると言えば、親が払ってくれるわよ」とアドバイスされた。

「悪魔の囁きですよ。父親に言うと、その場で師匠に電話をかけて、翌日から稽古に通うことになった。土日は毎週朝か

# 「壊す」とは創造

ら稽古。だけど、相変わらず、学校に行けば、放課後はドラムを叩いていた」

望月氏は、明治大学には進学せず、東京芸術大学に入学。音楽学部邦楽科で、実技と演奏理論を学んだ。

「成績が悪くて推薦されなかったんですよ。だけど、芸大には入れるものだと思っていました。稽古はいい加減だったけど、節々では背負うものを感じていたのかもしれない」

周囲が大学生活を楽しんでいるなか、望月氏は、一日中抱持ちで師匠に付きつきり。ハードな毎日、体調を崩し、稽古も休みがちになった。

折からのバンドブーム。大学三年のころに、「THE家元」を結成。杵屋崇光現・勝四郎氏などのメンバーとともに、当時明高OBである三宅裕司氏が司会をしていた人気テレビ番組「いかすバンド天国」(通称「イカ天」)に出演。またたく間にCDデビューを果たした。

「師匠の元に一年以上行かず、THE家元に没頭していました。そのうち師匠に気付かれた。寝転がって鼓を打つ姿を、

テレビや雑誌を見た師匠が激怒。『破門だ!』と電話が入った」

翌日、望月氏は、父親とともに師匠の元に駆けつけた。謝りこそのもののバンド活動を続けることを宣言。

「師匠からは、『五年間だけ、何をやってもいい、戻ってくるなら戻ってこい。ただし、その間は、古典の舞台には、いっさい出さない。』と言われました」

古典芸能の世界を離れた望月氏は、THE家元の活動のほかにも、ゲーム・ミュージックのアレンジや演歌歌手のショーなどにも出演。

「演歌の公演では、ステージを三分間任される。歌舞伎や能に興味のないお客さんは、雰囲気だけを求めている。そんな仕事を続けているうちに、やりたい音楽の方向性が分からなくなってきた。自分は、古典の本質を知らないニセモノだと気付いた」

THE家元も、メンバーが本業の歌舞伎で忙しく、休止せざるをえない状態だった。ちょうど五年が過ぎていた。

「そのころ、祖父の二十七回忌があり、

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ  
邦楽囃子演奏家 望月太三郎



父親が弟子から『恥ずかしい』と言われた。私の師匠は、若いころに祖父に引き立てられて頭角を顕した。父と兄は三味線弾き。囃子方の引き継ぐのは自分しかないのだと、ようやく気が付いた」

師匠の元に行くと、「明日から十時にこい」のひと言。翌日から歌舞伎座に通い、ひと月後には舞台に出演。

「古典の唄をすっかり忘れていた。五年間を取り戻すために、十年間、必死に真面目にやりました」

THE家元の活動では、海外でのレコーディングやライブ活動も経験した。

「二枚目のCDをロスで録音しました。ギターをステイプ・ルカサーに担当してもらい、OTTOのスタッフと仕事したのは貴重な体験でしたが、そのときのライブは、テープで音楽を流して、手拍口拍くでの出演。観客の反応も、日本からヘンなのが来たな程度のものでした。やはり歌舞伎の舞台で海外に出ると反応はまったく違う」

一九九九年フランス、二〇〇九年モナコでの歌舞伎公演に、囃子方として参加。「フランスの公演では、今は鬼籍にある師匠の鬼気迫る演奏に触れました。本質

を極めた演奏は、どこでも観客を魅了すると改めて思いました。ここにきてようやく、自分がやりたかったことが見えてきた。従来の古典音楽に対する見方をぶっ壊したい。そのためには、古典の本質を知らなければいけない。壊すことは創造」

新作歌舞伎に関わることも多く、市川染五郎の陰陽師にも出演した。

「現場監督のような仕事を任されるようになりました。人からは、回り道をしたと思われているかもしれないけれど、五年間の経験が、いま活きている。師匠は最初からすべてお見通しだったのかもしれない」



もちづきたさぶろう●本名、杉浦邦雄。  
一九六七年生まれ。人間国宝望月朴清氏に師事。  
囃子方として歌舞伎公演等に多数出演

写真／所 幸則



東京地方の平成二十五年夏は、傘を差す間も無く梅雨が明け、連日の猛暑と強い日差しが容赦なく注いでいた。

私は母校の応援で多摩一本杉球場に向かった。就職した会社は転勤が常であり今年八年ぶりに東京勤務そして単身赴任という状況が高校野球母校の応援という行動に移したのだと思う。同級生の松本と連絡をとり球場で落ち合う。試合は一進一退の攻防を続けたが明治高校は残念ながら勝利の瞬間を迎えることなく甲子園への道は終了することとなった。

残念。松本も残念な表情……、でもないみたいだ。

「吉原、すごい先輩だよ。この方は、大竹先輩といつて、すごい人なんだよ」

どうやら試合中、松本は大竹氏の話を延々、聞いていたらしい。

「ベテランの声優で、Dr・スランプあられちゃんのニコちゃん大王の声をやっていらしたんだよ！」

この人、実はスゴかった。

テレビ草創期のことも向け人形劇「チロリン村とくるみの木」を皮切りに、「狼少年ケン」「マジンガーZ」などの人気アニメ作品には欠かせない存在。そして我々昭和四十年代生まれの誰もが記憶にある

カータンの絵かき歌でも  
美術センスが発揮された

「ママとあそぼうピンポンパン」での人気キャラクター、カッパのカータンは大竹氏そのもの。

後日、改めて取材を申し込むと大竹氏快くOKの連絡。携帯メールの返信には驚いた。御年八十一才のメールは絵文字が踊るカワイイ体裁。

どんな先輩なのだろう、と期待と不安が入り交じりながら、「先輩との濃密な時間」その日を迎えた。

レモンサワーを片手に「大竹宏」ワンマンショー開演。まさに声の職人芸。

生粋の演劇人は、明治中学明治高校時にも演劇に浸っていた。世間は終戦間際、空襲の焼け跡整理の報酬で浅草演劇の無料券を中学生に渡していた。それを楽しみに焼け跡整理に取組む大竹少年も負けず劣らず偉大だと感じた。劇場の外には焼け出された数多くの人が居るのに……。それだけ演劇に夢中になれるのを羨ましく思った。

大竹氏の口から、当時の明治高校ライフが溢れ出す。

「我々の頃の私学は個性を認めてくれる風潮があった。俺は美術や国語は得意だったが、幾何は全くわからない。どうし

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

俳優

# 大竹宏

「生、演劇人」



たと思う？ 答案用紙をひっくり返してダルマの絵を描くんだ。『手も足も出ねえってね』。それでも卒業させてくれたのだから良い時代だよな。」

高校時代の様子を『カータンの涙』（山口真一著・新風社）から紹介させていた。

大竹氏は美術部と演劇部を掛け持ちし、その後部長として部を引っ張ると共に作品の脚本、舞台装置の製作も手掛け、更に演出上男性のみの芝居は不自然という理由で近隣の女子高（お馴染みのK女子）に声をかけるなど、マルチな才能を発揮。

一方で美術センスに長けていたことから体育祭等の入場門・退場門などを一人で手掛け、八面六臂の活躍をした。

時には与えられた部費を遣り繰りして紫紺祭準備で深夜遅く部室で、すき焼きを楽しむなど“やんちゃな”一面を見せるなど（宿直として泊まっていた教頭先生に見つかっただが見逃してもらったそうです）充実した高校生活を送った大竹氏も卒業を迎えることとなった。

当時、卒業式では、卒業生の中で部活動の活躍に顕著だった者が運動部・文化部それぞれ一名表彰される場があった。

頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ

## 俳優 大竹 宏

おおたけひろし●

一九三二年生まれ。

テレビ創生期から声優として活躍。



おなじみの声で大竹劇場が  
繰り広げられた。



この年、大竹氏は文化部長として表彰された。三年間の努力を認め、将来の活躍を期待されての表彰だった。

卒業後は、父親の紹介で浅草にある装飾専門店に就職。商品の看板製作や、デパート・キャバレー等の内装や宣伝風船等を扱う小さな商店だった。美術の腕に光るものを持つ大竹氏は、ここでも無類の活躍をし、仕事にも慣れてきた。そんな頃、大竹氏のお父様より近所の歯科医が児童劇団の主催者であることを知らされる。『劇団・合唱団ちどり会』に参加した大竹氏は、俳優・内田研吉氏に演技指導を受けた。高校時代以来久しぶりの演劇、芝居に飢えていた大竹氏の心を満たしていた。

装飾店を退職、本格的に劇団運営に関わるようになる。当初は舞台監督、舞台装置一切の担当であった。大竹氏にはお手物。内田研吉氏の期待に応え、裏方

## 二生、演劇人」

の舞台監督を務め抜いた。

「のめり込め」。内田研吉氏の指導は全身で演劇を体得していくことであり大竹氏の演技の根本となった。その後内田研吉氏の劇団旗揚げに参加、この年、昭和二十八年は日本のテレビ放映が開始された年であった。そんな時、内田研吉氏は病に倒れてしまう。闘病三カ月、病状は悪化の一途をたどる。享年三十六才、若くして彼はこの世を去ってしまった。

残された大竹氏に苦悩の日々は続いたが、思いがけない所から援助の手が差し伸べられた。NHKの教養部青年課制作から番組出演依頼が舞い込んだ。

この時期、次第に制作番組の幅が広がってきたNHKは、連続物の人形劇の放映を始めていた。『アシンと一三人の盗賊』、続いて『ガンツ君』。NHK放送劇団のメンバーで固められた中、大竹氏はシェルム旦那という主演ともいえるべき悪役に抜擢された。二つの人形劇は、声優としてのスタートとなった記念すべき作品である。

昭和三十一年四月NHKで新たな人形劇番組が始まった。「チロリン村とくるみの木」だ。きれいな自然に恵まれたチロ

リン村とそこで暮らす動物たちの物語。

昭和三十九年「チロリン村とくるみの木」は終了したが、番組関係者たちの交流は続いていた。昭和四十一年フジテレビで「おーいチロリン村だよ」が始まる。今では考えられないがNHKの番組統編を民放で放映したのだ。しかしながら視聴率で苦戦。半年ほどで打ち切りを余儀なくされてしまった。そこで「チロリン村」の反省を生かし新たな番組がスタートした。

「ママとあそぼうピンポンパン」の放映開始である。

ここでの大竹氏は人形劇の声を担当、プロデューサーの依頼により脚本作成することもあった。

番組開始から約一年半が経った昭和四十三年春、カッパを擬人化した「カッパのカートン」が登場する。大竹氏は着ぐるみを着用し、「五分間」演じることが依頼される。顔の出ない演技に、戸惑いを覚えたものの、覚悟を決めて出演。そして、カータンは十五年半に渡り子供たちの人気者になったのである。

『ピンポンパン』でのカータンの活躍の場は、何といっても「絵かき歌」だった。

狭い着ぐるみの中で、五分間歌い続けるスタッフは、呼吸困難になることを案じ、酸素ボンベの携帯を勧めたが、ガス噴射音を内臓のマイクが拾ってしまふことから断念。演劇人大竹氏は、この条件に耐え続けた。カータンの人気により当初五分間という約束だったものの、出演時間は次第に増してきたのである。

その後、絵かき歌にかわって、新しいコーナーが誕生した。「カータンに挑戦」は、歌に合わせてだれでも絵が描けるという絵かき歌とは、主旨が百八十度違った。簡単にいえば、子どもとカータンでする絵の合作である。

まず新平ちゃん(坂本新平)ピンポンパンの(司会)の呼びかけで、その日スタジオに集まった子どもの中から一人、今日の挑戦者が選ばれる。マジックを持った子はボードに向かって自由に、まるで落書きよろしく何を描いても良い。直線でも、曲線でも、不定形な模様でも、でたらめな形などいい。そうしてメチャクチャな絵(線の断片)ができれば、さあカータンの出番。

カータンは子どもの残した絵に次々に線を書き入れる。ぬりつぶす、描き足す。

するとわずか二十秒もすれば、何と最初のメチャクチャな絵をもとに、まったく別の絵が仕上がりついている。

こうして毎日毎日、即興のしかも奇想天外なアイデアでみごとな絵を完成させていったカータン。生半可な力量では、すぐにボロが出てしまふ。美術センスに長けた大竹氏だからこそ子供の期待にこたえることが出来たのだ。

二杯目のレモンサワーを空けるころ大竹劇場はカーテンコールを迎える。

大竹氏は本当の演劇人。声だけで、あつという間にアニメのキャラクターが頭の中に登場。舞台の話すれば話の合間に音楽も流れる。

現在は、朗読劇(やなせたかしさん作)で子供に楽しい時間を提供している。声の出演、主題歌、脚本なんでもやっている。あつという間の二時間半。居酒屋で開演された大竹劇場は閉幕――。大竹氏の滑らかな舌は、まだまだしゃべり足らなかったらしい。

「さあ二次会にいくか!」  
夜も更けてきたが、楽しい大竹ワールドはまだまだ続く。



# 新世輝時代の

新世輝の同期だれもが

“ずいぶん学校は変わったな〜”と口にする。

そんなある時、同期で集まった一人が高校卒業時に作成した「過程」ってあったよな〜ってつぶやいた。

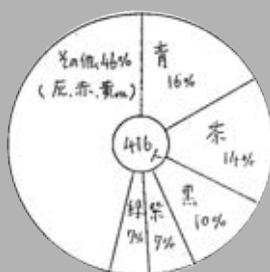
「過程」の特集に「女子高!? ENQUETE!!」が掲載されていて、男子校だった当時と共学になった今、御茶ノ水から調布へと移り、明治高校の雰囲気や印象をアンケートで比較し、約30年を経て、変わらないこと、変わったことを浮かび上がらせます。

アンケートは、先生方の多大なご協力の下、高Ⅲ・高Ⅱの女子生徒を対象に実施し多くの生徒さんにご回答をいただきました。

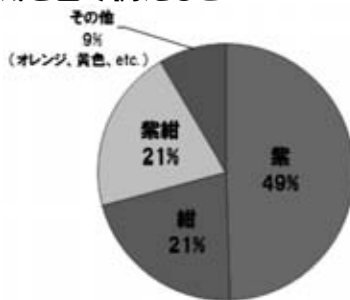
新世輝の時代

## Q1.明治高校の校風を色で例えると?

平成25年



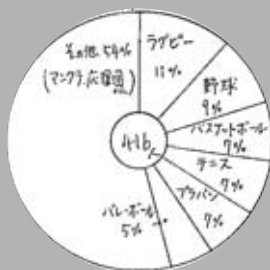
S61年当時は他の女子学生にアンケートしたので、当然いろいろなイメージカラーがあるのでしょう。現在の明治の女子学生は「紫」「紫紺」がほとんどで、まさにイメージが明治カラーですね。



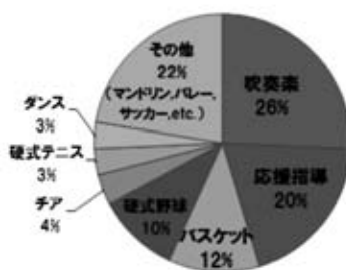
新世輝の時代

## Q2.明治高校で活躍しているクラブは?

平成25年

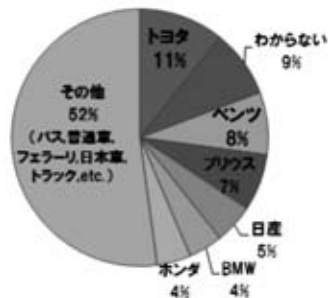
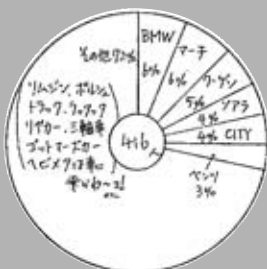


現在は、吹奏楽や応援指導などの人気が高い。S61年当時は明治といえばラグビー部のイメージが定着していました。(ラグビー部ないのに)



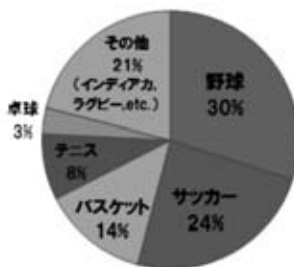
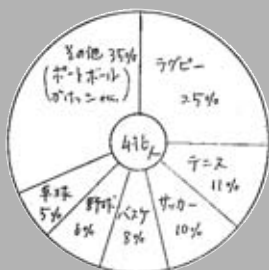


## Q6.明治高校の男子生徒に似合う車は？



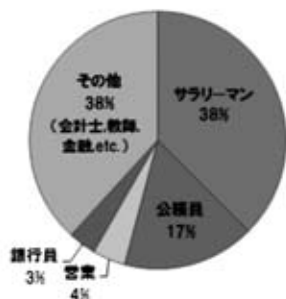
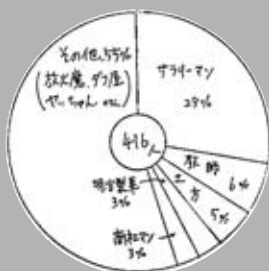
時代の差を感じますね。BMWやベンツは有名だけどトヨタという回答は車にあまり興味がないのかなと思いますね。しかし、その中でもプリウスは有名なんです。

## Q7.明治高校の男子生徒に似合うスポーツは？



S61年当時は明治イメージがラグビー。大学のラグビー部強かったですからね。今は人気スポーツの野球やサッカーですね。その中で「テニス」は結構、明治イメージなのでしょうか？

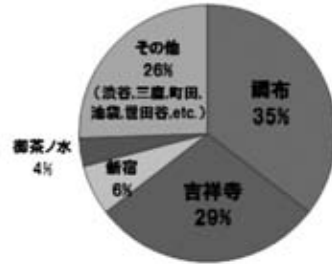
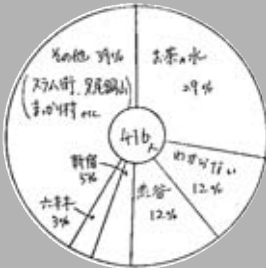
## Q8.明治高校の男子生徒に似合う職業は？



今も昔も「サラリーマン」が第1位。  
昔はランク外だった公務員が次点というのは、時代を映していますね。

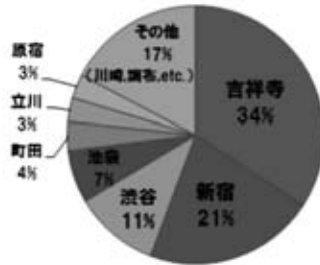
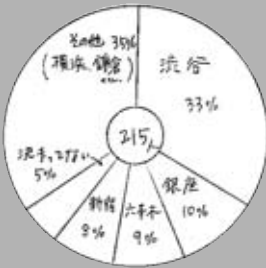


# Q9.明治高校の男子生徒に似合う街は？



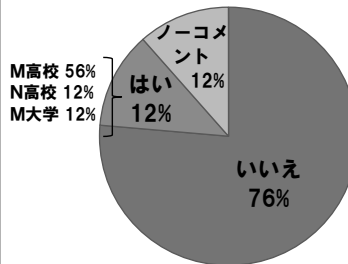
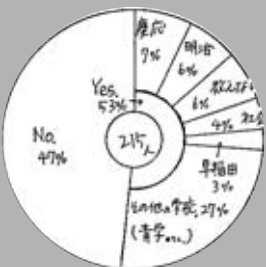
校舎移転の影響はつきりと。でも御茶ノ水がランクインしているところに、僕ら明治高校OBは、ほっとしたりするのです。

# Q10.あなたがよく遊びに行く街はどこですか？



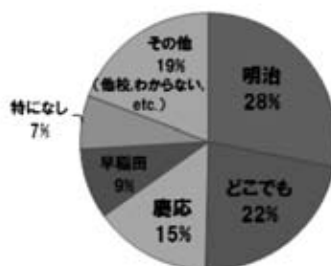
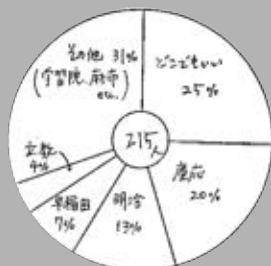
S61年当時第2位の銀座が今はランク外。  
そして、逆にランク外の吉祥寺が第1位。移転の影響がこんなところにも。

# Q11.今つきあっている人はいますか？ 恋人の学校は？



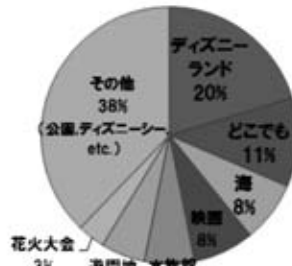
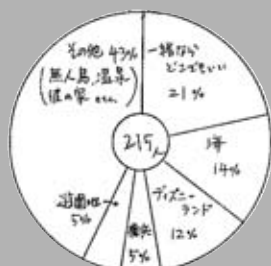
昭和の女子高生、意外と“肉食系”だったんですね。現在の女子生徒は、真面目な女子が多いのか、そうでないのか、真実はどちらでしょう？

## Q12.恋人として選ぶとしたらどこの高校の男子生徒がいい？



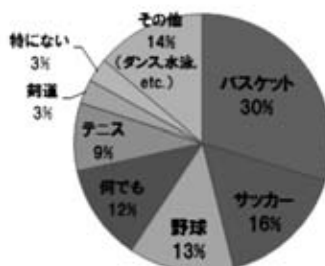
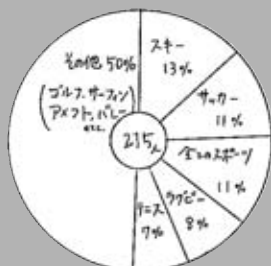
S61年卒の僕らにしたら、驚愕の事実。  
明治がトップ！ 僕らの時代より倍以上 さすが後輩！..

## Q13.恋人と一緒にどこに遊びに行きたいですか？



好きな人とならどこでもよいと思う。“昭和”の時代。  
今は行きたいところがはっきりしている、女子主導の時代でしょうか？

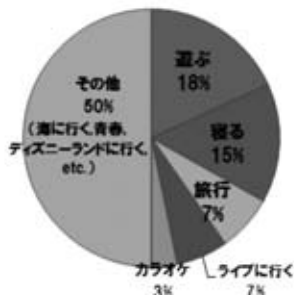
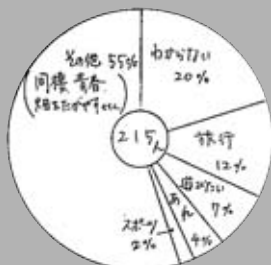
## Q14.恋人にやってほしいスポーツは？



僕らの時代、トレンドなスポーツといえば“スキー”でした。  
時代は変わりましたね。

## Q15.今いちばんしたいことは何ですか？

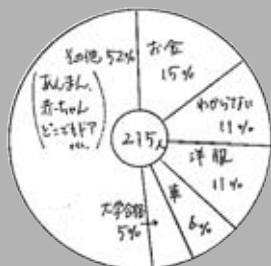
平成25年



S61年当時の第1位は“わからない”。若い世代は何を考えているか、わからないと諸先輩方は嘆きますが、現在の女子高生は主義主張がはっきりしています。

## Q16.今いちばん欲しいものは何ですか？

平成25年



今も昔も女子は“お金”、大好きなようです。  
洋服よりスマホが欲しいのは時代なのでしょうか？

どうです皆さん、明治高校ってこんな感じなんですよ。

大きくうなずくところ、ん～ちよつとな～って

見ていただいた方がそれぞれで感じてもらえれば幸いです。

今回当時の「過程」を切り口に会報特集で比較を行い、違いがはっきりした所、またそうでない所とかなり面白い比較ができたと思います。

アンケートにご協力をいただいた生徒さんにお礼を申し上げるとともに先生方のご尽力があればこそできたことと深く感謝をいたします。

# ありがとうございました

# 一品をあなたに

「会報見た!」で

ゴルフブランド  
「ウインウインスタイル」の  
全商品を期間中  
20%割引で販売  
(セール商品は除外)

WINWIN  
STORE&OUTLET

東京都江東区猿江1-2-9

03-6659-2588

<http://winwinstyle.com>

明治高校ゴルファーの皆さん!

ホームページを見て連絡ください。

会報持参の方

金魚30%割引

金魚の吉田

東京都葛飾区東新小岩5-14-7

03-5671-5550

<http://www.kingyo-yoshida.com>

野球部、バレー部強くなしてほしいですね!

「会報見た!」で

外装ポリマーコーティングを施工の方、  
ホイルコーティングをサービス  
(通常 7,000円~12,000円相当)

(株)サンコー商会

東京都足立区江北3-38-1

03-3898-3501

35@car-sanko.com

総明会特別料金を設定していますので、  
お気軽にお問い合わせください。

「会報見た!」で

1500円以上  
お買い上げの方  
5%割引

青山但馬屋

東京都港区北青山2-7-11

03-3401-2843

<http://www.aoyama-tajima.co.jp>

神宮球場・秩父宮ラグビー場すぐ。  
ぜひお立寄りください。

「会報見た!」で

店頭で鳩屋海苔店の決めセリフを  
おっしゃって頂いた方全員に、  
胡椒海苔「魚河岸ペッパー1p」を  
進呈させて「頂き」ます!

鳩屋海苔店

東京都中央区築地4-14-16

03-3541-5523

[facebook.com/hatoya](https://www.facebook.com/hatoya)

え? 決めセリフって?

答えは鳩屋海苔店の広告の中にございます!

「会報見た!」で

店内で千円以上の買い物をし、  
「会報見ました」と言って頂ければ、  
ピンコーラ1本をサービスします。

志村製作所

東京都台東区松が谷1-11-8

03-3841-2993

<http://www.shimura-s.co.jp>

当店は合羽橋道具街・合羽橋南の交差点角です。  
最寄駅は田原町。

# 頂

いただきっ!

## を目指す

掲載のお店で、「**総明会会報を見た!**」と言っ  
ていただければ、**サービス**が受けられます。OB  
のお店にお伺いしても、ご主人にお声を掛けて、「私  
も明高です!」と言い出しにくいものですが、「会報  
を見た!」とのひとことで、割引や一品サービス、粗  
品進呈などをぜひとも「**いただきっ!**」して、  
**交流**を深めてください。

この企画は2014年  
3月末日まで有効です。

「会報見た!」で

### おしんこサービス

#### 神田 天井家

東京都千代田区神田神保町3-1-14  
03-6272-3306

移転しましたので  
新店舗でお待ちしております。

「会報見た!」で

### お食事の方、コーヒー または紅茶のサービス

#### お食事と甘味 たけやま

東京都豊島区巢鴨3-15-15  
03-9315-5709

全て手作りの料理です。  
心よりご来店お待ちしております。

「会報見た!」で

### グラスワイン 1杯サービス

#### vino e IL raccolta

東京都中央区日本橋2-9-6  
03-3231-0610

<http://r.gnavi.co.jp/a213000/>  
御気軽にお越し下さい。

「会報見た!」で

### お昼も夜も 消費税相当サービス

#### 吉野鮨本店

東京都中央区日本橋3-8-11  
03-3274-3001

[www.facebook.com/sushi.yoshino](http://www.facebook.com/sushi.yoshino)

心を込めてにぎっています。  
ぜひ一声おかけ下さい。

「会報見た!」で

### お会計5%オフ

#### 民芸茶屋 佐留丹

東京都足立区千住1-33-8  
03-3882-7229

<http://r.gnavi.co.jp/g4185001/>  
下町でふぐをご堪能ください。

## 高校3年生

1位	超イケメン	性別	得票数
		♂	24票
2位	ギャグマシーン	♂	8票
3位	太鼓の達人	♂	7票
その他	将棋県大会3位	♂	24票
	英語プレゼンコンテストで優勝	♀	24票

## 高校2年生

1位	モノマネ お笑いギャグ	性別	得票数
		♂	26票
2位	ものまね	♂	13票
3位	バトン全国大会出場	♀	6票
その他	タイピングソフト200出す	♂	24票

## 高校1年生

1位	歌が上手い	性別	得票数
		♀	26票
2位	顔真似がうまい	♂	13票
2位	書道うまい なんでもできる	♀	13票
2位	ピアノ全国大会出場	♀	13票
その他	レゴブロック創作都大会3位	♂	24票

# 教室の 頂点の

現役、明治高校生3学年のクラスの人気者アンケートを行った。  
先生や有名な人などのモノマネやギャグが得意な男子、  
多くの人が認めるイケメン男子、声が大きくカラオケが得意な女子、  
バトンの名手で全国大会にも出場の女子、ピアノ演奏でも全国大会出場した女子、  
マニアックなところでは将棋大会で入賞、レゴブロック創作で都大会3位なども…。  
各学年の集計結果は以下のとおり。  
現役明高生の皆さん、ご協力いただいた先生方、  
アンケートにご協力ありがとうございました。  
いろんな「特技」を活かして、頂きをめざし頑張っている人、応援しています！  
楽しい学生生活を過ごしてください。

～アンケートにご協力いただいた明高生の皆さま 先生方へ～  
会報特集の予定では、上位の方などから取材を行おうと企画しておりましたが、  
日程の関係などにより集計結果の掲載となりましたことをお詫び申し上げます。



# 100周年記念事業



創立100周年記念事業  
平成25年2月5日

## 第2回スピーチコンテスト



このコンテストは、創立100周年記念事業の一環として、昨年第1回が行われた。(昨年度の模様は、2012年 総明学生会報50ページを参照ください) 中学教頭の並木啓先生が昨年との違いを説明する。

「昨年は48名の応募でしたが、今年からは、中3から高Ⅱまでの3学年全員の夏休みの課題で必修になりました。任意でエントリーした中2の30名を加えて、約700人が参加しました」

原稿審査で男子8名、女子15名の23名に絞られ、さらに選考されファイナリスト10名(男子2名、女子8名)が鶴澤總明ホールに立った。

今回は司会も生徒が担当。勝又大智君(中3)、伊藤さやかさん(中2)の2人により英語で進行した。開会にあたって、金子光男校長先生がドイツ語で挨拶した。3名の審査員が、英語20点、内容20点、印象等10点の合計50点で採点。

「外国人とのコミュニケーションでは、中身が問われる。校内の発表内容も、英語力だけではなく、メッセージがこめられているかが大事。日頃から社会や身の回りのことに関心をもって、訴えたいことや問題意識を伝えられるかが重要」(並木先生)

優勝した向井杏樹さん(中3)のテーマは、「The things I learned from kendo.」(剣道から学んだこと)次ページに原稿を全文掲載

向井さんは、5才からサンフランシスコで暮らし、小学4年生で帰国。

「将来はパイロットになりたい。国際的な仕事で、いろいろな国

を旅してみたい」

と将来の抱負を語ってくれた。

審査にあたった一人、明治大学商学部特任講師の関孝哉先生が講評を言う。

「明治高校の卒業生は、大学で英語の発表を伸びやかにやっている、その活力がここにあった」

入賞者5名は、海外交流プログラムの参加費の全額、他の5名には半額の奨学金が授与された。春休みの約2週間を利用して、それぞれイギリス、カナダ、オーストラリアで海外交流の場を経験。始業式では、3人が現地の学校での様子などを報告した。2013年度より、定例のコンテストとして、実施される。

## コンテスト参加者とスピーチのテーマ

竹川佑社(中2)「音楽の力で心をつなごう」

工藤綾乃(高I)「努力する人が大好き」

杵淵舞(高II)「グローバルな人になるために」

伊藤あきほ(高II)「本から得られること」

古本苑子(中3)「いじめをなくすための3つのアドバイス」

白瀬利(高II)「笑顔が世界を変える」

山際久玲彩(中2)「質素な生活を楽しむ」

菊池晃輔(高I)「笑い」

森葵(高I)「食べ物を粗末にしない」

### The things I learned from kendo Anju Mukai

What do you think of kendo? Is it cool? Or is it stinky? When I asked my classmates, they answered like this. Well I think it's cool, too. That's the reason why I started practicing kendo. I've learned a lot of things from kendo. The thing which I was most impressed with was manners. I want to tell you about that from what I have felt in the last three years.

Certainly, kendo looks cool. But in the back ground there are manners which we learn strictly with our seniors practice during the hot summer and cold winter, and a lot of effort. Also, as you may know, kendo is a sport which starts with a bow and ends with a bow. And the basic courtesy is to respect others. Maybe you feel kendo is a contradiction, because it's a sport which we hit each other and respect each other. But we can fight seriously because we respect each other. We show respect by greeting. We bow to the Dojo where we practice every day. We also bow to our teachers, seniors and the juniors.

In our school we are greeting for a campaign. The class officers greet everyone to say hello naturally. But I think this is a very strange thing. Because I think a greeting is an action which comes out naturally from our feelings, whether we are in a casual or formal social situation. I learned this from kendo.

Also, in kendo to be thankful is very important. I am always thankful after my kendo competition in whether I win or lose. When I win, I thank to my kendo teacher, my parents to allow me to continue kendo and my teammates who are practicing hard together. Even when I lose, I thank my rival who I was fighting with. Well, it is disappointing to recognize my defeat, but I can notice why I couldn't win and realize what my bad point is, so I think I have to thank my opponent. Until I started kendo, I had never thought of being thankful after I lost. The reason why I can think like this now is because I respect others. After all I think courtesy and respecting others is important in everything. Also, by greeting and respecting is in common with every country. I want to be friends with people who are polite.

Like this, I learned a lot of important things from kendo. But we can learn these things not only in kendo but in other things, too. Maybe you might have been doing something in your everyday life that teaches you courtesy and makes you appreciate other people.



# イングリッシュ・プレゼンテーション

創立100周年記念事業  
平成25年6月11日

第一回イングリッシュ・プレゼンテーションは、応募者約三十人からファイナリストとして選ばれた七人が英語でプレゼンテーションをした。

鶴澤総明ホールを埋めた八百人の生徒の前で、アクションを交えながら、それぞれのテーマを伝えた。

開会にあたって、金子光男校長がドイツ語で挨拶。

「参加者は、自分で英文を書き、暗記し、数百名の生徒たちの前で発表する。スピーチを聞いている生徒たちも、刺激をうけ、「来年は参加しよう」と思うでしょう。」  
明治大学理工学部管啓次郎専任教授、経営学部キアナン専任

准教授、農学部マクタガート特任准教授が、パワーポイントで作成したスライド及び内容、英語力、発表の全体的な印象について審査。

優勝は米山沙織さん（高Ⅲ）。

「Animal Testing for Cosmetics in Japan（日本における化粧品動物実験について）」をテーマに、日本とEUでの化粧品に関する動物実験の規制についての比較などを発表した。

米山さんは、PTA会報に感想を寄せている。

「このプレゼンを通して一つの物事について深く調べ理解し、それをどう短時間でわかりやすく伝えられるかということ学びました」

この行事は、創立100周年教育振興プログラムの一環として、グローバル化が進む現代において、リーダーとなりうる人材を育成するために新設された。入賞者には同事業の一つとして、創設された「鶴澤総明教育

振興・奨学金プログラム」より短期留学費の一部が支給される。

ファイナリスト7名とそれぞれのテーマ

米山沙織（高Ⅲ）

「Animal Testing for Cosmetics in Japan」

石曾根毅（高Ⅱ）

「Japanese Technologies which boast of the world」

高興（高Ⅱ）

「Courtesy of Japanese」

知見美沙（高Ⅲ）

「Should disabled children study in ordinary schools?」

中釜雄太郎（高Ⅱ）

「Culture of hiding」

河井宗一朗（高Ⅲ）

「The direct election for the Prime minister」

佐藤憲介（高Ⅲ）

「THE USELESS POWER」

創立100周年記念事業  
平成25年6月15日

# PTA講演会

講師 須田善明 女川町長



平成25年6月15日（土）に鶴澤総明ホールにて行われた今年のPTA講演会は、東日本大震災被災地支援活動の訪問先となった宮城県女川町長の須田善明氏を講師に迎え、「東日本大震災からの復興」をテーマに講演が行われた。

須田善明氏は女川町で生まれ育ち、自身も被災者であり、まだ仮設住宅に家族と暮らしているという。

壊滅的な打撃を受けた女川町の復興に向け次世代に引き継ぐための取組みとして、千年に一度の震災は千年に一度の街づくりのチャンスであり、街が壊滅したからゼロからスタートがで

きるということ、具体的な街づくりをスライドを用いながら紹介された。

また、女川町の中学生たちが、千年後のいのちを守るために記録を残そうと立ち上げた「いのちの石碑プロジェクト」を紹介された。ぜひHP (<http://www.inotinosaki.com/>) をご覧いただきたい。



質疑応答では、震災にあった場合の備えについて、「という質問に、情報を得る手段を確保することが大切なので、車などから電源が取れるものということ」で、「DCACインバーター」が必要とか、「被災地のためにできることは、では、まずは現地に行つてほしい、支援というよりは「育む」「育てる」気持ちを持つてほしいなど丁寧にそして具体的に答えられた。

創立100周年記念事業

平成25年1月12日～14日

PTA協賛

## 東日本大震災被災地支援活動



本校は、創立100周年記念事業の一つである鶴澤総明教育振興・奨学金プログラムの一環として、平成25年1月12日から1月14日の日程で、東日本大震災の被災地（宮城県女川町）の支援活動を実施した。

この支援活動では、明治大学出身である女川町長の須田善明氏が、明治大学政治経済学部シンポジウムで支援を訴えられたのをきっかけに、「小学生が笑顔になれる事をやろう」という地元のご提案があった。石巻日日新聞が小学6年生の卒業大会として開催しているサッカー大会を、創立100周年記念事業と



PTAの援助を元とし5年間を目途に継続する計画で、共催することが決定した。今回はその第1回目となった。

1月12日に参加生徒（高校生16名が、教員、サッカー部監督、PTA会長及びOBと共にバスで本校を出発。石巻市、女川町の被災地を訪れ現地を見学し、被災地の方から体験談を伺った。映像で見たりと震災当日の

様子を学んだ。何よりビルが横倒しになっている光景を目の当たりにして、一言言葉を失ったという。

1月13日には、本校主催のチヤンピオンズリーグを小学校低学年6チームが参加し開催。快晴のなか試合を行い、表彰式では全チームに表彰状、参加賞、明治大学サッカー部の色紙などが授与され、カップやピブスが順位に応じて渡された。

1月14日には、石巻日日新聞と本校共催のプレミアムカップを小学校高学年8チームが参加し開催。前日と異なり吹雪になる悪天候のなか、全員がずぶ濡れになりながらも全試合を行い、表彰式は大人のみで実施した。

サッカー大会は、サッカー部員が中心となり審判などを務めこれを運営した。地元小学生の懸命なプレーが印象的で、地元

# 100周年 記念事業



保護者の笑顔は絶えることがなかったほどの盛況ぶりだったとのこと。それ以外にもNPO法人JENの方々の協力のもと、前日から用意した炊き出しの豚汁は、子供たちを含めた地元の方々の笑顔がとても印象に残るほど、2日間とも好評のうちに完食となった。

サッカー大会終了後に東京に向けてバスで出発したが、1月14日と言えば東京でも大雪となった日であった。普段あまり雪が降らない女川町でもこの日は大雪に見舞われたため、通行止めや大渋滞に巻き込まれ、18時間もの間バスに「缶詰」となった。校長先生の指示により、翌1月15日に新幹線に乗り換えての帰京となり、東京駅到着時には全員が疲れ切っていたが、達成感や充実感を味わった皆の顔は晴れやかであった。

この支援活動を通して、創立

100周年記念事業のテーマである「世界に飛び出し己を知ろう」を、生徒自らが被災地を視察し、被災地の方々の思いを実感することで体現できたこと、また、微力ながらも被災地の復興に貢献することができたことは、とても大きな財産になったであろう。

支援活動では食材等は地元のもの調達するが、サッカー大会での景品等は持ち込んでいるとのことなので、総明会から景

品等で何かしらの協力ができればと思った。





創立100周年記念事業

平成25年1月17日

# MEIJI WALKER

「おはようございます！」

午前九時過ぎの通勤ラッシュ時、東京駅丸の内地下一階の団体待合所に、明治中学生が続々と集まってくる。

この日は創立100周年の記念行事として、生徒が自ら思案企画した「Meiji Walker」が実施された。

これは明治中学生全員が6、7名の班に分かれ、東京駅から駿河台キャンパスリバティタワーまで徒歩で巡るもの。途中明治大学発祥の地等の様々なチェックポイントを通過し踏査しながら、最後は明治中学校旧校舎を経て、明治大学を目指す。

集合は、学年ごとにずらされてあり、中学1年の生徒から班



ごとにスタートしていく。

私自身も中学1・2年の生徒を見送り、中学3年の生徒がスタートする頃、一緒に歩きだしてみた。

外は冬晴れ。数日前に降った雪がまだ歩道の傍らに残っていて、生徒たちはコート姿にマフラーをして歩いている。

チェックポイントは、班によって様々。明治大学発祥の地や貨幣博物館、三井本館や将門の首塚、駿河台・猿樂町方面では、ニコライ堂や湯島聖堂。神田明神や米沢嘉博記念図書館等々、それぞれが2、3箇所巡って、旧校舎を目指す。与えられた時





間は一時間半程度。

各班は地図を片手にチェックポイントを目指す。交差点ごとに立ち止つては「あっちだ!」「こっちだ!」と何やら楽しそう。たまには行き過ぎてコースを外れていく班もあったが、それはご愛嬌。何とか元のコースに戻ってきた。

チェックポイントには、高校の委員生徒が立っていて、到着した班を記録し、次への移動を指示する。各班はそこで写真を撮ったり記録を取ったりしてから移動。またチェックポイント以外の名所を見付けてはそれも記録していた。これが実は別ミツションで、報告内容が優秀であれば賞品が貰えるらしい。

そして旧校舎に到着。各班どうし再会の喜びを分かち合う。私自身何度かすれ違った生徒と「お疲れ様!」と声を掛けあった。しばし旧校舎を眺めながら休憩し、リバティタワーへ移動。

リバティタワーでは、師弟レ

ストランでお汁粉が振る舞われた。その後一階のホールで閉会式。金子校長先生から労いの言葉をいいただき、その日歩いた地域の歴史の話も聞いた。

結果として、多少遅れる班がいたものの全員完歩。生徒にとって、思い出深い行事となったと思う。

私も取材と称し立ち会ったが、慣れ親しんだ街を徒歩で散策し、生徒とも触れ合い、楽しいひと時を味わえた。







100周年記念で、生徒主体のイベントとして、高校生を対象にシヨートフィルムコンテストが開催された。

イベントを担当した駒形くみ子教諭が言う。

「クラス単位で全員が参加できるイベントを考えていましたが、生徒たちの多くが希望するのは、有名人を呼んでの公演などエンターテインメント性の高い企画でした。生徒たちがパフォーマンスを演じる案も出ましたが、最終的に本格的な映像作品を残すということに落ち着きました。100周年の記念として、文章や写真とともに残せる新しいメディアになりました。DVDは図書館に収めています」

二十一作品が集まり、委員会での予選を経て十作品が本選で審査された。

100周年記念事業委員会委員長を務めた若菜真穂さん(写真・左)が審査基準を説明する。

「明治の要素をうまく盛り込んでいるか、クラスの一体感があるか、編集技術、ストーリーの完成度などで、上位の四作品を選びました」

最優秀賞は、マスクをかぶった生徒が暴走し、いたずらの限りをつくす高ⅢGの作品。

「明治の要素がふんだんにちりばめられて、クラスのまとまりも作品にすくく表現されていました」(若菜さん)

敢闘賞は高ⅢC、優秀賞は高ⅡF、努力賞は高ⅢA。上位に入賞した二クラスには、生徒全員にオリジナルの図書カードが配られた。

文化祭や球技大会など、毎年あるイベントと違い、参加意識やクラスの一体感がなかなか生

まれなかったと若菜さんは振り返る。

「委員の誰もが初めてのことなので、参加者から質問を受けてもどうすればいいかわからないことだらけでした」

それでも、撮影が進むにつれて結束が高まり、クラス一丸となって制作した作品が完成した。若菜さんの奮闘が見事に実った。

「当日は、鈴木実桜さん(写真・右)達が司会を担当し、とても盛り上がりました。100周年の記念すべきイベントに委員長として携われて、誇りに思っています」



# 人文字「めいじろう」



これは100周年を記念して行われた「Meiji Memory」の一環として生徒による100周年記念事業委員会が企画、準備リハーサル、実行、撮影まですべて行い、先生方はいっさい口もお金も出さなかったそうだ。コンセプトとして全校生徒・高生・中学生が一緒に参加できるもので、みんなが知っているものということで「めいじろう」が選ばれたそうだ。

ただ全校生徒が集まれる機会はその限られた時間の中でリハーサル・本番を行って、しかも予算をかけずに行おうというのである。

入念に準備を進める中で特に難しかったのは、鶴澤総明ホール（講堂）の客席に全校生徒を配置し斜めから撮影するので「めいじろう」にみえるようイメージし配置を考えることだった。2学期の終業式にリハーサルを行い、本番に向け見え方や配置を再確認し、修正点を改善したが、なかにはふざけたりする生徒もいたりして1月8日始業式の一発勝負のため年末年始も気が気ではなかったそうだ。

本番の始業式は、わずか30分で全校生徒の配置を終え撮影までする短い時間にもかかわらず、100周年記念事業委員会メンバーが要素所に散らばり、的確に全校生徒に指示を与え、無事に撮影を終えることができたという。おそらくこの一番で力を発揮する「明治魂」をすでに受け継いでいるのだろう。終わってからの感想を聞くと「自分たちは指示をしている側でこの写真に入っていない」と残念そうに語り少しさびしそうだ。

ったのが印象的だった。

取材に快く応じてくれた若菜真穂さん、鈴木実桜さん、そして駒形先生ありがとうございました。





我が明治大学付属明治高等学校・中学校の記念すべき式典「創立100周年記念式典」が、昨年十一月十七日、明治大学アカデミーコモンにて開催された。

この式典には、学校関係者をはじめ多くの来賓の方々が出席され、明治高校在校生も参加した。高Ⅲの生徒は会場の二階席に同席。高Ⅰ高Ⅱの生徒はクラスごとに明治大学リビタワリーの別教室にてモニター越しの参加となった。

式典の司会は、声優の日高のり子さん。あの「タッチ」の「朝倉南」の声の人である。「こ息が在校生という」縁だそうで会場は一時どよめいた。

第Ⅰ部では、坂口副校長の開式の辞のあと、明治大学日高理事長、明治高校金子校長の式辞を拝聴。その後明治大学福岡学長をはじめ、たくさんの方の祝辞を賜った。そして長年にわたり母校のために「尽力いただき功績のあった方々に対して功労者表

彰が行われた。その代表者として、総明会尾島会長が登壇。金子校長から賞状が授与された。また在校生代表として、生徒会長の芦沢柚香さんが誓いの言葉を述べたが、100周年にふさわしい素晴らしい内容であった。

第Ⅱ部では、本校OBでもある向殿教授による講演が行われた。題目は「国際化の中の日本」。出席者である高校生に向けてのメッセージが強く、これから様々な世界へ飛び出していく彼らにとって、とても有意義なものであったと思う。

そして式典終了後は会場を移し、祝賀会が開催された。並木中学教頭による開会挨拶、長友調布市長、清原三鷹市長の来賓祝辞と続き、その後式典の司会を務められた日高のり子さんにも祝辞を賜った。

またお二方のビデオレターも紹介された。王貞治氏と三宅裕司氏である。当時のエピソードを織り交ぜ、あたたかいお祝い

のメッセージをいただいた。

その後祝賀会は、鏡開き、乾杯へと進み、懐かしい恩師との再会。また先輩や同期、後輩との語らいを楽しんだのは言うまでもない。

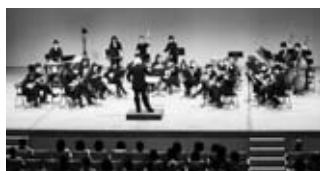
祝宴では、本校OBのアントニオ・古賀氏の特別演奏で盛り上がり、その後、応援指導班OB OG による応援紹介。そして最後は全員で肩を組んでの校歌斉唱となった。

閉会時には、笠松事務長による挨拶があり、記念すべき100周年の宴は、盛大なうちにお開きとなった。

取材という形で参加させていただいた私としては、この式典に参加できたことを光栄に思い、改めて母校の素晴らしいを感じることのできた一日であった。



# 学校報告



## 学校報告



## 文化祭「紫紺祭」

平成24年11月3日

「ここはどこ？」

「服いかがですか？」浴衣姿の女の子が、にっこり笑顔で声をかけてくる。

明治高校紫紺祭の取材に來たはずだ。僕らの時代とは、違う風景が広がり、カルチャーショックを感じ、改めて調布への移転を実感した。

校舎内を彷徨う。

お菓子の家が展示され、ムラサキイモを使い紫紺に色づけられた明治ランチのレシピを紹介する家庭科教室。Nゲージの運転に子どもたちが目を輝かせ、お土産には懐かしい硬券の切符を手渡してくれる鉄道研究部。力強い筆致の雄々しい作品や優美な味わいの書がならぶ書道部……。どれもなじみのないクラブに戸惑う。

校門をくぐって、目に鮮やかなグリーンの人工芝が広がる広い校庭を目にしたときから感じていた違和感。出迎えていただけの鵜澤聡明先生の胸像だけが

変わらなくとも、その先に男坂はない。

ここって明治ですか？

神田駿河台からここ調布富士見町の新校舎に移転、男女共学となつてから約六年が過ぎた。この間に何かが変わったわけではあるまい。場所や環境の変化のせいではない。卒業から二十七年。総明会の幹事学年である四十五才にとっては、時間の隔たりによる変容こそがもっとも大きい。

明治高校が駿河台で男子校のままあり続けていたとしても、戸惑いと違和感は同じようについて回つただろう。

身の置きどころのなさを身にしみつ、体育館へ。中学生チアリーダーが、甲高い声で誘う。「応援団のステージが始まります！」

副団長によるリーダー紹介は、三十年前から変わっていない？チアリーディング部の華やかな演技に続いて、応援歌へ。

団旗があがる。

大太鼓が空気を凜とふるわせる。

おお、ここは明治高校だ！

第一応援歌「紫紺の歌」を口ずさめば、戸惑いが霧消し、違和感が去っていく。

拳を突き上げ、「白雲なびく駿河台」

ここ、調布の地でも、伝統は受け継がれている。



# 吹奏楽班第54回 定期演奏会

平成25年1月27日



吹奏楽班の定期演奏会が、昭和女子大学人見記念講堂で行われました。

今年で第54回。これだけの回数を重ねている演奏会は、高校レベルではなかなかありません。コンクール全国大会の経験もある当班。本校の多くの部活動と同様、さしずめ高校吹奏楽界の「古豪」といったところでしょうか。

そんな昔のイメージを抱いて、20数年ぶりにやって来た定演。ところが、ホール入口には開場待ちの長い列。中に入ると、ロビーには中高生を中心に若いお客様。客席に入れば、2000席を超える大ホールがほぼ満席。開演すると、蝶タイに揃いのブレザーも眩しいメンバーは、総勢84名。女子比率は半数を超え華やかに……すっかり様変わりした吹奏楽班を目の当たりにして、タイムスリップした感覚に陥りました。

演奏のほうは、第1部が、本格的な吹奏楽の曲を3曲。うち1曲は、当班OB・榎亮史氏（平成22年卒）の作曲によるもの。クラシックな曲だけでなく、現代音楽もこなす技術を披露してくれました。

第2部はポップスステージ。ブラバンは、楽器だけ吹ければ良い時代は過去の事。当世の班員たるもの、着ぐるみ・コスプレを身にまとい、歌って踊れるパフォーマーでなければ務まりません。「ももクロ」「きゃりーぱみゅぱみゅ」などがステージで披露され、応援団伝統の名調子による司会と相まって、会場は大いに盛り上がりました。

第3部は昨年のコンクール曲を中心に3曲。ひと夏を懸けただけあって曲の完成度は高く、とくに自由曲のパーカッションは見事。全国大会まであと一步に迫った実力を感じられました。ブラボー！

終演後の忙しいなか、班長の

中山哲兵君に話を聞きました。今年の目標は、ズバリ全国大会出場！課題は、練習時間の確保。スクールのバスとの関係で、練習は6時までに終わらなければなりません。効率的な練習や朝練を活用して、長時間練習できる他校と勝負していきます。

いまや吹奏楽はすごいジャンルになりました。テレビ番組で取り上げられたり、美術館（コンクール全国大会の会場）もすっかり有名に。通称も、おなじみの「ブラバン」ではなく「スイブ」（吹奏楽部の略）のほうが主流だとか。そこを班長に尋ねたところ、「自分たちは班ですから、今でもブラバンです」とキツパリ。新しさを取り入れつつも、良き伝統はしっかり受け継がれていることを確信しました。これからも頑張れ、明高ブラバン！

# マンドリン部 第54回定期 演奏会

平成25年2月10日



照明を落とした舞台上に、現役の学生さんたちが入場してきました。暫しの静寂の後、「ジャーン」。オープニングの「開幕曲」です。現在マンドリン部の音楽監督である久保田孝先生が、高校在学中、「明治高等学校」をモチーフに、第1回定期演奏会のオープニング用に作曲。その後54年間に亘り演奏され続けてきました。この曲を聴いた瞬間、一心不乱に仲間たちと音楽に明け暮れていた、27年前の現役時代を思い出しました。

今年で54回目となるマンドリン部の定期演奏会は、調布市文化会館「たつくり」で開催されました。プログラムは3部構成。マンドリンオリジナル曲の他、昨年8月の第1回全日本マンドリン合奏コンクールで銀賞を受賞したモーツァルト／交響曲第25番、昨年7月の第42回全国高等学校ギター・マンドリンフェスティバルで優秀賞を受賞（実に33年連続！）したロッシーニ

／歌劇「アルジェのイタリヤ女」序曲、卒業生によるアンサンブル等、多彩なプログラムです。

ステージ上のメンバーは総勢21名と、人数的には決して恵まれていたとは言えません。また、特に目を引いたのは、メンバーの半数以上を女性部員が占めていることです。流石に、「大人数による迫力のある演奏」とは言えませんが、繊細な表現力等それを補って余りある、「技術的にはアマチュアの域を超えた」素晴らしい演奏でした（OBの私が言うのは何ですが・・・）。

演奏会終了後のお疲れのところ、部長の佐藤瑞城さんからお話を伺いました。今年の幹部学年は、調布移転と同時に共学化した2008年に新入生として入学してきた学生さんたちで、全員女子。それ故、運営面では色々悩まれる点も多かったようですが、過去の伝統を大事にしつつ、従来は下級生中心で行っていた練習の準備を上級生が

手伝う等、少しずつ新しい試みを行っていったとのこと。ただ、部員の確保には非常に頭を痛めているとのことでした。

最後に、佐藤さんに「明治高校マンドリン部の良さって何でしょう?」とお聞きしたところ、「素晴らしい指導者から音楽の楽しさを教えて頂けることです。」と即答されました。海外の専門誌で特集が組まれるほどのマンドリン界の第一人者・久保田孝先生に直接「指導頂けることは、彼ら・彼女らにとって何」ことにも代え難い喜びなのでしょう。

私たちの時代と比べると、今の学生さんたちの回りには、さまざまな娯楽が溢れています。それらの誘惑にも負けず、厳しい練習を重ね、音楽に情熱を傾け、何より「仲間たちとの繋がり」を大事にしながら守り続けてくれている後輩たちに心からの拍手を送ると共に、マンドリン部の今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。

## 学校報告



## 第3回 紫紺の下に

平成25年2月17日

『第3回紫紺の下に』が鶴澤純明ホールにて開催されました。

第1部の吹奏楽班のポップス・ステージでは、心をひとつにした演奏で会場全体を魅了しただけでなく、吹奏楽班女子生徒の歌と踊りによるパフォーミングスも男子生徒の心もつかんではなませんでした。

第2部のチャアリーディングステージでは、中1から高3までの総勢38名による息の合った演技が会場を華やかにしていました。

普段は応援指導班のチャ・リーディング部としてリーダー部とともに他者の応援のために練習を積み重ねているわけですが、この日は自分たちの晴れ舞台のために練習し、成果を発揮していました。

そしていよいよ第3部の応援団リーダー部による校歌・応援歌紹介。

歴史と伝統ある校歌・応援歌紹介は「質実剛健」の明治の精

神をあらためて感じられるステージでした。

また、昨年度明治高等学校・明治中学校100周年を記念して作成された応援歌「100周年記念応援歌「紫紺を胸に」」が初披露されました。

あらたな武蔵野の地で、この歌が明治の新世紀にむけて学生たちと共にあらたな歴史を刻んでいくことを思うと感慨もひとしおです。

会場也大いに盛り上がり、この日の最後となる「校歌」では、長い応援団の歴史の中でも初めての女子生徒の団長が締めを飾りました。チャ・リーディング部も参加する校歌は、まさに明治の新世紀へ向けての1ページを見ているようでした。

この「紫紺の下に」が応援団活動の最後となる幹部の挨拶で幕を閉じました。

女子生徒の幹部2人は、この貴重な経験を大切に、明治の精神を感じたに違いありません。

来年度の団長は男子生徒。リーダー部が4名の現狀で、明治の歴史と伝統を受け継いでいきます。





# ① オープン キャンパス

平成25年6月22日



明治中学受験志望の小学5・6年生を対象とした最大級の体験型受験生イベントとして、6月22日（土）午前中にオープンキャンパスが開催された。今年も大盛況で1500名の募集（追加で300名）が満席になり、追加開催の要望があるほどの人気ぶり。

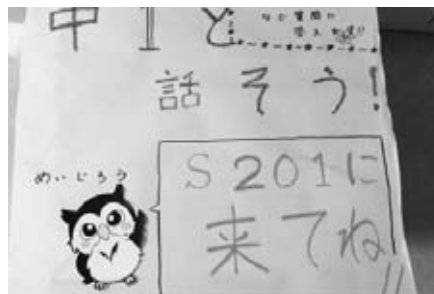
オープンキャンパスは、授業体験、クラブ体験、広告企画の3つのイベントで構成されている。

授業体験では「授業体験してみませんか」と題し、国語・社会・算数・英語・理科で10講座設けられており、今年の注目は初開講の駒形先生による社会「まんで見る歴史」と、若手ルーキーの原島先生とジョーンズ先生による英語「Let's play in English」であろう。どの講座でも小学生が真剣に、時には楽しく受けている光景が印象的だが、それを見守る父兄も何か一緒になって受けているような感

じさえあった。

クラブ体験では「クラブ体験してみませんか」と題し、スポーツ系・文化系を含め20のクラブ・班が参加。各クラブ・班ともそれぞれの特徴を活かした内容となっていて、趣向を凝らした催しが目白押しであった。このクラブ体験の良さは、何より生徒主導で行われているという点で、小学生には馴染みやすく楽しく参加できたのではないかなと思う。さらに鶴澤総明ホールでは、吹奏楽班の公開演奏と応援指導班の公開応援が行われ、最後に受験生に向けて盛大なエールを送っていた。

広告企画では「明治のあれこれ聞いてみませんか」と題し、「先生と話そう」「中学1年生と話そう」「保護者による学校説明会」の3企画が設けられている。「先生と話そう」は先生が悩みを解決してくれるとあって、親子で真剣に先生の話聞きについてい



## 学校報告



る場面が多々あった。「中学1年生と話そう」は、中学生に直接話が聞ける機会はその減多にないことなので、とても良い企画だと感じた。何より説明している中学生が楽しそうに、そして丁寧に説明している姿がとても好印象であった。「保護者による学校説明会」は計3回行われたが、どの回も教室が立見で一杯になるほどの盛況ぶりであった。何より保護者視点の説明だけあって、どの父兄も真剣に聞いている姿がとても印象的であり、その真剣さから学校への関心の高さがうかがえた。

オープンキャンパスを通して感じたことは、参加した小学生はこの学校に入りたいと思う気持ちがより高まったのではないかと、父兄はこの学校なら安心して子供を預けられると感じたのではないかと思うくらいに、開放的で楽しいイベント満載の文字通りの「最大級の体験型受験生イベント」であったと思う。



# 新任先生 紹介



## マシュー・ジョーンズ 先生

日本人の生徒は今、英語を学習しようと  
する時、多くの問題に直面しております。

とりわけ、文法学習、正確な発音を身につけること、新しい語彙を習得するなど、数々の困難があります。生徒は自分が英語が下手だと感じると、時に英語でコミュニケーションをはかるのが嫌になり、英語が上達しなくなります。私がこの学校で英語を教えるにあたり望んでいることは、英語学習は実に楽しいものであり、不安を感じるようなものではないということを、生徒たちに教えていくことなのです。確かに失敗を恐れずに英語に向かうことは彼らにとって容易なことではありませんが、私は、彼らが勇気を持ってそれができるよう、精一杯のサポートをする所存です。

また、読書や外国映画、音楽の鑑賞など、彼らが興味を持ちそうなものなら何でもトライさせてあげたいと思っています。今、現実に世界で使われている英語に、じかに触れさせることが私が彼らにしてあげられることだと考えております。勉強のためだけでなく、一人一人の個人の成長のためにも、外国文化のあらゆる面に興味を持ってもらいたいのです。

もう一つ考えなければならない点は、生

Name: Matthew Jones.  
Age: 37.  
Date of birth: 20/06/1976.  
Hometown: Liverpool U.K.  
University: University of Wolverhampton U.K.  
Position: 特別常勤講師. Club: English Speaking Society (ESS)

Japanese students face many challenges when trying to learn English. First of all, there are the difficulties of learning grammar, perfecting pronunciation, and remembering new vocabulary. When students feel their English is poor, they sometimes become reluctant to communicate and so their English level doesn't improve. As a native speaker at this school, I hope to show students that learning English can be enjoyable and not something to be anxious about. Practicing English, while not worrying too much about making mistakes is difficult for many of them, so my aim to give them as much encouragement and support as possible.

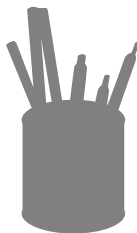
In addition, reading, watching movies in English, listening to foreign music, whatever interests them is, in my opinion crucial. More exposure to real world English is something I hope to be able to provide for them. Indeed, deepening their interests in many aspects of foreign cultures is, for me a key factor, not only for their studies but also their personal development.

Another issue to consider is our student's perception of English. While attitudes are changing, many of them still regard English as a non-priority. I'd like to encourage them to see it as being essential, not optional, helping them to realize English will play an important role in their future.

Undoubtedly, these are significant challenges which will take time overcome. However, with the support of parents, teachers and students alike, I'm confident we can make progress together.

徒の英語に対する認識です。英語に対する態度は徐々に変わってきましたが、まだ多くの生徒は英語は優先順位が低いようです。彼らに英語はこれからは任意のものではなく、必ず必要なものだとかってもらえるように、また将来、英語が彼らにとって重要な役割を果たすとわかってもらえるように、最大限の努力をするつもりです。

明らかに今まで述べたことは彼らにとって大きな“挑戦”です。もちろん、成し遂げるには時間もかかるでしょう。しかし生徒たちはもちろん、保護者や先生達も一緒になってやれば、必ずや成果が出ると確信しております。（訳 青木茂雄先生）



## 高橋美樹恵先生



今年の四月から明治中学・高校で数学科の教員として勤務している高橋美樹恵です。クラブでは吹奏楽班とソフトテニス部の副顧問を務めています。

私は1988年1月25日に兵庫県宝塚市で生まれ、小学校3年生のときに千葉に引っ越してまいりました。平成23年に東京理科大学理学部第一部数学科、平成25年に東京理科大学大学院

修士課程を卒業しました。

私は個人が自主的に考え、周りの人と協力し、責任をもって行動するように生徒に指導していきたくと考えています。激しく変化していくこの社会で、自分の個性を活かし、他者を理解し協力していく必要があると考えるからです。そのためにも生徒一人一人が日々鍛錬していかななくてはなりません。実際に、生徒たちは素晴らしい環境で勉強やクラブ活動に励んでおり、大学生やその先の社会人になった時に力を発揮してくれと感じています。

更に、私は数学の授業を通して、思考力・判断力・表現力の育成を目指していきたいと考えています。これらの能力は他者と関わる上で非常に大切であるからです。特に、思考力は社会の様々な問題について考える上で必要不可欠だと考えます。また、お互い意思や感情を上手に伝達する力をつけ、他者とのコ

ミュニケーションを通して良い人間関係を築いてほしいと願っています。

私は教員になって日が浅いですが、先生方に指導していただきながら、情熱をもって一人一人の生徒と向き合っていく所存ですのでよろしく願っています。



## 学校報告

## 部活動の 報告

### 剣道部

第8、11ブロック中学春季剣道大会団体  
女子団体  
ベスト16都大会出場

### 中学野球部

第9ブロック  
中学校春季野球大会  
ベスト8

### バスケットボール部

〈中学男子〉  
第9ブロック中学校バスケットボール春季大会男子の部 第6位

### 〈高校男子〉

東京都高校男子インターハイ予選  
ベスト32

### 卓球部

関東大会予選学校対抗  
東京都ベスト32  
高ⅡC 浅沼 大樹

### 美術部

第57回全日本学生美術展  
推奨

高ⅡF 野澤 汐里

佳作

高ⅢF 小椋 康平

高ⅢA 茂木 孝人

### 男子硬式テニス部

〈高校〉

東京都高等学校テニス選手権大会  
個人シングルの部

東京都ベスト32

高ⅡC 近藤 直幹

予選決勝

高ⅡD 守田 大輝

団体の部

東京都ベスト32

団体の部

東京都私立テニス選手権大会

ベスト8

〈中学〉

東京都中学校

テニス選手権大会

第9ブロック予選

個人シングルの部

15位都大会進出

中3E 上田 一誠

本選出場

中3B 大窪 一功

中3E 青木 光

個人ダブルスの部

12位都大会進出

中3E 大窪 一功

中3E 青木 光

本選出場

中3E 上田 一誠

中3C 青木 海士

中3A 高木 幹太

中3B 鈴木 考太

団体の部

東京都ベスト64

### 卒業生の活躍

2012年度

本校卒業生2名が司法試験に、3名が公認会計士試験に合格致しました。

おめでとうございます。

司法試験合格者

藤野 圭介（平成13年卒）

楠山 喬正（平成18年卒）

公認会計士試験合格者

越智 裕貴（平成19年卒）

青柳 拓（平成22年卒）

立花 嵩大（平成22年卒）

学校の近況が明治高等学校・中学校のホームページで詳しく紹介されています。ぜひ一度ご覧ください。

（検索サイトで明治高校と入力していただくか以下のURLのサイトをご覧ください）

[http://www.meiji.ac.jp/ko\\_chu/](http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/)

活動報告  
同期会  
班クラブ  
OB・OG会

うまみのかい

# 午巳の会

昭和21・22年卒  
小林 昭雄

私たちは、「明治は遠く」と詠んだ草田男に倣えば、いまや「昭和は遠くなりけり」というべき、昭和の17年入学同21、22年卒業の同窓である同期会「午巳の会」という。会名は、「うまみ」または「こみ」と呼称する、生まれ年が昭和4、5年でその干支の読み方をとって当てたものである。

さて私たちの小中学生時代は、わが国が激動の歴史を刻み、戦雲に掩われた年月の中

にあった。その一端に触れさせて頂く。

小学校入学の年昭和11年2月26日に「2・26事件」が起る。

同2年生時の12年7月7日に「支那事変」がはじまる。

同6年生時の16年12月8日に「大東亜戦争」が勃発する

（前年15年9月27日独伊3国同盟調印）。

右の開戦の翌年17年4月に

中学校入学（学帽は軍人の戦闘帽と同じ、服も国民服と称する全男子同じカーキ色のもの、靴はズック）。

3年生時の19年1月、全国中学生にも勤労動員令が発令され、各種の工場などで生産に従事する（明治中学校3年生は9月より出勤）。

20年8月15日、天皇陛下による「終戦」の詔書が放送される。

8月6日に広島、同9日長崎に原爆が投下される。

・ 同月8日、ソ連（現ロシア）はわが国に宣戦を布告する。

同年9月より4学年の授業が開始される。

・ 空襲による戦災死・転居・繰り上げ卒業（戦時特令の4年卒業）などにより学校へ戻った者は60人に充たなかった。

次に特記したいのは、占領軍司令部（GHQ）の指令による学制の改革についてである。

かつてわが国の学制による各修業年限は、小学校6年・中学校5年・高等学校大学予科ならびに専門学校3年・大学3年であった。

右の中の高等学校・大学予科の教育が大事なのである。

この3年の日本独特の教育が人材を育てたのである。紙数がつきたのでこれで擱筆する。

諸君におかれては、どうか

祖国の「近現代史」また「教育」の在り方に思いを至して頂き

たいと切に願うものであります。

## 三重工業株式会社 消防設備工事配管請負

代表取締役

片 桐 泰 裕

（昭和61年卒 新世輝）

y-katagiri@mie.email.ne.jp

〒141-0032

東京都品川区大崎3-6-17

TEL 03-3493-6731(代)

FAX 03-3493-6794

ふぐ ちゃんこ  
焼 き 鳥

鳥 義

氏 家 喜久雄

（昭和61年卒 新世輝）

墨田区石原3-17-3

TEL.03-3626-4466

めいじかい

# 明二会

昭和25年卒  
小田川 玉城



明二会は明治高校二期生であります。今年も松本先生をお迎えし、14名で5月11日神楽坂にて総会・懇親会を開催しました。全員が昔話と近況報告で時間が足りない位でしたが、校歌高らかにして雨の中に解散致しました。最遠方は兵庫県宝塚から参加の友でした。今思うに、旧友個々の話を聴くにつれ当時のことは後輩諸氏の知る由もないことが多く、それをお伝えするのでも私達の責務だとも思います。

まず、入学時は物資不足で制服・制帽は無く、小学校で着ていた上着に徽章とボタンを付け替えたのみ。靴はそれぞれで、スキー靴・登山靴・地下足袋・運動靴・短靴。私は再生の編み上げ靴でした。

中1では剣道と軍事教練が正課としてあり、剣道は中村師範と遠藤師範の二方でした。防具の調達もままならず、卒業される二人の先輩が譲りた

いが現金でなく米一斗(四升)を望むとのこと、中村師範より伝えられました。しかし購入希望者はだれもおらず、帰宅後、その旨を父親に伝えた所、大切な防具を売りに出す二人の先輩の心中を慮ってか、「二つとも買う」と云い、吃驚したものです。その後、父親は大変な思いをして米を調達したようです。

JRは省線(鉄道省)と呼ばれ、初乗り10銭区間(亀戸〜御茶ノ水)で昭和19年迄の定期券は学校で纏めて購入されました。上記区間6か月10円10銭を明確に記憶しております。

校外にて上級生を追い越し或いは対面した場合、必ず拳止敬礼が課され、怠れば制裁を受けると言われていました。が、先輩によりけりでした。

私は間違えて他校の上級生に敬礼し、怪訝な顔をされましたがそれでも良いと思って

いました。

朝、授業前に弁当を食べる級友もいました。が、昼食時には誰かの弁当が空になってたこともままありました。が、被害者も誰も先生に伝えずに泣き寝入り。食糧難という時節柄、虐めでは済まない問題かと思いますが、先生は卒業まで知らずじまいでありました。

軍事教練。配属将校は田端中尉(子息が同期同組)。中1は山田准尉(年配で膝上までの長靴)。毎教練、前進め・全体止まれ・右向け右・一列横隊・二列縦隊。上級生は本物の小銃・機関銃を使用している訓練・分解手入れ等。私達は早く上級生に成って銃器を扱いたいと思いました。明治中学には小銃7丁・80丁・機関銃10数丁が銃器庫に収められていました。その後、軍の徴発により倉庫は空になりました。そして敗戦。前年号に寄稿した通りです。



ざるがくかい

# 猿楽会

昭和26年卒  
大竹 宏

今を去ること六十九年前（昭和一九年）：政府は「強制疎開令」を発し、都内の幼稚園は全園閉鎖。小学校三年生以上を対象に、学校ぐるみの集団疎開が実施された。縁故を求めて、田舎へ帰るだけの疎開では限度があったからだ。その数は、縁故・集団を含めて、東京からだけでも百万人の数を超えたという。三月十日の大空襲は、二十万戸を焼き払い、一夜にして十万人の命を奪い去った。

政府は遂に小学校の授業を停止。従って、都内には中学校入学適齢者が激減し、入学応募者に対し「全員・希望校無試験入学許可」が実施された。当然、我が明治中学校でもこの措置が適用され、私たち学年はこの恩典？に授かり入学を果たすことになった。

だが、学校にとって前代未聞の「無試験入学者」は、教師達から「創始以来のバカ」と蔑まれ、この侮蔑のオコトバは以来六年間、高校卒業まで延々と続き、終生忘れることはない。

だが：本当のバカばかりであつたのだろうか？ バカはバカなりに、それぞれ強烈な個性と、知恵の持ち主でもあつた。

一方、教師の方々も、私たちを単なる「バカ」呼ばわりにしていた訳ではない。見限られたような生徒の中に、学業とは違う特有な分野で勝る者

や、個性：資質を見出し、將來の道に活かすべく仕向けて下さった教師の方々も居られた。その代表的な方が、「狐」の渾名をお持ちの教頭・野木晋一郎先生である。表面的には底意地悪く？皮肉たつぷりなお説教の数々で、私たちは辟易させられ、その存在を疎んじたものである。渾名の「狐」はまさににピッタリ：

先輩の命名の巧さ感に堪えず、密かに「狐」への陰口を叩いて鬱憤をはらしたものだ。

が実際には、生徒の日頃の行動や、隠れた才能に眼を注ぎ：人情味豊かに接して下さった方は、野木先生をおいて他に例を見ない。

かく申す私：威張れたことではないが、学業成績下から数えて一番であつたが、高校卒業時、文化部代表として表彰状を頂いて仰天したものだ。だが、その事が励みとなつて、卒業後はプロとして芸を

磨き、現在も、世の中に楽しみを与える仕事に徹している。「私学・明治高校」に籍を置き：先生方の暖かき薫陶を受けたおかげか？

かつて、「猿楽会」の座談の中で、当時の記憶を辿り回顧に耽っていると、時の推移の余りの早さに感無量になつた。

幽冥境を異にされた恩師の方々：多くの親友：私たちとて、今後数年の命

かもしれぬ。だが生きている限り、会う機会を多く作り、励まし合い、仲良くしよう。

互い明治高校出身だったことを誇りにしよう！

私たちには、個性を重んじてくれた「私学・明治の魂」が、骨の髄まで染み透っているのだから！

平成一三年十一月「猿楽会」の座談会  
：編集・文責／大竹宏より：抜粋・改訂しました。

めいこうかい

# 明高会

昭和27年卒  
吉田 満

私共「明高会」は若い様でも本年八十才を迎えます。中々出歩く機会も少なくなっております。しかし気の合う連中で小グループの会合は数多くございます。中でも最大のグループは「小ふで会」です。

この会は元校長福島先生を囲む会から発足した会です。毎年六月の第二金曜日の正午に銀座の三笠会館で集合です。年々参加者が少しずつ増え

ているのはマサにオドロキです。これも連絡幹事の渡辺幹夫君(明治大学校友会・浦安市地域支部長)が毎回の通知をボランティアで皆様にお知らせ頂けるお蔭です。総明会は卒業生全員の最大催しです。意外な身近の方が同窓生におります。昨年からは女性の卒業生が総明会にお仲間入りして、ズンと明るくなりました。毎年担当卒業学年の皆様が気合を入れて頑張っておりますので是非ご参加下さい。年寄り割引もありますよ!!

尚総明会の皆様へお願いがございます。総明会の方は殆んどが明治大学に進学されます。明治大学の校友会は現在老齢化が目立ちます。ぜひ明治大学卒業生の「校友会」に「活を入れる」意味からもそれぞれ身近な地域支部に積極的に参加され、役員としてそれぞれの地域で活躍して頂

きたいのです。高校・大学とお付合いが多く大変でしょうが、明治大学校友会は、若い力が必要としております。向殿政男校友会長も明治高校出身です。ぜひ明治大学発展のために、皆さんのお力添えを御願い申し上げます。

昭和二十七年卒

米山 耕右

昭和三十三年卒

米山 武男



ふぐ・和風居酒屋

民芸茶屋 佐留丹

〒120-0034 足立区千住1-33-8

03-3882-7229

<http://r.gnavi.co.jp/g418500/>

<http://www.facebook.com/sarutan1971>

昭和61年卒・新世輝 猿田尚弘



めいそうかい

# 明窓会

昭和28年卒  
戸田 一郎



「明窓会」は我々が十九年前に還暦を迎えた年から六月第二金曜日を恒例開催日として毎年開催している。「総明会」が組織化される以前に「池の端文化センター」で旧制明治中学校の同窓会が催され、その時の幹事学年として我々の期が指名され設営にあたったのが「明窓会」のはじまりで、この名称は故福島先生によって「総明会」誕生より以前に命名されたものである。

それ以来、時に応じて数回開催されたが、還暦の年をむ

かえてからは毎年開催されている。単純に数えれば、二十年以上毎年開催されていることになる。

今年の同期会は六月十四日に両国のホテルベルグランドで開催された。永年に亘り代表幹事を務めていた熊木貞夫君が昨年八月に亡くなったので、横浜国大教授を退官した竹田志郎君に後を引き継いでもらった最初の会となった。

いたしかたの無いことであるが、このところ毎年「明窓会」を卒業して鬼籍に入る者が増え、開催案内を出しても当日に元氣な顔を見るまでは不安な思いが心をよぎる。卒業した者は実に八十名にも及んでいる。ご家族からの申告が無ければ亡くなった事も分

からない。

初めての参加者もいるので人相や体型が変わって誰だか判らないと困ると幹事団が心配するので、事務局長役の自分ならば相手が誰だか分かるだろうと云う事で受付に張りついた。

杖を頼りの者も居て三十数人の仲間が集まったのであるが、エレベーターから降りた時には怖い顔をしていたのが「こんには」の挨拶が「オッス元氣か」と云う挨拶に変わった途端に昔の悪童の顔に変わってしまった。「オレ」「オマエ」の仲に立ち返り、全員が十七・八の高校生の集団になつてしまふ。現在の明治高校とはちがいが昔の男子校の悲しさで色気のない集まりになつてしまふと困ると云う訳で、昨年好評であった美人歌手を今年も招き、シャンソンや演歌で盛り上がりカラオケまで始まり賑やかな会となった。終盤には、これも恒例になつ

ている応援団OBの比留間君の指導で校歌を大合唱したのであるが、全員感激したのだろうか目が輝いている。中には輝くどころか涙目で歌っている者もいる。老いると涙腺が脆くなるのか。校歌の効果は偉大なもので世の中の憂さも忘れさせてくれ明日の活力も与えてくれる。

皆が満足し来年の再会を約して散会となった。スナップ写真や動画もカメラに収め「通夜の写真にするからハンサムに撮れ」などと無理難題を云う者もいたが、全員に写真とDVDを配布した後には丁寧な礼状が数多く寄せられ、それを活力に来年も必ず開催しようとする原動力となった。来年の会場も予約を済ませるのである。「明窓会」の皆んなきつと会おうな。キミが来ないと心配するから。来年の年賀状で日時を教えるから元氣で居てくれ。かならず。



はちめいかい

# 八明会

昭和28年卒  
高橋 和夫

私は八丈島出身、

明治大学八丈島高等学校、昭和二十八年卒（八明会）として、持丸孝雄氏と共に、総明会へ出席しております。

二〇〇九年（昭和五十七年卒明魂会）、関川一浩・小林謙之両氏の「特集Ⅳ」として紹介された、八丈明治高校の一人です。

くわしくは「二〇〇九年総明会会報」を見て下さい。

昨年100周年に際して、八丈島の二〇〇年前の著書、「えんおうこうご園翁交語」「むかしのことばなし舊昔綜嶼噺話」を多くの

卒業生に買っていただきました。

会報の紙面を持って御礼申し上げます。

今後共よろしく御願ひ致します。

「えんおうこうご園翁交語」「むかしのことばなし舊昔綜嶼噺話」の

著者は、私の先祖です。

八丈島出身の漢学者

高橋興市の約200年前の本

出版

「えんおうこうご園翁交語」「むかしのことばなし舊昔綜嶼噺話」



八丈島の古文書を読む会 編 南海タイムス社 発行 1890円

眠っていた古書を翻刻！ 大津波など数々の伝説や、江戸時代の方言・地名・風習、亀ト占い、絹織物、桑の効用…。八丈島のアイデンティティーを発見できる1冊！

島内の書店、南海タイムス社 (TEL 04996-2-3456) で販売中

めいらくかい

## 明楽会

昭和31年卒  
会長 佐藤 健一

第四十九回総明会開催を心  
よりお祝申し上げます。

我々明楽会も50年にわたり  
開催して参りましたが、年々  
減少して来ました。常々会と  
致しまして健康三原則を唱え  
て参りました。

- 一、身体 の健康
- 二、お金 の健康
- 三、見聞 の健康 等々

さて昨年は約30名の参加の  
もと、日比谷松本楼にて盛大  
に開催され、又総明会本部よ  
り尾島会長、熊倉事務局長、  
当番学年幹事の3名が来賓と  
して参加して頂き、尾島・熊  
倉両氏には現在の総明会の状  
況等を説明頂き、会員一同喜  
んでおりました。私共高齢者  
には、母校の状況等が一番の  
楽しみであり、長生きの秘訣  
と思われまふ。

来年は全員が77歳という人  
生の節目「喜寿」を迎え、会  
員元気に張切っております。  
一人でも多くの方々が此の  
「喜寿」の催しに参加して頂  
く事を楽しみにしております。  
後世に少しでも記念にと記  
念品を絞っておる次第です。  
知恵を絞っておる次第です。  
是非本部の方々も御参加頂  
ければ幸と存じます。(場所は  
未定)



尚本年は10月27日(日) 28  
日(月)と箱根湯本ホテル「お  
かだ」にて開催が決っており  
ます。  
これからの総明会の益々の  
一発展を心より御祈念上げ  
ます。

## 帽子製造卸 株式会社 東 栄

代表取締役 土田 饒 (昭和31年卒 明楽会)

専務取締役 土田 正昭 (昭和61年卒 新世輝)

〒103-0002 中央区日本橋馬喰町1-3-5

TEL 03-3664-0810 FAX 03-3664-0033

E-mail [toei@beach.ocn.ne.jp](mailto:toei@beach.ocn.ne.jp)

祝 第49回 総明会

昭和31年卒

明 楽 会

会長 佐藤 健一

明治高等学校

昭和30年卒業

同 期 会

会長 宇田川 雄弘

昭和37年卒

新麴町法律事務所

弁護士 福島啓充

〒102-0083  
千代田区麴町3-7-4秩父屋ビル5階  
TEL 03-3234-0511  
FAX 03-3234-0510

〒101-0041  
千代田区神田須田町二丁目三十一  
河合ビル八〇一  
電話 〇三三二九四六二九〇  
FAX 〇三三二九四六二九〇

昭和三十七年卒  
柚木法律事務所  
弁護士 柚木 司

細田木材工業株式会社

代表取締役社長

細田 悌治

〒136-0082  
東京都江東区新木場 2-5-3  
TEL.03-3521-8701 FAX.03-3521-8708

e-mail t-h39@woody-art-hosoda.co.jp  
http://www.woody-art-hosoda.co.jp/



創業文政二年



長い歴史を通じて人々の心をなごまし、  
生き抜いてきた金魚。その愛すべき金魚  
の販売を私たちは江戸時代から現代まで  
この道一筋に歩んできました。この地に  
さらに充実した優良金魚の品種を満載し  
皆様に喜んでいただければと思っています。  
ぜひ御来店していただき金魚の美を  
堪能してみてください。

〒124-0023  
東京都葛飾区東新小岩 5-14-7 (1F)  
TEL 03-5671-5550 FAX 03-5671-5557  
http://www.kingyo-yoshida.com

株式会社 ニチドウ  
http://www.jpnd-nd.com



37 年卒 吉田信行  
38 年卒 増田利明



Premium Dog Foods

ぎゅうかい

## 旧雨会

昭和34年卒  
加藤 佳一

今年73歳を迎えた我が学年  
(昭和34年卒)も近年、一人  
また一人と散ってゆくのはも  
の悲しい。そしてその葬儀の  
場が同期の連中と顔合わせの  
場となるのはなんともさびし  
いものである。

奇しくも我々の同期会がし  
ばしば行われ、我々のたまり  
場でもあった京橋の老舗「明  
治屋」が7月12日閉店となっ  
た。次回の同期会の場所とし

ての開催を予定していた矢先  
のことであった。

さて我が学年では近年ゴル  
フ会が毎年開催されている。  
希代章氏、秋山義昭氏、福島  
正太郎氏らが世話人として毎  
年1回の開催である。

明治中学、高校が調布に引  
越してもう何年になるだろう  
か。そして共学となつてはな  
やかさを添えた。いろいろな  
「明治」が都心から消えていく  
時おり神田界わいに出かけ  
ると男坂に自然に足が向く。  
「明治は遠くなりけり」そ  
んなことが益々感じられる昨  
今である。

### 昭和34年卒 明高野球部OB



丸マルキュー株式会社

代表取締役

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀 2-4  
TEL:048-728-0909 FAX:048-728-3909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

丸マルキュー ECOGEAR FishLeague PRIME AREA

### 小坂法律事務所

弁護士

小坂嘉幸

昭和34年卒

〒110-0005

東京都台東区上野3-17-8

田沼第1ビル4F

TEL. 03-3831-6032

FAX. 03-3831-6037

新たな都市機能を創造し、発展させ、守り、次代へ引継ぐ

〈建築物総合管理〉



アーバンシステム株式会社

URL <http://www.urban-system.co.jp>

TEL.03-5398-1500

取締役副社長 臼田 真一郎 (昭和 61 年卒 新世輝)

さんなかない

# 三七会

昭和37年卒  
福島 啓充



明治高等学校昭和37年3月卒業生は「三七会」という同窓会をもっています。

平成25年2月16日(土)明治大学紫紺館において、「三七会2013」を開催しました。当日は古稀記念だったこともあり、それぞれ声を掛け合ってくれたおかげで総勢60名弱の旧友が集まり、大変盛り上がり楽しく懇親を深めることができました。

5年ぶりの開催ということですのでその間に住所移動や亡くな

られた方など連絡がとれない方もあり少々さびしいこともありました。

当日は、5年ぶりに会う友や卒業以来50年ぶりの友もいて、受付で話し込んで、受付けて受付けの石井嘉一郎

君・中村哲士君・染谷秀夫君がてんでこ舞いで会費を受けつけていました。皆、クラスと名前の入った名札を胸に懇親会が始まり、吉田信行君、依田豊隆君が進行係となり、開会の辞を小林敏朗君が、そして幹事の福島啓充の挨拶、乾杯を中田貢弘君がして懇親会に移りました。

その後、大澤忠夫君が前回同様物故者の写真を映像化し、スライドで会場の画面に映し出し、司会の吉田君が故人の

思い出や活躍された部活などを紹介しました。

来賓として総明会副会長関谷芳久氏から祝辞を頂き、福島が三七会からの寄付金を総明会今年度幹事学年代表に手渡しました。

それから参加者がクラス別に集まり各自一言ずつ現況などを発表してもらい、余興として中村哲士君が「七十にして古来稀なり」の中国の詩人杜甫の句を入れた漢詩の詩吟を吟じてくれるなど、楽しく昔話に花が咲き、酒もすすいと酔いも回って会場は一層盛り上がりしました。

最高の盛り上がりは、高村光昭君率いる明高応援団による校歌および応援歌。皆で肩を組んで元気いっぱい大きな声で唱いました。

最後に、大変な心労の中、参加してくれた中日本高速道路の社長を務めている金子剛一君のメの挨拶があり、そし

て、次回の会は三七会の逆さを取り73歳を記念して3年後に催すことを提案し満場一致で採択されました。

実は古稀を機会に今回を最後としようかとも思っていたのですが、改めて懐かしいみんなと会っていると、やはりできるかぎり続けた方が楽しいと思いました。集まれること自体が幸せなことです。引退や隠居を考えるのではなく、人生仕切直して頑張ろうと思った次第です。

恒例になっている中田屋の草団子を今回も中田貢弘君が用意してくれたので、それを土産に散会しました。

以上が今回の会の概要です。石井嘉一郎君の撮ってくれた集合写真をこの報告とともに掲載して頂きたいと思ひます。



にねんにいっかい

# 二年に一会

昭和38年卒  
会長 三浦 昭生

古希を祝う「二年に一会」

「頂きを目指す。繋がる伝統を世界へ」我々の学年が総明会の幹事学年を拝命してから早20数年がアツという間に過ぎたという感じです。

昭和35年明治中学校卒業  
昭和38年明治高校卒業、その中・高6年間に1日でも一緒に学んだ友すべてが会員の同期会「二年に一会」です。

昨年は母校創立100周年、そして卒業50周年という

節目の年を送ったと思ったら、今年は「古希」を迎える年になりました。年齢(とし)を重ねるごとに一年が本当に早く感じる、今日この頃です。

会名が示すとおり、卒業の翌昭和39年に第1回総会・懇親会を開いてから2年に1回年ごとに代表幹事を決めて一度も欠かすことなく同期会を開催しております。

昭和から平成へ、平成2年は日比谷・松本楼、2年後の50歳を迎えた年はホテル・ニユーオータニ、14年には第20回記念の会、還暦の祝いを兼ねた第21回は男坂近くのレス・トラン・ウインズを貸切、18年には青山のイタリアンレストラン・tantaで開催と、場所を変えて開いております。

そして、調布へ移り、男女共学となった平成20年には母校・猿樂町校舎をお借りし、松本理三郎先生、後藤朋智先

生、村野圭吾先生のお三方が教壇に立って、最後の授業をするという趣向で駿河台への名残を惜しみました。

21年から裏の年にも会おうということになり、毎年1回開催、22年の第25回記念は上野リバーサイドホテル、23年は都市センターホテル、昨年は卒業50周年記念祝賀会と銘打って新宿ハイアットトリージエンシー東京で60名を超す多くの列席者を集めて、賑やかに開きました。(写真) 今年も10月26日(土)に浅草橋の中華料理・馥香を貸切、古希を祝う「二年に一会」を開催します。

会長・三浦昭生、高橋正佑幹事長、関戸淳一事務局長、知野誠一監査、常任理事を中心に実に半世紀、これからも幹事を増やして「二年に一会」は毎年開催してまいります。

最後に誌面をお借りし同期生諸兄へ連絡先をお知らせす

るとともに幹事学年「新世輝」の運営、第49回総明会の成功を祈念し、同期会の報告とします。(文責 服部紀夫)

〒135-0005

東京都江東区高橋14-20

関戸淳一

TEL 03-3663-12008

FAX 03-3663-12548



昭和40年卒

# 明 優 会

会長 大関清人

事務局 坪田達夫 TEL03-3947-2431

祝 第49回総明会総会

昭和38年卒

## 二年に一會

10月26日 古希の会開催

会長 三浦 昭生

## JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

### 阿 部 正 行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6 - 10 - 11

TEL. 03 - 3834 - 1329

(株)グローバル インシュアランス  
保険総合コンサルタント

代表取締役

### 若 松 弘 昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7  
ドルミ五反田アンメゾン1001号

TEL. 03-3491-0900

FAX. 03-3491-0934

## 株式会社 シティ・ハウジング

代表取締役 佐藤 仁 (昭和 39 年卒 一一七会)

本社 東京都大田区西糀谷4-28-14

TEL03-3742-7177

FAX03-5705-8097

URL: <http://www.cityhousing.co.jp>

糀谷本店・京急蒲田店・蒲田東口店・大森駅前店・大森店・大井町店・雪が谷店

昭和39年卒(元マンドリン部キャプテン)

優しさは真実に勝る(ゲーテ『ファウスト』より)

21世紀は「心の経営」(仏教経営学)の時代 (少欲知足の世界)

明治大学大学院特別招聘教授

明治大学校友会本部監査委員

明治大学連合駿台会副会長

明治大学公認会計士会副会長

明治大学商学部三上会会長

谷公認会計士事務所代表

浄土宗(総本山京都知恩院)僧侶(少僧都)

### 公認会計士 谷 慈 義

〒135-0004 東京都江東区森下2-19-8 谷ビル

TEL.03-3631-8029 FAX.03-3631-8076 E-mail s.tani@chive.ocn.ne.jp

(ユアサ商事株式会社 代表取締役社長・会長、東陽監査法人代表社員、明治大学特別招聘教授を経て、現職)

さんきゅうかい

# 三九会

昭和39年卒  
佐藤 仁

## 二年後に 古希祝い同期会開催

昭和三十九年卒業で「三九会」単純明快な名称です。読み方は「サンキュウカイ」サンキュウ、感謝、感謝です。我、学年は大部分が終戦の年、昭和二十年生れです。今年で六十八才になります。同期会は、三、四年に一度行っています。会場は同期の北村元廣君の「レストラン日本橋 東洋」の2Fと決まっています。

東京のど真ん中の最高の場所です。大変便利で集まりやすいところに定例会場があるためか、常に80〜100名前後の同期が集まります。

前回は平成二十三年十月に開催しました。往復ハガキを出しただけで八十名以上参集しました。節目ごとに記念同期会をしています。五十才になった時、人生の100年の半分まで来たということでも五十才到達記念の会を行いました100名以上集まり、恩師の先生方も沢山お見えになりました。そして六十才では還暦記念の同期会を開催しました。

いつも準備会には二十人近くの仲間が集まります。揃いの赤いポロシャツを作り出した胸にはmeiji 39のインシヤル入ります。我々の仲間には世の中に誇れる有名人が二人います。明治中学、明治高校、東京大学そして東京カ

スの副社長、副会長を歴任した前田忠昭君。

明治中学、明治高校、明治大学を経て公認会計士、東陽監査法人を経て一部上場ユアサ商事の社長、最高顧問そして現在は得度し、僧職もこなし大活躍をしている谷慈義君です。

我々は昭和二十年生れの終戦子として極端に同年生れの少ない学年です。いつも我々の学年は少数ゆえに「もまれていない」「厳しい競争にさらされていない」等に、言われておりました。そんな学年から輩出された二人の傑物は我々の誇りです。何よりまだまだ元気な現役で活躍している仲間が沢山います。いつまでも若々しく元気な「三九会」でありたいと思っています。二年後には「古希祝いの同期会」を盛大に開催します。喜寿、傘寿、米寿と三九会は永遠です！



邦楽囃子演奏家

国太三郎

杉浦 邦雄(昭和61年卒新世輝) kuniotasaburo@yahoo.co.jp  
〒103-0013 中央区日本橋人形町1-15-1 新生ビル401 tel/fax 03-5641-4685

祝 第49回総明会総会

明治高校  
昭和43年卒  
同期会

# 紫 讃 会



作編曲家

**前田 俊明**

昭和43年卒 紫讃会

世田谷区祖師谷3-37-18  
TEL.03-3484-3136

昭和43年卒 紫讃会

## 小田嶋 保男

東京都足立区中央本町 4-2 4-8

中華ファミリーレストラン



## 孫悟空

細田店 葛飾区細田1-15-6  
TEL.03-3650-0059

**新村秀男** 葛飾区議会議員  
(昭和42年卒)

昭和43年卒

## 三田 幹男

### 紫讃会

昭和42年卒

## 結城法律事務所

弁護士 **結城 康郎**

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目14番3号  
赤坂東急ビル11階

電 話 03 (3506)1151 (代表)

F A X 03 (3506)1152

携 帯 090(3104)1840

E-mail: yuuki-lo@bj9.so-net.ne.jp url: <http://www.yuki-law.com>

昭和四十三年卒  
竹川忠芳法律事務所  
弁護士  
竹川忠芳  
〒一〇五〇〇三三  
東京都港区西新橋一丁目二二  
虎ノ門法律ビル四〇八  
電話 〇三三五〇四一三〇八  
FAX 〇三三五〇四一三〇七

有限会社 リフェスト  
代表取締役 石井次男  
(紫讃会・川口明高会)  
〒332-0034  
埼玉県川口市並木3-1-19  
TEL 048-258-9752  
FAX 048-257-5216  
E-mail:ishii@nagashin.com

紫讃会  
堀内 繁  
(昭和43年卒)

機械式時計専門店

株式会社ティーエス・ホリウチ  
TEL.03-3831-9733  
FAX.03-3831-9734

昭和43年卒「紫讃会」

福光税務会計事務所

税理士 福光登志雄

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野7-8-10  
大塚ビル303

TEL 042-747-2933  
FAX 042-747-2935

中華料理  
水新菜館  
寺田規行  
(昭和四十三年卒 紫讃会)  
東京都台東区浅草橋二丁目一番一  
TEL 〇三(三八六) 〇五七七番

プレミアム大吟醸酒「男坂」総明会会員限定販売申込書 FAX0259-87-3105

氏名

お届け先

TEL

申込内容 720ml @2,000円

本

男坂

お申込みいただく際は、本ページをコピーして、必要事項をご記入の上、FAXにてお願い致します。尚、お支払いはクロネコヤマトコレクト(代引)となります。「商品代金+送料+手数料」

株式会社 北雪酒造  
新潟県佐渡市徳和2377番地2  
TEL0259-87-3105 FAX0259-87-3173

住宅・オフィスのリフォーム・内装工事、各種工事承ります。

(株)数寄屋建木

(スキヤケンボク)

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目26番8号  
TEL 03-3815-1368 FAX 03-3813-5934

代表取締役 上野拓哉  
(昭和61年卒 新世輝)

不動産売買・賃貸管理・ビル管理

すきや不動産  
(不動産コンサルティング)

TEL 03-3811-2963 FAX 03-3813-5934

E-mail: ueno@sukiya-f.co.jp

URL: http://www.sukiya-f.co.jp

創業 昭和2年

豆菓子を作り続けて

90年の伝統の味



# 富士屋製菓株式会社

代表取締役 **國谷 富治雄**  
(昭和44年卒)



美しい日本の銘菓

〒451-0064

名古屋市西区名西1丁目17番1号

代 表 (052) 522-7171

FAX (052) 522-7173

E-mail [fujiya@guitar.ocn.ne.jp](mailto:fujiya@guitar.ocn.ne.jp)

おとこざかくらぶ

# 男坂倶楽部

昭和44年卒  
藁谷 豊

私達は、中学からの入学者は一九六三年、高校からの入学者は、一九六六年の入学者である。早いもので、すでに五十余年になんなんとしている。先日(五月十九日)に、第三代中河会長のもとで、同期会(男坂倶楽部)の総会が開催され、三十名を超える仲間が集まった。昼間の会という事もある、散開後もそれぞれの仲間達と夜遅くまで語り合った(飲みあった?)ようである。

社会に出てから知り合った知人とは一線を画し、中、高時代の仲間は、不変である。卒業後の社会的地位や、経済状況とは関係なく、昔のガキ時代の俺、お前に還ってしまふ。好き勝手な事が言える。そしてそれを赦せる、素敵(?)な仲間になっている。今の社会一番足りないものは何だろうか?

打算とは関係のない人間対人間の、本当の意味での付き合いがここには有る。その「有難い」環境が我々には与えられている。人生に於ける、なものにも代え難い喜びである。「減っても増えない同期会」、我々が同期である栗田君の名言(迷言?)である。年々少なくなっていく仲間ではあるが、こんな仲間に出会えた喜びを噛みしめて、これから一回でも長くこの大好きな悪ガキ達と共に、時間を重ねていきたいと思っている。



〒113-0011  
墨田区緑四一九一  
電話 〇三三六三二二三三三

## 家中 勉

昭和四十四年卒  
味処・酒処す吾六

## 肉の田じま

<http://www.nikunotajima.com>

1F 精肉小売 ミート&デリカ  
2F 焼肉レストラン  
3F すきやき・しゃぶしゃぶ・ステーキ

TEL 03-3649-4419  
TEL 03-3699-8929  
TEL 03-3699-5529



## 株式会社田島商店

本社 東京都江東区扇橋1-4-1  
TEL03-3647-2984 FAX03-3699-7229

代表取締役社長 田島 実  
昭和44年卒 男坂倶楽部



私達は、皆様と共に“快適な環境”について考えたい。

清掃事業・廃棄物処理・リサイクル

代表取締役社長 毛塚 眞次 (昭和44年卒)

## 品川運輸株式会社



〒140-0011 東京都品川区東大井2-1-8

TEL 03-3761-0165 FAX 03-3763-0656 URL <http://www.shinagawa-unyu.co.jp>

丸の内南法律事務所  
〒100-0005  
千代田区丸の内二・二・三  
丸の内仲通りビル七・一七  
TEL 〇三三二一五一一五  
FAX 〇三三二一六〇四四

## 田中 等

昭和四十四年卒  
弁護士

総明会 副会長 昭和44年卒 男坂倶楽部  
ミートショップセキヤ

## 株式会社関谷商店

代表取締役社長 関谷芳久

<http://www.1129sekiya.com>

足立区西新井栄町3-8-5 TEL.03-3886-3318 FAX.03-3886-5803

## マイケル&マック

鍼灸・中医学・東洋医学・  
脈診・漢方医療

千葉県市川市北方2-2-10  
TEL & FAX 047-336-0763  
HP: <http://www.michaelmac.com>

院長 松本 明久

昭和44年卒 男坂倶楽部

## オフィスのAからZまで エーゼット株式会社

服部 洋 一 昭和41年卒  
服部 雄 二 昭和44年卒  
大導寺 和 幸 昭和44年卒

〒101-0025 千代田区神田佐久間町4-22  
TEL.3865-9577 FAX.3865-1162



しのかい

# 獅子の会

昭和45年卒  
比留間 竹郎



獅子の会では、年に一度の同期会の様子だけではなく、様々なイベントについて、ホームページのメッセージボード(掲示板)で紹介しています。その内容を抜粋して掲載いたします。

十二月二十六日(水) 忘年会を同期河田君(野球部)のお店「蛇の目寿司」で開催しました。出席者は二十三名。輪座君が受賞した名誉大英勳章OBEを、見せていた

を撮って散会。(比留間)

一月十二日(土) 明治高校へ行ってきました。同期中村信也君からフエンシング部復活の相談を受け、総明会担当の吉田先生とお話をしました。皆さんも復活できるように応援してください。夜は、東向島にある同期中野君のお店「魚喜代」で、プチ同期会、三宅裕司君、大石喜代司君、吉田繁夫君、藤掛聖二君、成田芳博君、中野和博君(当たり前)が出席。(比留間)

きました。(22ページの特集記事をご覧ください) 四十年ぶりに会う同期も出席して大変盛り上がり、あっという間に三時間が過ぎました。

由本君のリーダーで校歌を歌い、全員で写真

二月八日(金) 新年会を「魚喜代」で開催。出席者は十八人でした。(比留間)

四月十三日(土) 花見の会と称し、呑み会を「魚喜代」で開きました。今年は例年より桜が早く咲き、残念ながら見られませんでした！(比留間)

五月十二日(日) 同期の桜井君、笹本君と飲み仲間、そして一年上の栗田先輩(写真部OB)と松戸競輪に行ってきました。桜井君は明治高校OBで唯一の競輪選手。昭和五十年に日本一、競輪王にも輝いた実績の持主ですが、桜井君の予想は読みが深いのか、自分が走るのとは勝手が違ったようです。(中村信也)

六月三十日(日) 池袋サンシャイン劇場にて、同期三宅裕司君の一座結成十周年記念公演「熱海五郎一座」笑撃のミステリー「天使はなぜ村に行ったのか」を観劇。一月に

三宅裕司君が、「脚本は一年間考え、稽古は一ヶ月みっちりやる」と言っていたとおり、稽古を積んだのがハッキリわかりました。(比留間)

七月二十七日(土) 同期笹本和義君主催「スカイツリー下の屋上で隅田川の火花を見る会」総勢八十人。前日、大工さんが屋上に作った縁台で見物。残念ながら開始三十分で雨が降り始め、室内に場所を変え宴会。楽しい宴は笹本君ご夫婦のご厚意のお陰です。(比留間)

獅子の会ホームページ

<http://www.4hokai.com/>

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

株式会社  
ポトマックガーデン

代表取締役

平 田 幸 彦

〒107-0052

東京都港区赤坂7-8-13

TEL 03-3589-0687

FAX 03-3583-9423

※比留間氏にお話をうかがい、ホームページの内容を会報委員が編集いたしました。

祝 第49回総明会総会

昭和45年卒

# 獅子の会

【獅子の会ホームページをご覧ください】

<http://www.44nokai.com/>

たまりや

溜屋 近藤商店株式会社

創業寛永2年真心と癒しの心を大事にします。  
安心と信頼の葬儀をご提供いたします。

代表取締役

近藤 俊彦

昭和48年卒

相談役

比留間 竹郎

昭和45年卒

〒120-0034 東京都足立区千住5-18-10

<http://www.tamariya.jp/> TEL.03-3881-2562

喫茶ペガサス

後藤義明 S45

フェンシング部

Clarion

後藤勇三 S50

硬式野球部

祝 第49回 総明会 総会

昭和46年卒

# 明潮会



バーラー&コーヒーハウス 山の音

●都電堀原銀座商店街

昭和45年卒業

松川 芳久

(株)ライトハウス・コミュニケーションズ

代表取締役

齊藤 公義

昭和46年卒「明潮会」

〒104-0045

中央区築地1-4-8 築地ホワイトビル503

TEL.03-6226-6200 FAX.03-3542-8070

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

塙 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2

(株)インタープランニング

代表取締役

堀 眞壽

昭和46年卒 明雪会

〒135-0003

東京都江東区猿江1-2-9

TEL.03-5600-3388

<http://winwinstyle.com>

よなよなどうしようかい

## 四七四七同志酔会

昭和47年卒  
廣野 宏士

一九九九年に、帝国ホテルでの総会でホスト学年を務めました、昭和四十七年三月卒業の四七四七同志酔会です。我々が、ホスト学年を務めてから、早や十四年の月日が経過したわけで、正に『驕の隙を過ぐるが如し』の感があります。我々は、ホスト学年に向けて『四十歳を過ぎてからの人間関係の再構築』と『同級生同志、お互いがお互いの人生にエールを贈り合おう』を合

言葉に掲げて一九九六年頃より準備に入り、邁進しました。担当年を終えた今でも、このイスマを忘れずに同級生の交流は続いております。同期会は、思い立った時に不定期に開催しています。本年は我々同期の大半が、還暦を迎えます。これを記念して還暦祝いの会を九月二十三日に、明治大学・紫紺館にて開催しました(この文章を記しているのが六月なので、正しくは開催予定で準備中)。九年ぶりの正式な同期会です。八十〜九十名を集めるつもりで幹事一同頑張っているところです。『人生は邂逅である』私は、常々そう思っています。同級生との、良き出逢いをくれた明治中学・高校に感謝し、また良き学び舎に学ばせてくれた両親に感謝しつつ、あと何回逢えるのだろうか、それさ



え分からない『減っても増えない同級生』と共に、今宵も昨夜に引き続き(夜な夜な)、また一献。もう一軒。幹事学年・新世輝の皆さん、これまでの準備、お疲れさまでした。盛大な総会となることを祈っております。

祝 第49回 総明会

## 四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

昭和47年卒

文具&スポーツ

有限会社 コバヤシ

小林千春

(硬式野球部)

〒343-0836

越谷市蒲生寿町9番39号

TEL048-988-2222

FAX048-988-2277

昭和48年卒 波の会  
製菓原料卸(お米の粉)  
株式会社山口商店

代表取締役 **山口 隆**

〒143-0016  
大田区大森北1-17-2  
TEL.03-3761-4838

<http://www.yamaguchi-shouten.co.jp/>

**濱本 義典**

昭和四十八年卒  
四国商事株式会社

〒六五〇〇二六  
中野区新井一十五一十二  
電話 三三八六五八六四  
FAX 三三八六七六一九

昭和47年卒  
五木田・三浦法律事務所  
南青山オフィス

弁護士

**三浦 雅生**

〒107-0062  
港区南青山6-8-15  
TEL 03-5774-2090

## 祝 第49回総明会総会

# 波の会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者	富 永 栄之進		
副代表	板 橋 純三郎	尾 崎 幸平	
評議員	海老根 一介	雨 海 重明	



平成3年卒

常務取締役

**廣田 拓郎**

東京都台東区浅草橋2-13-9  
TEL.03-3861-5151

<http://www.lightec-inc.jp/>

有限会社三友金型

ゴム金型 設計・製作 短納期対応

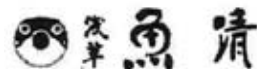
昭和63年卒 バスケット部OB

代表取締役

**小柳 貴裕**

墨田区東向島6-25-13  
TEL. 03-3617-6683  
FAX. 03-3610-1299

ふぐ 季節料理  
和牛しゃぶしゃぶ



**岡本力三・恵市郎**

昭和48年卒 平成8年卒

台東区浅草四丁目35番2号  
電話 03-3874-2390  
URL <http://www.uosei.com>

## 川口明高会 (創立 昭和53年)



川口明高会旗

初代会長 大熊 康浩 二九卒	二代目会長 目良 昇 三一卒	三代目会長 久松 勇 三三卒	四代目会長 天野 洋一 三五卒	五代目会長 荻野 布昌 四十卒	六代目会長 石井 次男 四三卒	七代目会長 由本 俊昭 四五卒	八代目会長 土屋 梯一郎 四八卒	【事務局】 川口市 307-14 石井 君忠 五七卒 048-294-1378
----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	--

よくめいかい

# 翼明会

昭和49年卒  
大前 実之

皆さんお元気ですか？昨年と一昨年、中学・高校時代の事を回想し原稿を書きました。が、字数に制限があり、全てを書く事が出来ませんでしたので今回は語りつくせなかった事などを書いてみたいと思います。

昭和43年4月に中学に入学、当然男子校で頭は丸坊主。当時の通学カバンは帆布の肩かけのショルダーバッグでした。田舎の学校ではあるまいしカッコ悪かったです。フタの部分に中学の校章がプリントされておりとおけば良かったかなとも思っています。

夏休みになりますと前年完成した南志賀学寮で、中学1年生が林間学校を行ったので、ボイラー室から出火し全焼してしまいました。幸いな事に参加した生徒・教職員・OBの方々は全員無事でした。学寮は再建され翌年の夏に落成式が行われました。このあと行われたリーダーズキャンプで我々は、キャンプ場設営の為に、毎日土方作業に明け暮れました。貴重な体験が良かったです。思い出になっております。この年に創立60周年の式典が行われました。卒業して40年過ぎたのかと実感致します。高Ⅲになるとやたら試験があり大学進学の為、深夜放送を聞きながら勉強した記憶があります。6年間男子校で過ごしたので、文化祭が近づくにつれて、ダンスの練習があります。女役を交代でさせられ気持ち悪がって練習にならなかったのを思い出します。そんな中で一番楽しかったのは大学から実習生が年に2度来る時でした。皆んな名前を覚えてもらおうと目立つ事はかり考えていた様な気がします。今では若い女性の先生も沢山います。

## ターカム保険企画(有)

日本興亜損害保険(株) 代理店  
NKSJひまわり生命保険(株)

昭和49年卒 翼明会 代表

代表取締役 **竹澤 啓**

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西3-14-4  
TEL.03-3675-9955 FAX.03-3675-9922 携帯090-3200-6139  
E-mail takezawa123@yahoo.co.jp

いつてうらやましい限りです。一つの時代かと思いますが「純情」「滑稽」という事ではないでしょうか？

最後に母校の発展を祈りつつ、昔こんな時代もあった事をいつまでも語り継いでいただければ嬉しく思います。

祝 第49回総明会 総会・懇親会

昭和49年卒 **翼明会**

翼明会役員一同

**PEP-MATES inc.** **HP-URL** [www.pep-mates.com](http://www.pep-mates.com)

**オリジナル!!**

**ネクタイ・クラブタイ、30本から製作致します!**

デザインは弊社にて無料で提案します。イメージとなる紋章・カラーをメールまたはFAXでお送りください。  
専門のデザイナーがイメージを作り上げます。デザイン確定後、本数をお知らせいただければお見積りをします。



オリジナルグッズ企画・制作  
ペップ・メイツ株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番10号  
TEL 03-3663-8827 FAX 03-3663-8828 E info@pep-mates.com

代表取締役 大前実之(昭和49年卒・翼明会)

明治高等学校  
昭和49年卒  
**翼明会**

**醍醐 敦**  
**醍醐会計事務所**  
**047-355-9301**

(株)カントー・エステート  
不動産賃貸業・管理業

**宮下 守正**

昭和49年卒

荒川区西尾久1-20-12  
M2ビル1階  
TEL.03-3894-8161  
FAX.03-3894-3682

昭和53年卒 紫友会 マンドリン部OB

**板倉 和明**

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7 ルネ御苑プラザ708  
TEL 03-3354-3441



めいしがい

## 明紫会

昭和50年卒  
吉武 孝生

6月29日梅雨の切れ間の土曜日午後5時に、日本橋茅場町「鳥徳」にて、年に一度の明紫会総会・懇親会を開催しました。こちらは、昨年幹事学年である闘組会の鍋島氏のお店です、定休日にもかかわらず明紫会の為に開けていただきました。感謝。

私たちが幹事学年だったのは、もう11年前です。その数年前から明紫会を立ち上げ、十数年の月日経ちました。その時から続けていることがあります。

A4サイズ裏表4ページの会報です。

毎年5月の連休前後に長年担ってくれている中野の建寺事務局長宅に集合して一日掛かりで会報作成作業をします。事前の原稿依頼が重要ですが、これがなかなか曲者です。一面は、会長のあいさつとその年開催の総会懇親会の日時と会場の紹介。ここ数年の

特集は「同窓生の近況報告」と素人が作るささやかな記事ではありますが、皆さんが学生時代を思い出して仲間の近況を知る一つの手立てとなれば幸いです。

近年は流行に乗ってFacebookでも近況を知ることが出ていますが、それもまだほんの少数です。Facebook上に明紫会のグループがあります。気になる



方は是非「参加ください」

明紫会会員全員に送られる会報で、仲間たちの繋がりの懸け橋になればと思います。そのために頑張りますので、ご協力よろしく願います。

### ☒ 銀座升本

銀座一丁目 並木通りの大衆酒場

みほや  
三保谷 建介 (平成7年卒)  
三保谷 和大 (平成14年卒)

昼の部 (定食) 11:15~13:30  
夜の部 17:00~22:00 (L.O. 21:30)  
定休日: 土日祝日

東京都中央区銀座1-4-7 03-3563-2706



マツモトワークス

www.matsumotowax.com

株式会社 マツモトワークス  
代表取締役 松本 年一

昭和61年卒

祝 第49回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

# 明 紫 会

藍  
全

昭和50年卒  
明紫会

お車のトータルサービス

代表取締役 服部 憲一  
社 長  
(昭和50年卒明紫会)

(株)服部自動車钣金工業

〒179-0073  
東京都練馬区田柄5-22-20  
TEL 03-3990-8541  
FAX 03-3998-0177  
E-mail: ken@hattori-auto.com

吉武孝生税理士事務所

昭和五十年卒 明紫会会長

〒121-0813 東京都足立区竹の塚一・二・三六七  
エゼルハイム竹の塚駅前二〇  
TEL 〇三・五八五・一五二八  
FAX 〇三・五八五・一五二九  
E-mail: y.ogata@tax-yoshitake.com

焼鳥  
木屋

昭和50年卒 明紫会  
木屋 満

〒104-0032 中央区八丁堀 1-7-6  
TEL・FAX 03 (5541) 5761

昭和50年卒 明紫会

高橋郁夫

ダイアナ株式会社

DIANA

www.dianashoes.com

昭和53年卒 マンドリン部OB

弁護士 高木 茂

銀座法律会計事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル6F  
TEL.03-6228-4487 FAX.03-6228-4489

(有)太陽精器製作所

昭和50年卒・明紫会

代表取締役

世古俊之

材料から加工・熱処理・めっき研磨  
までワンストップが強みです。  
今、下町ボブスレープロジェクトを  
盛り上げています。

HP : 090-8892-5576



めいめいかい

# 明々会

昭和51年卒  
事務局長 上野 雅宏

我々明々会は平成25年7月27日(土)に上野東天紅「海燕亭」にて総会・懇親会を開催しました。会員出席者は25名、今年度幹事学年の新世輝より実行委員長の鶴飼友義氏他2名の参加を得ました。まず総会において上野事務局長より会計報告がなされ、これを全会一致で承認しました。続いて、報告事項として昨年より事務局を小林祥悟君に手伝ってもらっている事を伝えました。また、小林祥悟事

務局員より、今回久々に郵送にて総会案内を出したところ明々会総勢287名の内、物故者14名・所在不明者が47名である事、またその一覧表を配布して皆様に情報を求めるとの報告がありました。最後に井家上君(総明会副会長)より総明会の状況や来年の「総明会創立50周年」についての報告を受け、総会を無事終了しました。

引き続き懇親会は萩原明々会会長の挨拶・乾杯によりスタートしました。各人がそれぞれ自らの近況を発表しましたが、子供の結婚や孫の話など、いよいよ我々も爺の年頃になったことを痛感しました。毎回感じる事ですが、同期との語らいは本当に楽しくあつという間に終了の時間となりました。最後は恒例の校歌斉唱と集合写真を撮り総会・懇親会は終了しました。

二次会はこれまた恒例の力

ラオケへ、普通ならほとんどの人が参加していただけたところですが当日は隅田川花火大会の日であったり夏休み中で孫が家に来ていたりという事で、二次会参加者は13名。山田眞也君の十八番である矢沢永吉の曲を筆頭に各自十八番を披露。大いに盛り上がりました。

我々が幹事学年を担当してから早10年。数名の戦友を失いましたが、これからも健康に留意して次の10年・20年と皆で顔を合わせることが出来ることを祈念して報告とさせていただきます。



〒177-0033  
練馬区高野台一三十七 NE Plaza  
TEL03-591-0105  
FAX03-591-0105  
五五

吉田 博

代表取締役

株式会社 エヌエフヴィレッジ

総合不動産業

昭和五十一年卒 明々会

祝 第49回 総明会総会・懇親会

# 明々会

昭和51年卒

有限会社トラストワーズ  
金属・アークセサリー企画・製造  
代表取締役社長 山田眞也  
(硬式野球部OB)  
取締役専務 山田健一  
(硬式野球部OB)  
〒111-0004  
東京都墨田区八広四丁目八番 十号  
電話 〇三・三六二・三三三八



## 荒川産業株式会社

代表取締役 前田稲一郎 昭和51年卒  
〒111-0024 東京都台東区今戸2-14-6  
TEL03-3874-8191 FAX03-3874-8035  
URL: <http://www.arakawasangyo.co.jp>



厨房のアメニティを創造する  
津守興業株式会社

代表取締役 津守 徹  
(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001  
埼玉県川口市朝日5-5-22  
TEL 048-222-6187  
FAX 048-222-8584  
E-mail: [tsumori@luck.ocn.ne.jp](mailto:tsumori@luck.ocn.ne.jp)

モップ・清掃用品・テント・シート  
袋物から大型品縫製加工

## 株式会社 岡 仁

代表取締役 岡本雅仁  
昭和51年卒 明々会

〒106-0047  
東京都港区南麻布2-4-12  
TEL03-3451-3671  
工場: 栃木県大田原市

銀座線 外苑前駅すぐ  
豆菓子・おかきの店  
青山但馬屋

## 太田垣 政紀

(昭和51年卒 明々会)

〒107-0061  
東京都港区北青山2-7-11  
TEL03-3401-2843  
[www.aoyama-tajimaya.co.jp](http://www.aoyama-tajimaya.co.jp)

プラスチック製品製造

## 株式会社 プラテック

代表取締役  
林 伸光

〒339-0034  
埼玉県さいたま市岩槻区笹久保1137-2  
電話 048-791-7311(代)  
FAX 048-791-7312  
E-mail: [Platec@image.ocn.ne.jp](mailto:Platec@image.ocn.ne.jp)

## 米田税務会計事務所

昭和53年卒

税理士 米田晴彦

〒130-0026  
墨田区両国2-17-3  
(両国高橋ビル3F)  
TEL 03-3631-8878  
FAX 03-3632-3346  
E-Mail: [yonetakaiei@tkcnf.or.jp](mailto:yonetakaiei@tkcnf.or.jp)

## 坂本自動車工業株式会社

## 坂本 裕康

(昭和53年卒 紫友会)

東京都江戸川区篠崎町6-13-26  
TEL 03-3670-4161  
FAX 03-3670-4170  
[skmtjd@apricot.ocn.ne.jp](mailto:skmtjd@apricot.ocn.ne.jp)



株式会社 小島商会

自転車部品・用品卸

代表取締役

## 小島 隆司

昭和53年卒

東京都台東区上野1-6-5  
TEL03-3831-9792

だんしこうこんじょうぐみ

# 男子校根性組

昭和52年卒  
香取 輝忠

闘え！僕らの戦艦明治

宇宙世紀S52年。人類最後の宇宙艦隊「唐代」「汗田」「軽尾」「明治」の4隻は、侵略者ズエ星人に地球周回航路上で完全に包囲されていた。

「敵は500隻。確率上勝てん。」旗艦唐代は退却を発令した。「集まれ！集まれ！」空母・軽尾の信号。しかしこの逡巡は裏と出た。刹那2隻はズエ艦隊の誘導機雷の集中

砲火を浴び、無音のままに蒸発した。慌てた光子力艦・汗田は砲撃を開始した。だが、宇宙空間でそれは自殺行為だった。発射の反作用により激しく後方へと飛ばされた汗田は、そのまま漆黒の闇の中へと消えていった。

地上で見守っていた全人類は失望した。

「唐代は頭が固い。」

「軽尾はすぐ群れたがる。」

「汗田は独断専行だ。」

「全て終わりか……」

その時、絶望の中で誰かが叫んだ。

「いや、まだ戦艦明治が残っている！」

「そうだ。頼りになるのはいつも明治だ。」

「メイジ！メイジ！」

湧き上がる明治コールの中、映像は紫紺の戦艦の勇姿を捉えた。艦橋に黒衣の司令官、チータ卿の呼吸器の音に混ざった人工音声が轟いた。

「シューハー。理屈じゃねえ！まず行動だ。馬鹿野郎！シューハー」

弾幕の中を明治は直進した。しかし被弾は1発もない……なぜなら、それは主人公だからだ。

「シュー……敵の空母に横着け！白兵戦だ！」

真空の中を突撃する明治の戦士達はなぜか上半身裸だ。艦内の皇帝ダジマを包囲した。

「明治ノ諸君。君達ノ武器ハ無力ダ。」

「火器など使わぬ。Aパン弾だ。喰らえ！」

一斉に投げつけられた物体は、ダジマの口腔に命中した。それはおぞましい油と粉の塊だった。

「グエ、マ：不味イ」

「ベツ、グア……」ダジマとズエ星人達は激しい嘔吐とともに皆絶命した。

「わはは……どうだ『Aパン』の味は？こんなもん食って死

ななかつたのは昭和50年代の明高生だけだ」チータ卿は胸を張った。

「残るは僅か499隻。シューハー」

「石炭核融合炉点火。明治前へ！」

歓喜の中、明治は悠然と回頭した。行け明治！無敵の戦艦明治。戦え！人類のために。



5月25日(土)、同期の勇者16人が、お互いの人生での健闘を讃え、集まった。

祝 第49回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

# 男子校根性組

<http://dankon52.web.fc2.com>

手打ち  
**如月 徳**

昭和52年卒 男子校根性組  
石黒 理樹  
〒116-0002 荒川区荒川 7-26-9  
TEL 03-3801-9001

株式会社 大西静商店  
取扱商品:貸事務所・パーティーグッズ

代表取締役

**大西静士郎**

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032  
東京都千代田区岩本町2-2-13  
TEL. 03-3866-6097  
FAX. 03-3866-6098  
<http://www.playave.com/>

昭和52年卒

**佐藤 大英**  
曹同宗圓通寺

墨田区向島 3-11-6  
Tel. 03-3622-7045  
<http://www.entuuji.or.jp>

中学入試をめざす小学生対象の算数塾です。

**ティープロ算数**  
TEACHING PRO

代表 香取 輝忠 (昭和52年卒)

千代田区神田神保町 2-15 第一富士ビル6F

TEL 03-3263-0667 FAX 03-3263-0668 <http://www.tpro.co.jp/>

練馬 高野台

**ネーチャーズフォレストグループ**

代表 **横山 茂樹** (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台 1丁目 7番 3号 NFプラザ 3-210  
TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630  
<http://www.neritaka.net/> E-mail: [nfsy@opal.famille.ne.jp](mailto:nfsy@opal.famille.ne.jp)

めいせいいかい

# 明誠会

昭和54年卒  
バスケット部 山口 友康



か！ 昔話で盛り上がった所で前述の幹事指名を宣告されました。「はめられた〜」と一瞬思いましたが、そこは浅草生まれでキップの良い私は即快諾し、今年の同窓会開催となりました。

## 【開催概要】

平成25年6月16日(日)「明誠会」総会及び懇親会が両国「ちやんこ巴湯」で開催されました。今年の同窓会幹事は、昨年の同窓会で卒業以来不参加だったバスケット部が部活単位で指名される(欠席裁判で)と言う前例の無い形で決まったものでした。

酒好きな私は久々に今年の4月にバスケット部数名と岩佐さんのお店「両国國技堂」でミニ同窓会を企画。そこには何と熊倉さん始め、荒井さん、志村さん、五十嵐さんと明誠会裏幹事が勢揃いしているではありません

参加者…34名(内、先輩…有田さん、大西さん、幹事学年「新世輝」…4名)  
同窓会幹事…バスケット部  
一部…総会司会…安藤、二部…懇親会&近況報告司会…松尾

近況報告では、Aさんが「成績が悪かったAデス。近況は…」と始めると、続いてBさんが「Aさんよりも成績が悪かったBデス。近況は…」と皆のバカ自慢が始まったのは大爆笑でした。

また、某会長が葛飾区政にチャレンジする」と重大発表を

したり。多くの同期が今でも明治高校に関わっている事への驚きや、私を含め多くの「子息が明治大学に進学している」と言う感動がありました。

2012年総明会会報誌を改めて読み起こして見ると、確かに同窓会報告の中で次回幹事はバスケット部に決定と記されておりましたが、こうして幹事を拝命し卒業以来会っていないかったバスケット部としての34年振りの同窓会もさせて頂けたことに深く感謝しています。

【バスケット部幹事の感想紹介】  
若島…近寄るだけで怖かったリーセント千崎がすっかり鳴りを潜めちゃったのが意外と言うか…。

松尾…他人の話を聞かないのでは?と心配していた司会進行役も、流石に50才も過ぎれば意外な人まで落ち着いて聞いてくれたいたのは嬉しい展開でした。

秋間…明治高校出身者は若い! (須賀さんと岩佐さん除いて) 殆んどが見れば分かった、分かんなくてもOKな雰囲気があった

同窓会!! 記憶もキレレだけど、楽しかった!

須賀…皆が全然昔と変わっていないのに驚き。変わっていたのは俺のハゲ頭だけとは…シヨックで落ち込んでいました。あらゆる手段を使い活性化し、来年は皆をビックリさせたい!

森田(健)…一番嬉しかったのは、皆との身長差が縮まっていたこと? もうじきお孫さんも出来るような仲間を見るにつけ、幼稚園の子どもの持つ我が身としては学ぶことはかりでした!

安藤…顔と名前。昔話。すぐ一致するものです。すくく楽しかったです。

次回幹事は従来通りの選出方法で参加者の中から豊田さんと中津さんに決定しました。来年もこの楽しい仲間と再会出来る事を楽しみにしていますので宜しくお願い致します。

# 祝 第49回総明会 総会・懇親会



[http://1st.geocities.jp/meiji\\_s54/index.html](http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html)

昭和54年卒  
明誠会

(株)朝倉鋳物

代表取締役

朝倉一寿

株式会社クロス

昭和54年卒 明誠会

黒須康之

荒川区東尾久6丁目3-10

TEL. 03-3892-5426

Wako Real Estate Investment Co., Ltd.

和光アールイーアイ株式会社

代表取締役

熊澤正幸

昭和54年卒

〒102-0072

千代田区飯田橋4-1-11 六洲社ビル

TEL.03-3512-0750

FAX.03-3512-0753

<http://www.wako-rei.co.jp/>

昭和54年卒同期会

壱伍会

吉田 雅博

埼玉県川口市

暮らしの衣料 まつざわ  
株式会社

調布松澤屋

取締役

松澤和昌

(昭和54年卒明誠会)

〒182-0026

東京都調布市小島町1-34-12

TEL 042-482-2634

税理士・行政書士  
常住事務所

代表 常住 豊

(昭和54年卒明誠会)

東京都北区赤羽西1-5-1-606

(アビレ・赤羽アボードIビル内)

TEL 03-3905-6981

FAX 03-5963-7430

E-mail:yutaka@tokyo.email.ne.jp

URL:<http://www.tsunezumi.jp/>

愛三電機株式会社

代表取締役社長  
公認会計士

河合 洋

昭和54年卒 明誠会

〒101-0021

東京都千代田区外神田1-12-3

TEL. 03-3253-3611(代表)

<http://www.aisan.co.jp>

販売促進のパートナー

STAD

広告代理店

株式会社 スタッドプラン

TEL.03-6915-2711

[www.stadplan.co.jp](http://www.stadplan.co.jp)

代表取締役 千嶋 修

昭和54年卒 明誠会/明雪会会員

矢ノ目忠税理士事務所

昭和五十四年卒 明誠会

〒三五・〇〇四八

江東区門前仲町二・二・一六

電話 〇三・五六三九・七七六二

FAX 〇三・五六三九・七七六二

E-mail: yanome@yanome.jp

えとりビル三階



しこんかい

## 紫魂会

昭和55年卒  
大迫 好孝

第49回総明会総会・懇親会の開催おめでとうございます。ここまでの準備にかけた情熱と努力は今日の懇親会のお開きの頃には清々しい充実感となつて良い思い出となるでしょう。

私たち昭和55年卒『紫魂会』も、あの「幹事学年」があつたからこそこれまでも増して同期の絆が強まり毎年の同期会で美味しい酒を酌み交わしています。今から考えてみれば、中学生での坊主頭経験の最後の学年（一学期だけでしたが）、猿楽町での明治高校・中学の最後の年の幹事学年など、記憶に残ることが多かつたと感じています。

それだけでなく同期会で言えば、39年前からの思い出が鮮やかに蘇ってくるのは楽しいものです。最近の名前なんかがすぐ口に出てこないことが多くなつてきましたが、当時のことは細かいディテール

まで記憶に残っているのは不思議です。

小川洋平君は、中学2年の時にお父様の仕事の都合で山口県柳井市に引越しをしたため、実質1年間しか共に過ごしていないのです。しかし、同期会で会うと話のタネに事欠きません。たつた1年間なのですが、その頃の1年間つてすごく濃密なのですね。まるで、6年間共に過ごしてきたようにさえ感じられます。こんなきつかけを作ってくれたのも明治の校風であり、総明会がしっかりと確立されているからでしょう。

今年の『紫魂会』の同期会は7月20日、御茶ノ水ホテルジュラク2階「白鳥」で行われました。

ちよつと今年は参加者が少なかつたですが、清水先生を中心に大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

※ 幹事学年『新世輝』の皆さんお疲れ様でした。



**合同会社  
フィリピン投資研究所**


“フィリピンビジネスに興味のある方、ご連絡ください。”

昭和54年卒 明誠会  
事務局 **笹 沢 浩 司**  
【080-1039-3412】

昭和55年卒 明治大学卒  
代 表 **塩 谷 憲 一**

HP : <http://www.prii.jp/>  
e-mail : [llc-prii@sunfield.ne.jp](mailto:llc-prii@sunfield.ne.jp)

有限会社 両国あんこあられ本舗  
代表取締役 **岩 佐 浩 之**  
昭和五十四年卒 明誠会  
東京都墨田区両国二一七三  
電話 〇三三六三一 三三八五六



精密金属挽物加工  
有限会社 **高埜製作所**

代表取締役  
**高 埜 雅 信**  
昭和 54 年卒 明 誠 会

〒131-0045  
墨田区押上3-15-6  
TEL.03-3617-4365  
FAX.03-3612-2368

[www.bwash.jp](http://www.bwash.jp)

TV・映画・音楽・モバイル etc.

エンタテインメント会社

**株式会社 ブ레인ウォッシュ**

代表取締役 / プロデューサー **高木 征太郎** 平成 4 年卒

**紫 魂 会**  
**渡 辺 裕 之**

介護の相談  
無料でお受けします。



社会福祉士 **菊 池 明 彦**  
(昭和61年卒 新世輝)

**TEL. 090-2908-8987**

税理士

**廣 田 敦**

昭和55年卒

**廣田税務会計事務所**

〒330-0841  
さいたま市大宮区東町2-201

TEL. 048-641-6679  
FAX. 048-647-8383

各種機械 設計・製作・修理 及び 部品加工

**株式会社 高橋機械製作所**

[Takahashi-kikai@nifty.com](mailto:Takahashi-kikai@nifty.com)

代表取締役 **高橋 誠** (昭和61年卒 新世輝)

取締役会長 **高橋 郁三** (白駿会 顧問)

〒116-0011 東京都荒川区西尾久8-41-4 **TEL 03-3893-8377 FAX 03-3893-8062**





めいしようかい

## 明翔会

昭和56年卒  
寺村 一義

「幹事学年から5年」

空梅雨だった平成25年の6月29日、明治高校昭和56年卒「明翔会」の総会・懇親会が開催された。幹事学年を経験してから5年、時の経つのは本当に早いものである。ただ例年と違うのは場所が居酒屋ではなく、神田駿河台にそびえ立つ明大紫紺館の「椿山荘」で行われたことだ。ここは席もゆったりして余裕があり、何と言っても大声を出さないで同期生と語り合えることが出来るのである。

冒頭、飯野会長の挨拶で「明翔会は細く長く続けていきたい」との話があったが、まさに同期会としての神髄を表しているものだ。もちろん「太く長く」したいのが理想であるが、現実的には難しい。やはり末長く続けていくことが一番大事だと思う。また今回初めての試みとして会費を事前振込とした。総明会と違って割引制度はなかったが、そ

れでも出席者の半数以上が協力的だった。あらためて同期に感謝したい。

さて25名余りの参加者のもと昨年度の事業・会計報告と来年度の事業・会計案も滞りなく承認された。今年の総会は役員の改選もなく、場所も貸切だったため参加者全員の近況報告も行ない、日頃あまり会えない同期の話を聞けたことはとても有意義だった。

山下君、吉田伊佐男君、田中秀幸君、中村俊一郎君、山田博行君、どうもありがとう！ 懇親会最後の締めとして初代会長斉木君の振りによる「校歌斉唱」の後、幹事学年「新世輝」へのエールも行われた。

その後恒例のグッズ販売もあり「明翔会」として多少なりとも協力できたかなと自負している。

2次会も近くの中華料理店で行い、そこではいつも通りわいわいガヤガヤの風景だっ

た。そこから新たに4名の同期が合流した。唐鎌君・金子君・高田君、鈴木前会長、どうもありがとう！ 次回は懇親会から参加してね。

その後まだ飲み足りない連中は近くの居酒屋へ、もう帰りたい面々は御茶ノ水駅へ、コナツツの香りが恋しいグループはタクシーに分乗し「錦の夜」に消えていった。その後は各自思い思いに楽しい夜を満喫したようだ。その内容を具体的に記述するのはまたの機会としてこの辺で筆をおきたい。

### 神田天井家

(旧天井いもや)

神田神保町3-1-14

営業時間:11時~16時

日・祝祭日定休日

神保町駅A1出口より  
徒歩1分

TEL.03-6272-3306

祝 第49回総明会 総会・懇親会

# 昭和56年卒 明翔会

<http://www.k4.dion.ne.jp/~terachan/>

同期の皆さんホームページを御覧ください。  
連絡お待ちしています。

総合建設・不動産

## 正宗産業株式会社

代表取締役 市川 洋治

〒210-0834 (昭和56年卒)

神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13

電話 044-244-1054(代)

FAX 044-211-3256

ヤマダ社会保険労務士事務所

社会保険労務士

## 山田 覚

Satoru Yamada

昭和56年卒 明翔会

〒245-0061

神奈川県横浜市戸塚区汲沢2-1-5-D607

TEL/FAX.045-865-6282

## 株式会社東新理興

板硝子・理化学製品は齊木におまかせ!

昭和56年卒 明翔会

代表取締役 齊木 麻州男

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-4

TEL.03-3814-7565 FAX.03-3818-0208

昭和五十六年  
須藤司法書士事務所  
司法書士  
須藤 貢一  
〒三五〇四六  
江東区牡丹二一九一六―九一四  
TEL〇三―三六四三一六五〇

税理士法人 狩野会計社

[www.kanou-kaikeisya.com](http://www.kanou-kaikeisya.com)

代表社員 税理士

## 狩野 智雄

(昭和56年卒)

〒114-0002 東京都北区王子2丁目28番2号 Tel:03-3913-1964 Fax:03-3912-0835  
IP:050-5517-4071 Mobile:090-1534-8396 E-mail:tkanou@kanou-kaikeisya.com

 ヤマヨ測定機  
SINCE 1906 株式会社

URL: <http://www.yamayo.co.jp/>

代表取締役

## 鴨下 裕彦

(昭和56年卒 明翔会)

〒120-0015

東京都足立区足立2-23-13

TEL: (03)3849-5416

FAX: (03)3849-6515

E-mail: kamoshitah@yamayo.co.jp

めいこんかい

# 明魂会

昭和57年卒  
小林 謙之

2013年6月8日(土)

明魂会総会・懇親会が浅草R  
OX上階のまつり湯という都  
市型温泉ランドで開かれまし  
た。浅草国際通り沿いの商業  
施設ROXに温泉ランドがあ  
るなんて知らない人も多いと  
思いますが、朝10時半から夜  
12時までゆつくりできる割に  
は、安めの価格設定なため  
下町の穴場スポットです。

今回は、AGE50を記念し  
て日頃の疲れをいやしてもら  
うため温泉と併わせた絶好の

企画でしたが、幹事(ちなみ  
に私ですが)の怠慢により案  
内状が2週間前に発送された  
為、多くの方の予定がつかず、  
メンバー13名の参加となりま  
した。朝10時半から入れると  
案内しておいたのですが、18  
時からの総会懇親会に合わせ、  
皆16時くらいから来場され、  
各々が風呂に入ったり、マッ  
サージを頼んだり、すでに飲  
み始めていたり明魂会なら  
ではの『権利自由?』の精神  
で楽しんでおりました。

18時になると幹事学年2名  
もそろい、宴会場の個室を貸  
切、明魂会総会・懇親会が開  
始です。菊池会長の挨拶、田  
中副会長の乾杯の音頭で始ま  
り、今年度幹事学年(新世輝)  
の挨拶(総会の成功を祈って  
ます)、あとは、いつもの自  
由トーク。ワイワイガヤガヤ  
でお酒、つまみも進みます。

今回の同期会より初参加の  
池田君(最初は誰かわからな

かった、なんたつて約30年ぶ  
りの再会なもので、来年も  
おもしろい話をたくさんお願  
いしますね。全員の近況報告  
のあと、我らがリーダー長  
矢島君のエールの下、全員で  
校歌を歌いました。締めは染  
谷副会長の閉会の挨拶。楽し  
い時間は、あつという間に過  
ぎるもので、時間が40分も延  
長していたにも関わらず、名  
残惜しいお開きとなりました。

ということでメンバーのほ  
とんどが大広間での2次会に  
なだれこんで、終電ぎりぎり  
まで話が尽きませんでした。  
更にこの後温泉に入った方  
もいたとか。大丈夫だったか  
な！。

今年は案内状の遅れから予  
定が取れず、やむを得ず不参  
加になったメンバーがたくさ  
んおりました。平にお詫び申  
し上げます。来年は、玉置く  
んを中心としたマンクラチー  
ムが幹事ということで、是非

是非、皆様の「参加をお待ち  
しております。来年も昔に戻  
って楽しい話と一緒に「白雲  
なびく駿河台」歌いたいです  
よね。



紙一般包装資材企画販売

近代紙業株式会社

〒340-0834埼玉県八潮市大曽根1420

<http://www.kind-ai.co.jp>

昭和57年卒 明魂会  
地理研究部OB会

小林 謙之

KENJI KOBAYASHI

k-koba@kind-ai.co.jp

祝 第49回総明会総会・懇親会  
頑張れ！新世輝！！

# 明 魂 会

昭和57年卒

<http://www.meikonkai.com>

総合電設資材卸

**伊東電機株式会社**

代表取締役 **伊東 稔** 昭和59年卒  
バスケット部OB

本社：東京都江戸川区松島3-34-21

TEL.03-3654-9241 FAX.03-3954-9256

E-mail ito@ito-den.com

船橋営業所・松戸営業所

**総明開発株式会社**

昭和57年卒 明魂会  
硬式野球部OB会

代表取締役

**染谷 貴男**

〒340-0052

埼玉県草加市金明町473-4

TEL.048-946-2000

FAX.048-946-1700

昭和57年卒 **明魂会 岩崎広人**



埼玉・蓮田名物  
**島田造り**



乾麺「島田造り」は、製造元と直結した直販・通販のみの販売です。

おきなのさと  
**翁の郷**

有限会社 翁の郷

〒349-0133埼玉県蓮田市大字関戸280

<http://www.okina-no-sato.co.jp>

お客様フリーダイヤル

**0120-8733-07**

営業時間 9:00～18:00/火曜日定休

製造元

株式会社 **岩崎食品工業**

本社工場 埼玉県蓮田市大字関戸280

めいわかい

## 明輪会

昭和58年卒  
照沼 宏偉



久しぶりの御茶ノ水の風景であった。明治中学・明治高校の6年間通った御茶ノ水は

特別な場所、ここに来ると学校の体育館や部室のなんとなく汗臭い、すっぱい匂いが生理的にしてくるし、街の隅々の小道を熟知しているような、不思議と一体感のある場所だ。

7月6日、11年ぶりに日本に帰任した私は、高橋事務局長手作りの明輪会同期会 案内葉書を手にし、聖橋から下った川沿いの飲み屋酒亭にゆるくに出かけた。店に入ると、奥の部屋に見えてきたのは見覚えのある顔、といっても少しおっさんになったか、けど不思議と昔の笑い声が聞こえてきた。あゝ、やっぱりこのクラスかと、場の雰囲気が一気に和んでいった。

岸君の司会進行で乾杯をするころには、続々とおっさん達が集まってきて、後輩3人も活動資金集めの記念品販売で特別参加していた。改めて自己紹介では、昨年やめた事、

今年始めた事の発表があり、それぞれ仕事と家庭を持ちもってもらいたい事もいつていたが、その声は昔と変わらず、むしろ、その声のトーンで名前と顔が頭の中で時間とともに再び一致していった。良く見ると、白髪混じりになったものの、とっさん坊やというのか、顔の中は高校時代のままといい（大塚君、井上君、秋間君、門川君）がいて、そう、明治中学で書道の高木先生が、『光陰矢のごとし』と言っていたことを、ふと思いつ出した。

飲み放題コースを注文したのに、私もそうだがメタボを意識した少しセーブ気味の飲談が続いたが、最後に甘利君の指揮で校歌が歌われると、3番までフル唱和となり、大いに盛り上がった。大体、校歌を3番までフルで覚えてるのは明治中学・明治高校の卒業生だからと、改めて感じ

る。校歌も応援歌も学校行事はもとより、振り返れば、なんだかしよっちゅう歌っていたような気がするし、今でも人生の岐路で自分自身を鼓舞する時には、必ず聞こえてくるものとなっているのは確かだ。校歌で盛り上がったのりで、2次会は秋葉原のカラオケに雪崩れ込んだ。世間で言う、典型的なおやじ連合の宴会パターンだ。

だけど、久しぶりに本当にいい酒であった。

蒸し暑い日だったが、何となく、この仲間は一生涯き合っているような雰囲気を感じた1日であった。

日本料理 手打ちそば

浅草 十和田

富永龍司

昭和58年卒 明輪会

台東区浅草1-13-4

TEL. 03-3841-7375

祝 第49回 総明会 総会・懇親会

め い わ か い  
明 輪 会

昭和 58 年 卒

こ  
こ  
ろ  
の  
わ

有限会社クリーニング

あかむや

昭和58年卒 明輪会

小 野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18  
TEL 03-3714-0452

昭和58年卒 明輪会

青木経営法務事務所

行政書士

青木 正美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4  
TEL 03-3676-5420  
FAX 03-3676-5421

一番碾き蕎麦

よしみや

大塚 達宏 (昭和58年卒)

大塚 啓史 (平成23年卒)  
明治大学3年

川崎市宮前区小台1-19-5-B1

TEL 044-853-0753

よしみや.jp

祝 第49回

総明会総会

田基部OB会

顧問 村野圭吾先生

会長 森 和良 (昭和43年卒)

副会長 岡田 弘 (昭和46年卒)

副会長 田島 弘資 (昭和52年卒)

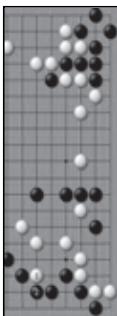
事務局長 大谷 清文 (昭和57年卒)

会計 大熊 好彦 (昭和57年卒)

定期的に村野先生と暮会・  
懇親会を行っています。  
田基部の方はご連絡を

田島 弘資

090-7234-9711



祝 第49回 総明会総会  
明治高校  
マンドリン部OB会

めいしんかい

# 明心会

昭和59年卒  
赤堀 康浩



明心会から

『BORLLEY,S』の会

私達昭和59年卒のメンバーは平成23年度の総明会で幹事をやらせていただきました。

実に26年ぶりに集まったわけですが、集まった最初の時は誰が誰だか分からない位に変わり果てた人もいれば、年を取ってないのでは?という何とも羨ましい人もいました。総明会の幹事をやる事で生まれる結束は素晴らしく、あ

ーを集めたのがきっかけでゴルフ好きのメンバーで出かけました。最初は太平台カントリークラブ(栃木)でラウンドしました。

になりメンバ

2回目は総明会が無事に終了したということで年末にまたまた太平台カントリークラブでラウンドし、その後で草加の「かつ亭押田」明心会・押田君のお店です」に再度集まり飲み会をやりました。同級生とゴルフをやり、同級生の店で飲むなんて、今まで全

つという間に気持ちちは高校時代へ帰りました。何かっていうと集まる機会が増えました。幹事年のゴルフデンウィークにゴルフへ行こう!という話

くなかったのですが、氣を使わずに気楽に遊べる機会を総明会が作ってくれたような気がします。

せつかくだから定期的に集まってコンペをやるうよということになり翌年から3〜4か月ごとに開催することになりました。最初に私がやり始めたことからコンペの名前に私の名前が使われることになったのですが、メールアドレスがBORLLEYだったことから『BORLLEY,S』と命名されました。まあ、同級生のクラブ活動みたいな感じですね。昨年は千葉、埼玉、栃木と色んなゴルフ場で開催しました。ちなみに優勝者が次の幹事をやる事になっています。昭和59年卒の皆さん!是非『BORLLEY,S』に一度参加してみてください。『BORLLEY,S』で腕を磨いて総明会ゴルフコンペで優勝を狙うなんていうのも楽しいのでは

有限会社 共栄化工  
一般 装飾品 鍍金

代表取締役

## 岩井 孝之

昭和59年卒 明心会 バレー部OB

〒131-0041 墨田区八広2-18-13

TEL.03-3617-6050

FAX.03-3618-0711

連絡を! 待ってまーす。

昭和59年卒  
**大山 輝芳**  
明心会  
硬式野球部OB  
お酒の横濱屋  
松見町店 店長

**かつ亭 おし田**  
こだわりとんかつ

**押田 光央**  
昭和59年卒 明心会  
埼玉県草加市谷塚1-2-45  
TEL.048-929-1318  
<http://katsu-oshida.com/>

株式会社 エヌエスビー  
World Wide Web Hosting  
& Authoring Services  
代表取締役社長  
**根津 光弘**  
昭和59年卒 明心会  
<http://www.nsb.ne.jp/>  
 @mnezu

昭和59年卒 明心会  
税理士  
**田中 重幸**  
〒272-0138  
市川市南行徳 2-12-5-301  
TEL.047-318-3965

S H I M A M U R A D E S I G N  
**個性を出すと、魅力も出てくる**  
お客様のイメージをカタチにします。ご相談下さい。

グラフィックデザイナー 昭和59年卒 明心会  
**島村 武史**  
〒171-0052 豊島区南長崎3-31-14  
TEL.03-5996-6828  
E-mail.take-457@netjoy.ne.jp <http://www.shimamura-design.com/>

- 👍 ホームページ制作
- 👍 ロゴマークデザイン
- 👍 商品カタログ制作
- 👍 広告・会社案内制作

その他いろいろ制作します。

祝 第49回総明会 総会・懇親会  
めい しん かい  
**明心会**  
昭和59年卒  
<http://www.meishinkai.com/>

昭和59年卒  
ライフプランナー  
**渡邊 文夫**  
ソニー生命保険株式会社  
新宿ライフプランナーセンター第9支社  
東京都渋谷区代々木 2-1-5  
J R 南 新宿ビル 15F  
電話 03-5358-1709  
携帯 090-4376-6146  
SL 13-4290-0019

**丸喜株式会社**  
FOOTWEAR製造卸  
専務取締役  
**河原 勢朗**  
昭和59年卒 明心会  
〒111-0032  
東京都台東区浅草6-4-12  
TEL.03-3876-1751  
FAX.03-3875-6168  
s-kawahara@maruki-net.com

**有限会社忠建商事**  
不動産の有効活用 売買・賃貸・企画・管理  
昭和59年卒 明心会 硬式野球部OB  
代表取締役  
**渡辺 憲一**  
〒224-0001  
横浜市都筑区中川17-17-18  
TEL. 045-911-3011  
<http://www.chukenshouji.com/>



どうこんかい

## 闘紺会

昭和60年卒  
小林 克敏

昭和60年卒「闘紺会」です。  
昭和60年といえば、東北・  
上越新幹線は開通するわ、埼  
京線もついでに開通するわ、  
つくば万博は開催されるわ、  
阪神タイガースは21年ぶりに  
優勝するわ、松田聖子と神田  
正輝は結婚するわと、まさに  
世の中全体がバブル時代、好  
景気に沸いていたときであり  
ました。そんな年に明治高校  
を卒業し、三十年近くの月日  
が経過して幹事学年を務めさ

せて頂いた昨年は、久しぶりの  
の再会に沸き、同じ目的を持  
ち、充実した一年間を送るこ  
とができました。明けて  
2013年の闘紺会は2月1  
日の新年会からスタート。昨  
年11月の総会以来、たかだか  
2ヶ月しか間をおいていない  
ものの40名を超える同級生が、  
同期の手束君の経営する小岩  
の玉寿司に集いました。この  
席で同期会は毎年7月の第一  
土曜日開催とすること、4月  
23日の火曜日に第一回闘紺会  
ゴルフコンペを開催すること  
が決定されました。そんな勢  
いで第一回のコンペも、平日  
にもかかわらず13名が出席。  
気のおけない仲間との楽しい  
ゴルフと相成りました。そし  
て、7月6日の同期会は銀座  
の大黒屋吉衛門で開催。こち  
らも同期の望月君が経営する  
お店を貸切にしての集いとな

りました。

ここでは来年以降の会の運  
営方法等を話し合い、この闘  
紺会の勢いを末永く続けるこ  
とを全会一致で確認しました。  
この日は恩師の山田先生に  
もご臨席いただき、大いに盛  
り上がった同期会でありまし  
た。

おそらくは人生を折り返し、  
円熟がかった、いい大人にな  
っていたはずの我々も昨年来  
この闘紺会の集いに出席する  
たびに明治高校在籍当時の童  
心？に戻り、修学旅行の夜を彷彿  
とさせる、ただの小童ともな  
なってしまうのであります。



祝 第49回 総明会 総会・懇親会

# 昭和60年卒 闘 紺 会

～健やかな毎日と磨きあげた美しさを～  
フィットネス & ビューティ

## La・VIE

(株)ジョイナス 本社：〒111-0034 東京都台東区雷門 1-2-11

TEL 03-3847-8400(代)/FAX 03-3847-2900

株式会社ジョイナス 山田 啓明 (昭和 60 年卒闘紺会)

感動をお届けする  
手打ちそばの店

### 案山子

〒105-0014  
港区芝 2-12-9 波ビル 1F  
03-6272-4416

新鮮な旬の食材を活かした  
料理と酒の店

### 泰もと

〒142-0062  
品川区小山 3-6-23  
03-5498-6450

株式会社案山子 山田 健人 (平成元年卒)

鞆・袋物・文具用金具製造卸

## 服部興業株式会社

服 部 高 一 (昭和60年卒 闘紺会)

東京都台東区浅草橋 3-27-7 〒111-0053  
TEL 03-3862-3411 FAX 03-3861-6006  
E-mail : hattorikogyou@gmail.com  
<http://www.hattorikougyo.com>

# オール明治の店

明治高校の卒業生が、設計・施工した明治高校卒業の先輩の店

## 昭和52年卒 男子校根性組 石黒理樹先輩のお店内装工事

38m<sup>2</sup>既存のお店解体後、全面改装工事(荒川区町屋) ■設計:(株)翔デザイン研究所／施工:マルサンアーキウッド(株)



「そば=和食だからこその一部に洋風のテイストを取り入れた店を。」店主石黒先輩が出店するにあたってのイメージでした。この大命題を元に石黒ご夫妻と設計の小林、施工の渡辺で白熱の打ち合わせが行われました。回数を進めるに従ってだんだんこのイメージが具体化していきました。施工期間中は多少の問題も発生しましたが、そこはオール明治の底力で難なく解決、平成25年7月13日に無事オープンを迎えることができました。明高OBの皆さま、是非オール明治で完成させた町屋「手打ち 如月 徳」。美味しいそばをご賞味いただきながら、店の雰囲気もお楽しみ下さい。



構造用の柱を、通路の中央でもあえて残り、無垢の杉板で化粧を施しました。斬新なデザイン。翔デザインのこだわりです。



手打ち  
如月  
徳

お店の看板(左)は、店主石黒さんの同級生、小嶋眞作さんの渾身の一笔。蕎麦は、毎日その日の分だけ石臼で自家製粉しているそうです。「手打ち 如月 徳」  
荒川区荒川7-26-9  
TEL.03-3801-9001

昭和60年卒 闘紺会 小林 克敏



株式会社 翔デザイン研究所

〒107-0052 東京都港区赤坂3-19-5  
TEL:03-3582-7726/FAX:03-3584-5190  
<http://www.sho-design.co.jp>

翔デザイン研究所ではパチンコ店等アミューズメント施設から、飲食、物販等の商業施設、一般住宅に至るまで、デザイン設計から施工、アフターメンテナンスまで一括してお手伝いいたします。お気軽にご相談下さい。

# オール明治の家

明治高校の卒業生が、設計・施工した明治高校卒業の先輩の家

## 昭和59年卒 明心会 赤堀 康浩先輩のご自宅新築工事

4LDK+S+FreeRoom+インナーガレージ(豊島区千川) ■設計:(株)翔デザイン研究所/施工:マルサンアーウッド(株)

**ご** 夫婦とお子様4人、6人のご家族からのご依頼です。日当たりがよく、風通しの良い空間を第一に、電気錠をはじめ、セキュリティ重視で計画をいたしました。私たちオール明治スタッフもわくわくしながら仕事をさせていただき、赤堀先輩の喜ぶ姿を糧に仕事を進めさせていただきました。もちろん、住宅性能保証・瑕疵担保保険・行政の検査も合格です。これからもオール明治の輪を広げたいと思っております。



リビングには、マルサンアーウッド特製の桜の無垢のフローリングを施工。シンプルで暖かみのある空間が完成しました。赤堀先輩のご家族も大満足。



右から、設計担当:小林克敏(昭和60年卒)  
施主:赤堀康浩さん(昭和59年卒)  
施主友人:島村武史さん(昭和59年卒)  
施工担当:渡辺智郎(昭和60年卒)

昭和60年卒 闘紺会 渡辺 智郎

 **Marusan Arc Wood**  
マルサンアーウッド株式会社

〒135-0011 東京都江東区扇橋2-21-10  
シャレー・オダカ 4F  
TEL.03-6666-5103 FAX.03-6666-5104  
<http://www.e-03.co.jp>

総合建設工事・一般住宅新築・リモデル工事、大規模遊戯施設内保守点検メンテナンス、木材・建材販売を主に営業しております。工事完了後、商品販売後の末永いお付き合いをモットーとしております。



## ソーシャルキャピタルリアルティ株式会社

代表取締役

**金井 壮** 昭和60年卒 闘紺会

〒106-0032 東京都港区六本木2-2-2 イトーピア六本木604

tel:03-6825-1010 fax:03-6825-1011

e-mail:s-kanai@socialcapital-r.com

宅地建物取引業 東京都知事 (1) 第90636号

Technology and Trust

**闘紺会**

## 株式会社立山電機工事

代表取締役 **寺山 裕也** (昭和 60 年卒)

東京都江戸川区鹿骨四丁目 22 番 13 号

TEL 03-3670-0277 FAX 03-3670-3159

E-mail yuuya01@pop02.odn.ne.jp



東京シティ信用金庫新小岩支店前・定休日木曜日

☎ **3 6 9 1 - 3 0 8 8**

<http://www.tamazushi.com>

手束 謙一 (昭和 60 年卒 闘紺会)

## 有限会社 秋元鉛工所

代表取締役社長 **秋元 健一郎**

昭和 60 年卒 闘紺会

〒132-0021 東京都江戸川区中央 1-6-21

TEL 03-3651-0080 FAX 03-3651-2661

鉛ホモゲン加工

鉛配管工事

塩化ビニール加工

接着ライニング加工

塩ビ配管ダクト工事

各種合成樹脂加工

F R P タンク

# かやば町 鳥徳

代表取締役

鍋島 孝太郎

(昭和60年卒 闘紺会)

〒103-0025

東京都中央区

日本橋茅場町2-5-6

店舗

TEL. 03-3666-4692

info@toritoku.com

iphone

080-4294-9674

mail

kotaro.nabeshima@gmail.com

鈴木税理士事務所

税理士 鈴木 裕朗

Hiroaki Suzuki

(昭和60年卒 闘紺会)

東京都墨田区業平 1-21-9 あさひ墨田ビル2F 〒130-0002

Tel: 03-3623-8703 Fax: 03-3623-8706

<http://www.suzuki-firm.com/>

昭和60年卒

# YAZAWA

理化学器械製造販売

株式会社 矢沢科学

昭和60年卒

(闘紺会)

柔道部

駒沢公園行政書士事務所

行政書士 大塚 大

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 5-12-7

TEL 03-3703-7076 FAX 03-3703-5809

E-mail houmu@pc.nifty.jp

URL <http://ootsuka-houmu.com>

自動車 外装磨き 内装清掃 専門会社

(対応車種 軽自動車 ~ 1BOX 輸入車 商業車 大型トラック・バス)

外装ポリマー加工  
水アカ除去磨き  
タバコ消臭処理  
革シート清掃  
ルームクリーニング



株式会社 サンコー商会 昭和60年卒

代表取締役 町側 尚則 闘紺会

〒123-0872 東京都足立区江北 3-38-1

TEL 03-3898-3501 FAX 03-3898-3701

E-mail machigawa@gmail.com

<http://www.car-sanko.com>

# 金・プラチナ・ブランド品 I LOVE 買取

## 森田質店

**買取販売** CHANGE TO MONEY

**0120-78-4919**

<http://hkanto.misawa.co.jp/>

## ミサワホーム東関東株式会社

船橋支店 支店長 矢 島 昭 夫 昭和60年卒  
闘 紺 会

〒273-0005 船橋市本町2-10-14 船橋サウスビル

● 代表 047 (432) 3311 ● FAX 047 (432) 5300 a-yajima@hnh.co.jp

## 都心型の印刷工房 サミット印刷株式会社

営業部 大 貫 俊 隆  
昭和60年卒 剣 道 部 O B

経理部 羽田野 嘉一  
平成18年卒 硬式野球部 O B

TEL. 03-5472-3310  
FAX. 03-5472-3338  
東京都港区芝大門2-10-18

家庭文化用品 荒物雑貨 総合卸  
輸出入竹工芸品全般

## 株式会社 大園

代表取締役 大園 正純 (昭和60年卒)

本 社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目12番8号  
電 話 03(3624)5 3 6 6 (代)  
F A X 03(3624)5 3 6 8

# 金券ショップ『チケッティ』



<http://www.tickety.jp/>

各種金券の買取と販売

新小岩・錦糸町・御徒町・北千住

昭和60年卒業 植村成典





しんせいぎ

# 新世輝

昭和61年卒  
鵜飼 友義

んー、返す返すもいい名前！いや「新世輝」ってエあたしたちの同期会名の事です。いやー山田先生ありがとうございやす！最初んうちは名乗るにも、ちよいとこそばいとこがございしたたが、なんかア今ではすんごく愛着が湧きやしてね、何てエンでしょうねえ、この1年の幹事学年活動を通じて、何度も口にしてるもんですからねエ、そいと同期同士の連携感からつてのもあんでしょうな、しつくり馴染んでまいりやした！ッひゃー、同期会の名前を「サンクレール」にしなくて良かった！

つてエことでお馴染みの本年度幹事学年昭和61年卒「新世輝」の鵜飼友義でございやす！

えー、幹事学年活動もマツクス忙しくなつてまいりやした。

先輩方の同期会が一段落し

たかと思つたら、寄付広告の校了と台割！横山一実寄付広告委員長がしきらせて「頂きやす」。

して、気になりやすのが昨年と比べ、先輩方のお気持ち（寄付）は集まつてんのかどうか。こちらをガツチリ集計して、営業成果を指し締めます当代ぎつての金庫番。集めた「浄財は清水稔夫会計委員長がきつちり締めさせて「頂きやす」！

最もてえへんなんは会報！昨年よりも2週早いスケジュールで編集前の原稿集めの大詰め！間に合うのかお前ら！と先輩方の心配を野津会報委員長ががっちり受け止めて、同期をしきらせて「頂きやす」。

そして近づいてまいりやした、本年度総明会総会・懇親会。こちらを受け持つのア栗本宜長式典委員長！ここにゴルフ委員が加勢に入りエン

ジン全開で準備をさせて「頂きやす」！

懇親会の後半は、当代ならではの企画を練つておもてなし。同期のひとりで歌舞伎座でも奏でる囃子方、杉浦邦雄と、やはり現代音楽の業界で活躍する中村隆之という当代きつてのタレントを吉野正敏企画委員長が仕切らせて「頂きやす」！

これら裏で支える事務局は、全ての委員長に指示出してる裏の実行委員長。表のあたしもひつくるめ、新世輝の全員の幹事学年活動が遅延無くきつちり遂行されるよう、土田正昭事務局長が仕切らせて「頂きやす」！

さー、来る11月10日（日）は「第49回総明会総会・懇親会」我々幹事学年「新世輝」のクライマックス!! 私どもの「頂き」を見に是しおこし下さいまし！ッひゃー！

「子どもに迷惑かけたくなければ相続の準備は自分でしなさい」  
平成6年卒 五十嵐 明彦 著（ディスカヴァー・トゥエンティワン社）

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-28 フォーラス神田3階

税理士法人タックス・アイズ TEL 03-3255-0551 FAX 03-3255-0552

平成6年卒 代表社員 公認会計士・税理士 五十嵐 明彦（硬式野球部OB）

平成6年卒 パートナー 公認会計士・税理士 内藤 貴夫（軟式庭球部OB）

## 第49回 総明会 総会・懇親会

～「頂きを目指す」繋がる伝統を世界へ～

『幹事学年の

クライマックス!!

私たちの“頂き”を見に

是非、おこし下さいっ!』

しんせいぎ  
**新世輝**

**49/101**

OB先輩のみなさま・後輩諸君のご出席を心よりお待ち申し上げます。昭和61年卒業同期会（平成25年幹事学年）



昭和 6 1 年卒 新世輝

## 清 水 会 計 事 務 所

税理士 清 水 稔 夫

〒167-0032 東京都杉並区天沼 3 - 9 - 1 萩窪ビル 2 階

TEL 0 3 - 5 3 4 7 - 2 2 8 3

FAX 0 3 - 5 3 4 7 - 2 2 8 4

E-mail : ts98wind@bird.ocn.ne.jp

木材・新建材・住宅機器 販売



株式会社

昇 栄

代表取締役

染 谷 昇 司

(昭和61年卒 新世輝)

〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江3-2-6

電 話 : 03-3679-3681

FAX : 03-3677-3174

E-mail : shoei.co@ceres.ocn.ne.jp

# 古美術 宝石 古道具 お買取致します。

## 《取扱商品》

掛軸 絵画 茶道具 陶器 ガラス器 漆器  
中国美術 書道具 仏像 コイン 古銭  
軍服 勲章 刀剣 着物 帯留 芸術写真  
宝石 ダイヤモンド 金製品 銀製品  
時計 ギター 楽器類 カメラ オーディオ  
釣り道具 デザイナーズ家具 等

お気軽にご相談下さい！

代表 **横山一実**

(昭和61年卒 新世輝)

**HP : 090-3530-0850**

〒121-0012

東京都足立区青井5-6-13-502

電話&FAX (03) 3889-6999

E-mail [yokoyama-desu@mopera.net](mailto:yokoyama-desu@mopera.net)

art -あ〜と-

しょうわぼんのかい

# 昭和戊辰乃会

昭和63年卒  
光岡 孝之



母校 明治高校文化祭初日の夜、新宿の榮寿司にて第2回同期会を行いました。

幹事学年を迎えるまでは、日程今年は11月2日、場所を変更せずということになりました。今年も連絡は人伝方式になりますので、連絡先のわからない方は本文をよんだら、メッセージください。(本頁下部まで)

さて、今年も山田先生が特別出席され、総勢30人を超える男たちの飲めや飲めやの大

宴会!! そのまま二次会へ突入し、終了時間は未定という楽しい一晩でした。そんな中、同期・富樫孝之君(スキー部)が北武蔵カントリークラブで支配人をされているとのこと。その

場で、『第1回ゴルフコンペ』開催と相成りました。2012年12月16日(日)

早朝。半ば強引にコンペを押し込んでいただき総勢17人による、熱い戦いが繰り広げられました。昼食、表彰式でも飲み放題(支配人権力の発動!)というハンデ? もあり成績はまったく覚えておりませんが、優勝者には記念トロフィーが。また、各表彰にも多くの景品があり、とても楽しい会でした。(コンペな

どの企画の際には、一考のほどを。明治高校の...と言ったら何かあるかもしれません。)前回優勝者とBが次回幹事を担当するという黄金ルールも決まり、今年5月19日には早速第2回コンペが、第3回は10月20日(日)に決定!! 年2回のコンペが定着していくと思います。

今年の幹事学年である『新世輝』の先輩方はわれわれが1年のときの3年生。近づく幹事学年に怯えながらも、同期会、ゴルフコンペなどを通じ、今後も同期の輪を大きくしたいと思っております。

『新世輝』の皆さん、企画準備などお疲れ様でした。総会、懇親会の盛会をお祈り申し上げるとともに、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

RE<sub>ソル</sub>OL 北武蔵カントリークラブ

関越道 本庄児玉ICより12分(埼玉県)

明高割 はじめました!! これをご持参ください

【季節料金より 平日▲500円 土日祝▲1000円 引き】

TEL 0495-72-5111

支配人 富樫 孝之(昭和63年卒 スキー部)

同期のみんな  
連絡ください

光岡 孝之

昭和63年卒 昭和戊辰乃会

090-8568-1015

mitu3027-8489

@t.vodafone.ne.jp

めいゆうかい

## 明雄会

平成22年卒  
佐藤 亨太郎

「光陰矢のごとし」とはまさにこのことで、早くも私たちは大学卒業を間近に迎えるようになっています。調布の地にて、明治高校を卒業したことをつい先日のように思っていたことが嘘のようであります。大学に入学してからはや4年近くなるわけですが、今でも当時の学生生活の光景が思い出されます。

現在、私たちは残りの単位の修得や卒業論文の執筆など、卒業に向けて努力すると同時に、就職活動や大学院への進学などを経て、社会への旅立ちに向けて邁進致しているところでもあります。部活動の指導などで高校へ行く仲間もいるようですが、我々のいた時代とは異なり、完全共学化の下、新しい明治高校が生まれているようです。長い間、男子校の明治の中で過ごし、最後の男子校学年として卒業した私たちにとっては、嬉しいやら寂しいやら、複雑な気持ちになります。ですが、100周年を迎え、新しい一歩を踏み出した明治高校が、良き伝統を残しつつ、新しい未来を築いていってほしいという気持ちは皆同じです。

先述の通り、高校から大学にかけての生活は本場にあってという間でした。高校や大学のうちにしかできないことや感じられないことが実に多くありました。現役生の諸君には、今ある時間を有意義に使う、就職活動や大学院への進学などを経て、社会への旅立ちに向けて邁進致しているところでもあります。部活動の指導などで高校へ行く仲間もいるようですが、我々のいた時代とは異なり、完全共学化の下、新しい明治高校が生まれているようです。長い間、男子校の明治の中で過ごし、最後の男子校学年として卒業した私たちにとっては、嬉しいやら寂しいやら、複雑な気持ちになります。ですが、100周年を迎え、新しい一歩を踏み出した明治高校が、良き伝統を残しつつ、新しい未来を築いていってほしいという気持ちは皆同じです。

い、「明治高校でよかった!」と思えるよう、学生生活を楽しんでください。

時折、部活動の仲間同士や大学構内でたまたま再会した友人同士で、酒を酌み交わすなど、個々人での交流はありますが、全員で顔を合わせる機会は未だありません。今年は、卒業年次ということもあり、同期会を開催したいと考えております。同期の皆さんに対しましては、同期会の内容について、開催の日時や場所などの詳細は未定ではありますが、詳細が決まり次第ご報告申し上げますので、万障お繰り合わせの上、是非ともご参加くださいますようお願い致します。みなに会えることを楽しみにしています! 万が一、卒業して以降、ご連絡先が変わったという方は、友人伝いで構いませんので、佐藤もしくは亀屋氏までご連絡いただけ

ますよう、よろしくお願い致します。  
それでは、諸先輩方、同期の皆様、後輩諸君の益々の健康と、そして明治高校の更なるご発展をお祈りし、明雄会のメッセージとさせていただきます。

株式会社  
IST イスト

上條 秀樹

(昭和61年卒 新世輝)

〒106-0032  
東京都港区六本木3-16-35  
イースト六本木ビル2階  
Phone: 03-6703-0607  
E-mail: kamiyo-h@ist-uf.co.jp

# 平成25年卒

平成25年卒  
師岡 忠寛

(今年卒業で同期会名決まっていない)

人生の三分の一を共に過ごした仲間と別れを告げ、このまま大学に入学してついでにけるのかという不安と、どのような楽しい学生生活が待ち受けているのかという期待でいっぱいだった3月から早くも3ヶ月が経とうとしている。

まず、明治高校に最初に誇りをもったのは入学式のときである。あの有名な武道館で行われ、さすが明治大学と感じたことは言うまでもないが、明治大学OBのビデオレター

などには驚いた。そして、最後の校歌斉唱。式の前に大学の合唱団の先輩方の指導のもと練習したものの歌っている人はほとんどいなかった。そんな中、一人声高らかに明治大学校歌を歌うことができたのは明治高校で明治魂を培った賜物と自負している。それから、健康診断やガイダンスを経て、いよいよ授業やサークルが始まった。高校と大学との違いはたくさんあり、最初は戸惑ってはかりであった。それは、自分の選んだ授業によって丸々一日空くことがあったり、登校が午後になることがあったり、期末テストが論述テストだったり、授業に関して抱くものがほとんどだった。

しかし、友人関係のことはまったく不安に感じていなかった。なぜなら、明治高校で作った仲間がいると自信を持つことができたからだ。6年

間共に過ごした明治高校仲間には絶大な信頼を私は置いており、大学で顔を合わせるたびにホームな感じをうけている。そういうわけで私は自分に自信を持つことができ多くの友達も新しくでき、とても充実した日々を送ることができている。また、サークル選びも少々頭を悩ませるものがあった。新しいことをやってみたい気持ちや、高校でやってきたことを続けるのか、などさまざまな選択肢で悩んだ。そんな私がサークルを選ぶにあたって、とくに大事にしたことは、高校で楽しかったことと大学でしかできないことである。

私は文化祭準備委員会として紫紺祭を作り上げたことがとても楽しかったことと、大学在学中でしかできないことを考え、学園祭実行委員会に所属しさらに楽しい学生生活を送っている。

株式会社  
**レストラン・ピガール**  
明大1号店

ケータリング パーティー  
各種お弁当承ります。

〒182-0033  
東京都調布市富士見町4-23-25  
明治大学付属明治高等学校・中学校内  
TEL/FAX.042-480-9703  
担当総括支配人 山口剛志

このような充実した日々があるのも明治高校に入ったおかげであると最近さらに強く思うようになっていく。つらいことがあったら、明治高校の仲間がいる。そのことだけでどんなことも乗り越えられる気がするのだ。本当に明治高校に入ってよかった。明治高校バンザイ！

# 明治大学付属 明治高等学校應援團OB会

昭和37年卒  
会長 高村 光昭

應援團OB会会長高村光昭でございます。昨年、應援團史上初の女子團長が誕生したという報告を致しましたが、時が経つのは早いもので、もう卒業し、先日、OGとして應援團OB会総会に参加することになりました。子供世代よりもはるかに下の年齢層の女子OG達に、果たしてどのような話をすればよいのかと悩むこともありましたが、共に紫紺の旗に集い、母校のために声を張り上げた同士です。

私たちと共に現役時代を懐かしく語るといふ状況になり、伝統の継承に裏付けされた明治の団結力を感じて嬉しく思いました。

さて、私もOB会では現役の支援を第一に活動をして参りましたが、昨年、特筆すべき点は明治大学付属明治中学校・明治高等学校創立100周年記念に合わせるように新応援歌を作成したことが挙げられます。作曲は、今、日本一の編曲家でレコード大賞も取っている紫讃会の前田俊明氏にお願いをし、作詞は現役が試行錯誤をして作りました。今までの応援歌は大学の応援歌を譲り受けたため、歌詞の多くに「駿河台」「神田」などの言葉があり、ますらおぶりの力強いものになっていました。今度の新応援歌「紫紺を胸に」は調布に移転したこと、共学となったことをふまえた高校生らしい歌詞にな

っております。新応援歌「紫紺を胸に」は、昨年の100周年記念式典にお披露目をすることができましたので、今後は夏の大会以降、球場に鳴り響くことになるでしょう。母校の勝利のため、皆さんの応援を心待ちにしておりますが、その際は是非、新応援歌「紫紺を胸に」も、お楽しみいただければと思います。

今後とも総明会、各クラブOB会と連携をしながら、現役に充分な支援をしていき、また、全ての明治関係団体が更なる活性化をするように、應援團OB会もできる限りの力を尽くしたいと思います。今後共、どうぞ宜しくお願い致します。





# 吹奏楽班 OB・OG会

昭和61年卒  
本間 潤

ことしの春は、桜の開花がたいへん早うございました。靖国神社の桜が咲いた3月16日に、神田の猿楽町では、吹奏楽班のOB・OG会が行われておりました。

明治高校の猿楽町校舎にほど近い、和食居酒屋「柳宇」に集まったOB・OGは40名超。ベテランから若手まで幅広い世代が参加して、にぎやかな会合となりました。

今年度から、竹越前会長の後を継ぎ、斉木新会長が就任

しています。総会では、斉木会長からOB・OG会の現状報告があり、引き続き懇親会が行われました。

顧問の鈴木先生、副顧問の早川先生をはじめ、日ごろ指導をいただいているコーチの先生方にもご来場いただきました。さらに、昭和62年まで当班の常任指揮者を務められた、山本孝先生も駆けつけてくださり、当時のエピソードを披露いただき大いに盛り上がりました。

宴たけなわとなり、恒例の新OB・OG紹介です。今年も10名を超える若い仲間が加わりました。ひとりずつの自己紹介では、同じパート（楽器）や明治大学の学部名が出るたび、OB・OGから歓声が上がっていました。

昨今の吹奏楽人気に加え、共学化による女子部員の増加もあり、当班は100名に及ぶ班員を抱えています。一方

で「男子班員の確保」という新たな課題が浮上しているとのこと。共学校共通の悩みではあります。男子校時代の頃を思うと、何とも不思議な感じがいたしました。

吹奏楽班OB・OG会は、吹奏楽コンクール・合宿・定期演奏会等、現役の活動支援をひきつづき行つてまいります。OB・OGのみなさまにおかれましては、ぜひ現役の演奏を聴きに足をお運びいただき、年一度の総会にも、より多くのご参加をお待ちしております。

日本全国より、選りすぐりのラーメン大集合

**東京ラーメンショー2013** 開催

11月15日(金)～24日(日) 駒沢オリンピック公園  
10:00～21:00 (19、24日は17:00)

詳細はWEBで <http://www.ramenshow.com>

イベントプロデューサー 小澤 淳二(昭和61年卒 吹奏楽班) 株式会社 ラーメンデータバンク



## 図書班

昭和52年卒  
大西 静士郎

現在のところ、図書班には正式なOB・OG会は存在していません。18年ほど前に、昭和40年代から50年代はじめて春夏の合宿を行っていた明大那古寮(千葉県館山市)が閉鎖されることになり、お世話になった管理人の桜井利子さんに感謝する会を図書班OBで行なった時に集まったくらいです。OB・OG会を作ろうという声はありますが、仕事を抱えながらですと、なかなか行動に移れない、とい

う状況です。

そのような中、去る7月26日(金)の夜にOB有志で集まる機会がありました。

最初は、昭和45年卒の平田幸彦氏と昭和50年卒の内木幸介氏の間で「〇〇さん、どうしています? お会いしたいなあ」というような話が出たのが始まりでした。それなら、連絡をとれる方に声をかけてみよう、ということになりました。何人集まるかと思っていましたら、昭和45年卒から57年卒まで15人のOBが集まりました。卒業以来という方もいらつしゃって、最初は誰が先輩で誰が後輩かわからないような状態でした。ところが、サプライズゲストとして平田氏が那古寮の桜井さんをお呼びしていたので、合宿の思い出話を中心に一気に盛りあがりました。桜井さんも83歳というご高齢にもかかわらず、図書班OBの集まりとい

うことで、わざわざ館山からご出席くださりました。ありがとうございました。

OB会というほどの大げさなものではなく、暑気払いの会という程度の気楽な集まりでしたが、これが正式なOB・OG会結成の機会になれば良いと思いました。

今回ご連絡先がわからず、ご連絡できなかった皆様には、次回必ずお声をおかけいたしますので、本稿をお読みになった図書班OB・OGの方は、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

昭和52年卒 大西 静士郎

Email

seishiro-onlty.com

携帯電話

090-12243-12135



**BRAINSTORM**

音楽、効果音、ナレーション制作

サウンドアプリの企画開発

株式会社ブレインストーム

代表取締役 中村隆之(昭和61年卒)

[www.nakataka.net](http://www.nakataka.net)

# 放送班 OB会

昭和57年卒  
宮田 健

放送班OB会のうち、昭和53年から昭和61年卒業生を中心とした有志で、当時の放送班顧問の先生であり恩師でもある、故田村晴彦先生の命日（5月17日）にあわせ、毎年5月の第3土曜日に先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っています。

今年も例年通り、第3土曜日の5月18日に開催しました。昨年は、先生の二十三回忌でもあり多くの方ご参加いただきました。今年は、昨年ほど

ではないものの計10名が参加し賑やかな会となりました。この墓参会は、毎年恒例の行事として分かりやすくするため、集合場所も同じくしています。集合場所の田町駅前某コーヒー店前に集まるメンバー。一年ぶりに会う先輩、後輩も多いのですが、顔を見た瞬間に毎日会っているかの様に会話が始まります。OB会が良かったと思える瞬間、そしてこの機会を作って下さっている先生に改めて感謝する瞬間でもあります。タクシーに分乗し、先生の眠る長久寺へ移動。一人ひとり墓前で手を合わせ、近況を報告、門前で恒例の記念写真を撮影と例年通り墓参を終えました。

その後、麻布十番に場所を移して開催した懇親会には、仕事で墓参りに間に合わなかった2名も合流し、総勢10名となりました。時のたつのも忘れ現役時代の思い出話に花を咲かせ、二次会に消えていったメンバーは日が変わるまで語り合ったとか。

今後、今年のように放送班OBに限らず、故田村先生にゆかりのある方には気軽に参加して頂き、ともに楽しい時間を過ごしたいと思います。間違いなく先生も喜んで下さるはずですよ。「来年は自分も」とお考えの皆さま。どうぞお気軽にご参加ください。興味のある方は、インターネットの掲示板 (<http://8630.teacup.com/mbc/bbs> 携帯電話可) や、メーリングリストをご利用ください。メーリングリスト参加希望の方は <http://groups.yahoo.co.jp/group/tanurakai/> の「グループへの参加(自動処理)」から手続きをしていただくとともに、tanurakai-owner@yahoo.co.jp へご連絡ください。

flower boutique  
yoshii



FlowerARTAward2012  
優秀作品賞受賞

〒114-0024  
東京北区西ヶ原4-54-15  
TEL 03-3576-0575  
FAX 03-3576-0576

花束・籠花・フラワー装飾  
プライダルなどご相談下さい。  
昭和61年卒新世輝 池田 曜





# 剣道部OB会 見心会

昭和60年卒  
渡辺 智郎

思い出の掛かり稽古

先日、調布の新校舎で剣道部の稽古に参加させていただきました。十五年ぶりの稽古でした。設備も充実し広くて綺麗な道場に、猿樂町校舎格技室の熱い思い出が蘇りました。中学一年から剣道を始めた私は、練習の厳しさと同時に、上下関係の厳しさに圧倒されたものでした。当時、一つ上の先輩が号令をかけ、昼休みに校舎屋上に集合し、部の規律を叩き込まれ、先輩への挨拶を一つ失念しただけで罰として、素振りをしながらの鬼跳びで道場を何周も回ったりもしていました。そのような環境の中で先輩への敬意、目配り、気配り、同輩との連帯意識を体に刻み込みました。

また、忘れられない思い出は、試合で予想外の敗退の後、翌日の稽古で延々と続く「掛かり稽古」でした。いまでも

”掛かり稽古”という言葉を知っただけで背筋に冷たいものが走るのは私だけでしょ。特に、厳しい先輩に掛かると、少しでも疲れた素振りを見せようものなら、面を外され胴を外され、これでもかと言わんばかりにしごかれた経験も、今となっては良い思い出です。

中学一、二年の頃はお互い理解し合えないことも多々ありましたが、剣道部という厳しい環境を共にすることで同僚の絆が固くなっていた日々が思い出されます。剣道部に所属し、六年間を経て日々の稽古を積み重ねるうちに、技術の向上もさることながら、我慢をしてでも諦めずに結果を出す粘り強い心が育めたように思います。

昨年、総明会の幹事学年を経験し数名の剣道部同期と再会、共に活動しましたが、やはり中学高校時代に酸いも甘

いも共に経験した剣道部同期は、活動に本当に力を貸してくれました。そこには、不思議なくらい風通りの良い関係がありました。改めてこの人間関係を与えてくださった、剣道部への感謝の気持ちで一杯です。今となっては、剣道部での経験は、明治高校を卒業したというより、剣道部を卒業したと言っても過言ではないくらい、私にとっての大きな財産となっております。機会に恵まれましたら、この想いを現役に伝えていきたいと思っております。



# 硬式野球部 OB会明球会

昭和51年卒  
会長 一泉 二郎

日頃からの明球会へのご支援に心より感謝申し上げます。誠に残念なことでございますが、今年6月中旬に小林千春監督が体調を崩され退任されました。持病の腰痛を再発され、相当重症のご様子でした。入院後にお会い致しまして、ご容態が気になっておりまして、現在では随分と回復され自宅療養にて通院していらっしゃるようです。一日も早いご快気を、ご祈念致しております。約3年半に亘る明治高校硬式野球部へのご指導・ご尽力に深く感謝申し上げます。

後任の監督には寺土博昭氏（平成4年卒・明治高校職員）が就任致しました。今夏の大会は誠に残念な結果でございましたが、新チームでの秋の大会での活躍を期待致しております。7月の明球会臨時幹事会に於きましても、新監督の推薦につきまして前向きで建設的な意見が数多く出ました。特に「意見番の片山三隆氏（昭和40年卒）からは当日も貴重なご意見を頂きました。誠に有難く感謝致しております。明球会の会報にも謳わせて頂きましたが、明球会は个性的で人材豊富な素晴らしいメンバーの集まりです。明治高校硬式野球部を支援し続ける明球会はこれからも発展・進化していきます。明治高校硬式野球部OBの皆様のご参加を心よりお待ちしております。す。

明球会会報の発行にあたりましては、総明会会長の尾島育四郎氏始め総明会の皆様より過分なご寄付や広告のご提供を頂きました。心より御礼申し上げます。最後にりましたが、明球会、硬式野球部父母の会そして甲子園に送る会の3団体の協力の下、今後も継続して明治高校硬式野球部を応援して

追記 昨年は総明会会報にご挨拶が出来ずに失礼致しました。改めましてお詫び申し上げます。



# サッカー部 OB会

平成11年卒  
サッカー部OB会代表 大室 智



1996年に創部されたサッカー部も今年も早いもので18年目を迎えました。昨年度は、新人戦、インターハイ予選、全国高校サッカー選手権予選ともに、都大会に出場することはできませんでした。が、ひたむきに練習し、最後まで諦めない明治高校サッカー部の伝統を現役の選手たちも受け継いでくれています。また、村主監督をはじめ、スタッフの方々の素晴らしい指導のもと、練習内容・技量の向上のみならず、人としての成長を選手たちは見せてくれています。

本年度から、昨年より副顧問を務めていただいております石黒先生が顧問に就任され、素晴らしい人工芝のグラウンドと共に、取り巻く環境が充実の一途を辿っております。また猿楽町校舎時代のOBの方々からは夢の様な話となりますが、各大会では明

治高校のグラウンドが会場校となっております。

昨年度も記載させていただきましたが、強豪校の仲間入りをしていくためには、選手の努力も大前提ではございますが、OBの皆様方のお力添えも必要です。昨年度は広げることができませんでした。OB会としても今後はOB会のみならず、大会応援など活動の幅を広げていきたいと考えております。

今でも創部された大先輩方の残してくださった「サッカーが好きであること」「好きなサッカーに最大限努力すること」は、年代を問わず明治高校サッカー部の普遍の礎です。OBの皆様方においては、お忙しいかと思いますが、気が向いた際で結構ですのでグラウンドの後輩たちの成長をご覧になっていただければと思います。

全国大会の出場はもとより、

近いうちに東京都ベスト4まで残り、西が丘サッカー場でOBの皆様とお会いできることを目指しています。

明治高校サッカー部は、ますます発展していきますのでご期待ください。



# スキー部OB会 明雪会

昭和57年卒  
鳴海 浩樹

明雪会は今年で創部62周年を迎える。その間にスキーを取り巻く環境にも随分変遷があった。草創期は一部のお金持ちの遊びであり、高度経済成長の時代に全盛期を迎え、その後スノーボードが盛んになりスキー人口が減った時期があった。それが昨今またスキー人口が復活してきたそうである。それは小川町から駿河台下まで歩くと肌で感じることができる。スキーショップが増えたのである。スキー

ヤーが戻ってきた理由は、学生時代にスキーを楽しんだ世代が家族連れでスキーに行くようになったからだと言われている。

そういえば最近のスキー場は子供のリフト券が無料というところも多い。明雪会のOBでもスキーショップを経営している先輩がいる。角谷幹夫氏（昭和52年卒）のお店V3カドヤも歴史のあるそんなショップの1つだ。いつも親切に相談にのって頂いて大変お世話になっている。井上進治氏（昭和38年卒）も長く小川町駅近くでスキーショップを経営されていたが、今は引退されて悠々自適である。

さて明雪会でも往年のインターハイ、国体選手が雪上に戻って活躍している。それも冷やかしではなく、週末に走り込み、夏の陸トレに汗を流し、ストイックなトレーニングを経て雪上に戻ってきた

のである。平成25年3月23日に菅平高原で行われた東京都民大会ノルディック競技に出場し、個人、リレーともに優秀な成績をおさめた。

写真右から五十嵐公一氏（昭和54年卒）、當田浩平氏（平成23年卒）、中山久義氏（昭和55年卒）である。今年は惜しくも国体出場を逃したが、来年はぜひ国体の応援に駆け付けたい。

また平成24年11月9日に顧問の中村容子先生と副顧問の須藤正見先生を迎え日本橋のレストラン東洋で総会・懇親会が開催され、久し振りに明雪会が元氣な顔を揃えた。



# ソフトテニス部 OB・OG会

昭和55年卒  
奈良部 利昭

ソフトテニス部OB・OG会では、毎年十一月に学校のテニスコートを利用して、現役部員との交流を目的として、親睦大会を開催しています。昨年は、OGの第一期生も参加いただき開催されました。近年は、OBの参加者、人数が固定されあまり変化のない状況が続いています。久しくご参加のないOBの方にお願ひ申し上げます。十一月の開催に合わせて、新校舎の見学を兼ねてご参加

ただけでないでしょうか？  
「テニスは全然やっていないので無理だ」とおっしゃらず、テニスをやらなくても現役部員の活動を眺め、若き日思い出しているかがでしょうか？

親睦大会への途中からの参加も歓迎します。また、夜の部では厳しかった昔の練習を思い出して諸先輩、後輩たちとの懐かしい話に花を咲かせてはいかがでしょうか？  
多くのOB・OGの方のご参加をお待ちしています。

## 鈴木税務会計事務所

税理士 鈴木 博史

(昭和61年卒 新世輝)

〒133-0053 江戸川区北篠崎 2-19-12

TEL 03-3670-1430

FAX 03-3676-1440

展示会には夢がある

# threeβ.inc.

株式会社スリービー

代表取締役 三橋 和也

池田 曜  
(昭和61年卒 新世輝)

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-6-9 エルデ本郷館 5F

TEL:03-5805-1055 FAX:03-5805-1058 <http://www.threeb.co.jp>



# バレー部 OB会

昭和52年卒  
樋田 哲次

バレー部OB会の繋がる  
伝統

皆様 こんにちは

バレー部の昨年度の活動は、12月に例年のように、バレーボール大会&総会を調布の明治高校で行い、OB 25人が出席し、今回も、平均年齢60歳の長老チームが高校生・中学生チームと笑いあり、涙ありの試合をしました。(写真参照)

さて、その総会で、約5年間に会長を務めてこられました当間

堅一朗氏(昭和33年卒)と副会長の吉田信行氏(昭和37年卒)の辞意が伝えられました。

代わりに、今まで副会長として、対外的にバレー部の顔として活躍されてこられた片山眞氏(昭和39年卒)が、会長になられました。

副会長には、これまでは無任所でしたが、かつて「クラブOB会」が総明会よりも活発であった時の事務局でした。小川滋氏(昭和44年卒)と、初代顧問松枝先生と現顧問山中先生の共に教え子という、いわば二人の先生の掛け橋である岡永健二氏(平成3年卒)が就きました。その他の役員については、別掲の広告のとおりですので、省略させていただきます。

この異動は、山中先生も顧問に就かれてから23年が経ち、教え子も岡永氏を筆頭に、活動にいられてきていますが、山中先生の教え子が中心となって、OB会を牽引してほしいという親心からの異動です。

バレー部は、60年以上の歴史がありますが、前述のように、

2人の顧問先生だけでここまで繋がってきたという、大変珍しいクラブです。

過去に全国制覇を成し遂げた他校のバレー部は、顧問先生が変わるたびに、OB会があり、一つにまとまっていけないそうです。

しかし、明治高校では、総明会の他の部がそうであるように、たとえ顧問先生が変わろうとも、校舎が変わろうとも、同じ明治で学んだ者、同じクラブに在籍した者であるということで、我々とはとても太い絆で結ばれています。

現在、バレー部OB会では、毎年夏合宿の前には氷代を支給し、現役の合宿での心技体の成長と仲間との連帯を応援しています。3月には、高校3年生と大学4年生を招待し、「卒業を祝う会」を開催し、新天地に向かう彼らの門出を祝っております。

当OB会が、明治高校バレー部で汗をかき、涙し、笑いあつた後輩・現役を応援することで、脈々と明治高校バレー部の伝統が受け継がれています。



# フェンシング部 OB会

昭和41年卒  
岩重 哲雄



明治中学・高校からオリ  
ンピック選手を!!

フェンシング部復活を願  
い、OB会を再開しました!

久しく会っていない仲間  
が昨年8月に集まりました。  
目的は廃部となっているフ  
ェンシング部を復活させたい  
一念です。過去には関東大会  
優勝やインターハイでもチャ  
ンピオンを出した事があるの  
に、今は長く廃部となっている  
のは残念である。昨年のロン  
ドンオリンピックで男子団体  
フルーレ種目で銀メダルを取  
り、その後もマスコミで再々フ  
ェンシング選手が取り上げら  
れ、バラエティー番組に登場す  
る程に人気になってきました。  
この機会にフェンシングに  
興味を持ってもらい部を復活  
してもらいたいのです。即、  
部では難しいと思うので愛好  
会、同好会としても活動を

始めて欲しいと思います。幸  
い明治大学体育会フェンシン  
グ部は今年、古豪復活で全種  
目が関東大学リーグの一部リ  
ーグで活躍中で、明治中学・  
高校への指導協力の了解は現  
役・OB会で承認されており  
ます。総明会員の皆様もフ  
ェンシング部復活運動にぜひ  
協力ください。



フェンシング部OB会 役員  
会長 井原健三 昭和40年卒  
(日本フェンシング協会 理事)

(明治大学体育会フェンシング部  
監督)

(明治大学体育会監督会 会長)

副会長 岩重哲雄 昭和41年卒  
(千葉市フェンシング協会 ヘッド  
コーチ)

幹事長 小宮秀夫 昭和42年卒

幹事 伊藤秀文 昭和42年卒

幹事 中村信也 昭和45年卒  
(事務局)

幹事 森嶋二郎 昭和46年卒

# バスケット ボール部OB会

昭和51年卒  
吉田 博

毎年、春を迎えると始まる関東大会・インターハイの予選。OB諸兄にとっては、胸躍る一喜一憂の季節がきます。東京は、全国でも有数の激戦区、上位十六校はセレクションを屈指し全国から優秀な選手を集めている中で、わが母校は、殆どが、中学から育った選手、一試合でも勝ち進む事を目標にコートで戦っています。試合会場に近づく度、会場からのホイッスルの音で心躍り、コートに立つ明治紫

紺のユニホームを見て昔懐かし、また英気を貰うOBもさぞかし、多い事と思います。それにしても、現役の応援の凄さ、観戦の父兄、OBの多さは、上位校にも勝るとも劣らず、明治の歴史と一丸となる求心力には驚きます。OB会のスローガンは、現役の支援とOB相互の親睦を図る事です。OBの親睦としては、毎年11月にゴルフコンペを開催、OB総会は、9月の最終日曜日に毎年70名近い参加者により開催しております。一昨年の総会では、元住友金属・全日本代表の岡山恭崇氏により現役中学校高校の選手にメンタル面での講演を頂く等、意義のある総会を行っております。夏合宿では、若手のOBが中心に、現役選手の練習相手となる為、手弁当にて大勢で参加しています。これも、伝統校故の引き継がれた歴史だと思います。OB諸兄は

伝統校であり、強豪校と呼ばれる日を待ち望んでいます。紳士（真摯）であれ、勝つに相応しいチームであれ、部員たちは厳しい顧問先生の指導の下、ただ技術的に優秀な選手を育成するだけではなく、将来、社会人として活躍できる人間形成の場としても、有意義な時間を過ごしていると思います。

今年は、女子部も活躍し、創設時はチームを組む事も厳しかった時代もありましたが、今はその当時の女子部員もOGとして、後輩の指導にあたっています、また新たな歴史を築いて行くことでしょう。最後に、試合の都度、応援して頂いている応援指導班の学生及び引率のOB・顧問の先生に御礼申し上げます。



新世輝  
俳優  
高橋信康

（昭和六十一年卒）  
（歴史研究部OB）

# 歴史研究部 OB会

昭和56年卒  
副会長 白畑 尚志

今年の歴研OB会は、6月15日午後4時より、神田の紫紺館6階「ラウンジ明治」において、現在の顧問である栗野先生を含め、27名の参加を得て執り行われました。梅雨にも関わらず、真夏を思わせる日差しの強い日でしたが、昨年同様の参加者数となり、盛況なイベントとなりました。

歴研OB会の特徴の一つは、伊藤先生、保坂先生、そして現顧問の栗野先生の指導の下、縦のつながりを大事に

する伝統が脈々と流れていることです。今回のOB会も昭和26年卒（第2回生）の齋藤英二氏から平成19年卒（第58回生）の最上達也氏まで、実に56年の時空を超えた縦のつながりを具現したものでした。

もう一つの特徴は、やはり歴史、そして歴史を体感するのに欠かせない旅好きの集まりだということです。当日は限られた時間の中で、学生時代のクラブ活動の思い出を語ってもらいましたが、合宿や文化祭の展示発表の思い出が多かったように思います。前述の通り、縦のつながりも重んじるクラブですから、一番の思い出として、先輩達にいたずらを語らずにはいられない方々もいました・・・

思い出語りに続いて、平成5年卒（第44回生）の高木征太郎氏が、自ら制作に関わった「のぼうの城」の制作秘話を、一部映像とともに紹介してくれました。現在の埼玉県行田市に有った城で、その領主成田氏一門の成田長親を取り上げた映画です。作品名は長親が領民から「でくのぼう」を意味する「のぼう様」と親しみを込めて呼ばれていたことから来ているそうです。実は、東日本大震災の年の9月に公開予定だったそうですが、水攻めシーンが有ることからさすがに延期になったそうです。そして、昨年11月に公開されるや、第一週、第二週と観客動員数連続1位になったそうです。皆さんも是非観てください。

今、最大の頭痛の種は、現役の部員数がとても少ないことです。栗野先生曰く、調布に移転してからは、運動部の活動が盛んで、文化部は勧誘に苦戦しているとのこと。何か手伝えないかと詰め寄るOBに、栗野先生は今しばらく見守ってほしいとおっしゃられ、募る思いを抑えつつ、先生を信じて、皆、夕方の明るいうちに帰路につきました。





## 明高写真部OB会

写真部OBの皆さん、ご連絡お待ちしております。

写真部OB会発足委員 栗田 茂 (昭和44年卒)

連絡先：携帯 090-3138-5692

FAX 03-3677-2425

Email: kurishige@pop12.odn.ne.jp

## 祝 第49回 総明会総会 明治大学付属明治高等学校 應援團OB会

会 長 高村 光昭 (昭和37年卒)

評議員 田村 正彦 (昭和30年卒)

め イン ター ハ イ 関 東 大 学 会	幹 事										ス キ ー 部 OB 会 明 雪 会
	事務局長	岡本	服部	新橋	井上	小山	山田	藤井	大出	佐藤	顧問
印田	五十嵐	岡本	服部	新橋	井上	小山	山田	藤井	大出	佐藤	顧問
誠 (平10年卒)	公一 (昭54年卒)	雅仁 (昭51年卒)	憲一 (昭50年卒)	広幸 (昭50年卒)	進治 (昭38年卒)	雅司 (昭37年卒)	和孝 (昭36年卒)	英一 (昭32年卒)	育男 (昭31年卒)	健一 (昭31年卒)	顧問
深谷	市郎 (昭55年卒)	智雄 (昭56年卒)	浩樹 (昭57年卒)	剣 (昭62年卒)	鳴海	狩野	吉口	若松	弘昌 (昭39年卒)	哲明 (昭50年卒)	副会長
戸張	真壽 (昭46年卒)	毅 (昭47年卒)	名譽会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長

祝  
第49回総明会総会・懇親会

## 地理研究部OB会

名誉会長 牛久 順之 (昭和25年卒)

会 長 大塚 和哉 (昭和32年卒)

事務局長 堀井 雅俊 (昭和40年卒)

連絡先: k-koba@kind-ai.com

明治中学・高校水泳部OB会

## 明水会

会長 高澤 邦雄 (S41年卒)

新世輝  
野津真男

# 見 心 会

## 明治高校剣道部OB会

会長 矢光 善美 幹事 長 木村 茂  
副会長 中島 健一 監督 羽田 郁雄  
副会長 鈴木 幸男 監 伊藤 直孝

<http://www.geocities.co.jp/meijivolley/>

祝第49回総明会総会  
明治高校バレー部OB会  
顧問 山中禎一郎先生  
会長 片山 眞 (S39卒)  
副会長 小川 滋 (S44卒)  
副会長 岡永 健二 (H4卒)  
幹事 長 服部 雄二 (S44卒)  
幹事 長補佐 岩崎 広人 (S57卒)  
事務局 長 酒井 孝憲 (S40卒)  
事務局 長補佐 樋田 哲次 (S52卒)  
事務局 長補佐 山本 直之 (H8卒)  
若手育成担当 安藤 信夫 (S56卒)  
会計 加藤 裕司 (H8卒)  
HP担当 阿部 徹也 (H11卒)

## 明治高校バスケット部OB会

めざせ!! インターハイ出場!  
行くぞ! 関東大会!

名誉顧問 山口 栄藏  
晨 匡一郎

OB会会長 吉田 博 (S51卒)  
副会長 米田 晴彦 (S53卒)  
木戸 基満 (S57卒)  
山下 康彦 (H4卒)

総務部長  
木戸 基満  
(S57卒)

RBC部長  
小柳 貴裕  
(S63卒)

財務部長  
門川 隆之  
(S58卒)

監 査  
並木 功  
(S58卒)

# ごとう会

昭和52年卒  
男子校根性組大西 静士郎



1995年に退職された後藤朋智先生(化学)を囲んで、当時の教え子たちをはじめとする先生にお世話になった者たちが集う「ごとう会」が、今年も五月十日(金)に西新宿のホテル ハイアットリージェンシー 東京5階の宴会場『宮城野』で開催されました。今年のごとう会は五十日の金曜日だったのですが、それでも四十人を超える方々にご出席いただきました。後藤先生も美恵子奥様とともに元気な姿を見せてくれました。

例年のごとく、今年も特に凝った催しものをする事もなく、なかつたのですが(幹事が楽をしております。すみませぬ)、先生ご夫妻を囲んでの近況報告や学生時代の思い出話、そして美味しい料理とお酒があれば十分盛りあがると言わんばかりに、楽しいひとときを過ごすごうできました。

会場の雰囲気も良く、楽し

く盛りあがることができましたのも、多くの方々の「尽力のおかげ」と感謝しています。ありがとうございました。

この会も今年で18回目(2010年に15回目と確認したから大丈夫……のはずです。この時の顛末をお知りになりたい方は、2010年の会報を参照のこと)を迎えることができました。先生ご夫妻も相変わらずお元気です。で、20回、30回を目指して、と言っても肩ひじの張らない「ユルイ」会です。のんびりとやっていきたいと思っています。

なお、この会には有志による手作りの会のため、多くの皆様にお声をかけきれないと思います。これを読まれて、後藤先生にお会いしたいとお思いになられた方は、ご連絡なく事務局(08-2261-235・大西)までお問い合わせください。

来年も五月十日に『ごとう会』を開催する予定です。



# 卯の木会

昭和50年卒  
会長 桑崎 安弘



卯の木会は、我々が高校3年生の時に硬式野球部の監督さんでありました、「卯木さんを守る会」という名前で発足しました。一番最初の集まりは、昭和49年1月3日に硬式野球部員(昭和50年卒11名、昭和51年卒6名)が卯木さんのご自宅に招かれたのが最初の新年会です。

当時は酒はもちろん飲めませんでしたので、京子夫人の手料理をたらふく頂きました。

その後も毎年新年会にお招き頂きましたが、人数がどんどん増えて30名ぐらいでお邪魔した事もあり、これ以上増えたらまずいとの事で、南千住の金太郎寿司や浅草のふぐやなどで開催して参りました。

平成13年からは、我々の同期の須藤さんがいらっしました「浦安プライトンホテル」で開催しており、早いもので、来年は40回目を迎えます。区切りの年になりますの

で、今後の開催場所、イヴェント等々また新しいスタイルで、NEW卯の木会を提案して参ります。

卯の木会は当初は野球部OBの集まりでしたが、卯木さんが明治中学、明治高校に1日でも在籍した方、または会員の推薦があればOKという非常に懐の大きな会則を作って頂きましたので、ようは明治が好きで、仲間が好きなので方々に参加して頂いております。

卯木さんがお亡くなりになつてからも、遺言でありました「俺が死んでも卯の木会は永遠に続けろー」「何故なら俺じゃなくてお前達の会なんだからな!」という言葉を忘れずに会を永続してゆく所存です。

また昨年我々の同期の眞利子さんが永眠されましたが、今年の卯の木会には節子夫人と息子の将太君を迎えて開催

する事ができました。何故なら眞利子さんのご家族もみんな仲間なんだという、卯木精神にあります。

これからも卯木さんに教えて頂きましたさまざまな人生教訓を、少しでも広めていければと考えております。

「仲間を大事にして、お金を使うのなら仲間の所へ落とせ」「男の価値は死んだ時にしか分からない、義理の花輪の数じゃなくてどれだけたくさんの人が来てくれるのかなんだ」「男の人生・義理と人情とやせ我慢」等々、卯木語録はたくさんございますが、少しでも卯木精神を継承し明治高校や総明会に恩返し出来ればと考えておりますので、これからも宜しくお願い致します。



## 第3回ヤマダ大感謝祭

昭和50年卒  
明紫会 三森 勲

2013年4月27日(土)、  
明治大学アカデミーコモンに  
て「第3回ヤマダ大感謝祭」  
が開催されました。

今回のテーマは「ノブオ教  
諭の白熱教室」!! 副題とし  
てユーモアたっぷりの『世界  
最高の知性が学ぶ明治高校  
数理哲学のノブオ・ヤマダ教  
諭は、これまでの原則を覆し、  
初めて授業の公開に踏み切っ  
た。講義名は、「酒と女とバラ」  
ならず「日本の教育をダメに  
したゆとり教育」。

山田先生が教師として明治  
中学高等学校時代にしたこと  
を赤裸々に語った。いかにし  
てゆとり教育から明治中学高  
等学校を守ったか。文科省と  
の議論の熱弁に、往年の教え  
子たちは大爆笑! 久々のノ  
ブオ節を堪能した!

また数学の教諭として半径  
10cm正十二角形を囲む円と正  
十二角形の面積を求める課題  
が出され、卒業後20年以上  
経た社会で活躍する教え子た  
ちは頭をひねりながら答えを  
導き出そうと無駄な努力をし  
ていました。(笑)

さて今回集まった教え子た  
ちは約60名! 授業の後は楽  
しい楽しい懇親会です。久々  
にいらした教え子と懐かしげ  
にお話をする山田先生のお姿  
が印象的でした。

特別ゲストとして私たちが  
生徒の頃、事務室にいらした  
天下井さんもお見えになり山  
田先生も大喜び!!

教え子たちと美酒を酌み交  
わし、相変わらずの下ネタを  
披露する先生のトークに大賑  
わいの2時間があっという間  
に過ぎ、校歌斉唱で幕を閉じ  
ました。

第4回ヤマダ大感謝祭は平  
成26年4月26日(土)に開催  
します。場所は未定ですが、  
教え子の皆さん、奮って参加  
してください。



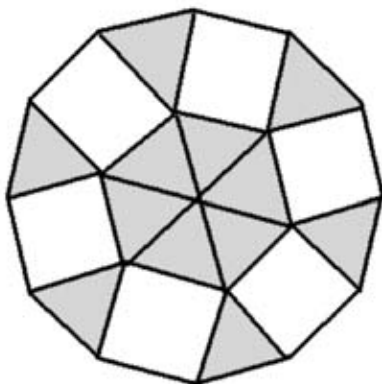
## 【宿題】

◆提出日:平成26年4月26日(土) ◆返却日:平成27年4月25日(土)

一辺の長さが1の正十二角形の面積を  
次の2つの方法によって求めなさい。

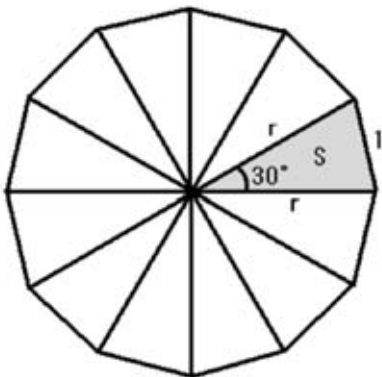
### 問1

下図のように正三角形と正方形を正十二角形の内部に隙間なく敷き詰めることができます。美しいですね。万華鏡を覗いている気分になります。図を参考にして面積を求めてください。



### 問2

正十二角形を下図のように二等辺三角形(中心角 $30^\circ$ )12個に分割し、面積を求めました。1つの二等辺三角形の面積を求めるには三角関数の余弦定理を用います。明治高校では全生徒に正弦定理、余弦定理を学びました。(笑)



## ヤマダ大感謝祭

毎年4月の最終土曜日に開催

第4回は平成26(2014)年4月26日(土)に開催予定

お問合せ先: 昭和61年卒 新世輝 鶏飼友義

ugatomo@gmail.com



## 明治高校を 甲子園に送る会

昭和55年卒  
紫魂会 渡辺 裕之



第49回総明会総会・懇親会の開催、誠にありがとうございました。  
私も「明治高校を甲子園に送る会」は、古豪明治の復活を信じ、明治野球を愛してやまない有志の集まりです。



毎年、夏の西東京大会の前に甲子園出場を目指して「野球部父母会」「明球会」と共催で激励会を行なっております。本年も去る6月22日に明治大学野球部合宿所食堂にて、盛会のうちに無事執り行われました。年々選手たちの甲子園への意識も高まって来ております。この会報が皆様の手に届く頃には、甲子園も終わっていますが、この夏の思い出として明治高校硬式野球部が皆様の記憶に残る活躍をしてくれるものと信じております。

## 明高野球部を甲子園に送る会

会長 山 浦 晟 暉

(株)東京フジカラー 代表取締役  
(昭和29年卒)

祝 第49回総明会総会  
がんばれ新世輝

## 歴史研究部OB会

会 長 鴨下 裕彦(昭和56年卒) 事務局 渡辺 隆之(昭和59年卒)  
副会長 白畑 尚志(昭和56年卒) 事務局兼会計 土田 正昭(昭和61年卒)  
副会長 安達 俊幸(昭和57年卒)

祝 第49回総明会総会

## 明治高等学校卓球部OB会

会長 高橋正侑(昭和38年卒)

## 図書班OB会

祝第四十九回総明会総会・懇親会

連絡先 平田 幸彦

〇三・三・五八九・〇六八七

大西 静士郎

〇九〇・一・二・四三・一・二・三・五

## 硬式野球部OB会

## 明 球 会

会長 一 泉 二 郎 (昭和51年卒)

ホームページURL <http://o-meiji.com/>

事務局連絡 E-mail: mail@o-meiji.com

祝 第49回総明会 総会・懇親会

## 吹奏楽班OB・OG会

会 長 齊 木 麻 州 男  
(昭和56年卒)

加藤一也税理士事務所

# 加藤一也

昭和39年卒

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-25-8 第2扇屋ビル  
TEL.03-3910-8683 FAX.03-3910-8441

〔不動産みどりの窓口〕

有限会社 扇屋商事  
東京都知事免許 (14) 4606号

代表取締役 野田彰造  
(昭和39年卒 39会)

〒170-0002  
東京都豊島区巣鴨1-18-11  
☎ (03) 3945-0911(代)  
ファックス 3947-0555



建築設計監理

有限会社 日生建築設計事務所

代表取締役  
一般建築士

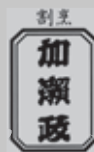
戸張 毅  
(四七四七同志会)

〒170-0002  
東京都豊島区巣鴨三丁目5番18号  
TEL (03) 5907-6030  
FAX (03) 5907-6033  
E-mail: nao.111@themis.ocn.ne.jp

## 明治の伝統が息づく街



“巣鴨とげぬき地蔵通り商店街”



〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-14-16  
TEL 03-3918-1286  
代表取締役 渡邊 博  
(昭和49年卒 翼明会)

お食事と甘味  
**豚たけやま**

池田 曜  
(昭和61年卒 新世輝)

〒170-0002  
東京都豊島区巣鴨3-37-2  
tel&fax 03-3915-5709

日本料理・鰻

日本橋 星重

昭和31年卒 府川 利幸

中央区八重洲1-4-10

tel.03-3271-7177



酒類・食料品

株式会社 丸信鈴木

昭和34年卒 鈴木 信光

中央区日本橋2-2-21

tel.03-3271-4060

青果・納品

有限会社 高木商店

昭和38年卒 高木 正之

中央区日本橋1-8-5

tel.03-3271-5800

レストラン

日本橋 東洋

昭和39年卒 北村 元嘯

中央区日本橋1-2-10

tel.03-3271-6011

世代をこえた繋がり  
明中明高の憩いの街角  
日本橋

日本橋  
吉野 鮎本店

高島屋さん 真裏通り



昭和61年卒 新世輝

吉野 正敏

中央区日本橋3-8-11

tel.03-3274-3001

wine music

vino e IL raccolta

昭和61年卒 新世輝

長谷川 隆洋

中央区日本橋2-9-6

tel.03-3231-0610

# 平成25年度総明会活動報告

平成25年度総明会 役員一覧

平成25年度総明会 評議員一覧

平成25年度総明会 活動報告

平成25年度総明会 会計報告

総会委員会 活動報告

会報委員会 活動報告

企画委員会 活動報告

組織委員会 活動報告

総務委員会 活動報告

広報委員会 活動報告

周年委員会 活動報告

名簿委員会 活動報告

第19回チャリティーゴルフ大会

前年度幹事学年挨拶

次年度幹事学年挨拶

幹事学年挨拶

第49回総明会 御寄付者一覧

100周年記念事業寄付への御礼

幹事学年 寄付者一覧

委員会・役職	年 卒	氏 名 (敬称略)
名誉会長	昭和36年卒	向殿 政男
顧問	明治高校校長	金子 光男
顧問	昭和21年卒	小林 昭雄
顧問	昭和29年卒	山浦 晟暉
顧問	昭和32年卒	山崎 敬生
顧問	昭和43年卒	佐久間洋一
顧問	昭和44年卒	服部 雄二
監 事	昭和39年卒	佐藤 仁
監 事	昭和49年卒	佐藤 眞弘

会長	昭和41年卒	尾島育四郎
副会長	昭和44年卒	関谷 芳久
副会長	昭和45年卒	吉田耕太郎
副会長	昭和51年卒	井家上哲史
専務理事	昭和50年卒	山崎 秀樹
常務理事	昭和43年卒	中村 正容
事務局長	昭和54年卒	熊倉 章雄
会計	昭和56年卒	狩野 智雄
事務局 副事務局長	昭和54年卒	荒井 信之
総会委員会 委員長	昭和57年卒	染谷 貴男
副委員長	昭和59年卒	大山 輝芳
副委員長	昭和59年卒	平野 一哉
会報委員会 委員長	昭和56年卒	衛藤 雅一
副委員長	昭和56年卒	飯野 善明
副委員長	昭和57年卒	関川 一浩
副委員長	昭和59年卒	田中 重幸
ゴルフ委員会 委員長	昭和50年卒	近藤 敏彦
副委員長	昭和56年卒	鴨下 裕彦
副委員長	昭和58年卒	清水 鉄也
企画委員会 委員長	昭和57年卒	小林 謙之
組織委員会 委員長	昭和51年卒	上野 雅宏
副委員長	昭和58年卒	高橋 浩
総務委員会 委員長	昭和56年卒	須藤 貢一
副委員長	昭和56年卒	安藤 信夫
副委員長	昭和58年卒	秋間 聡郎
広報委員会 委員長	昭和52年卒	大西静士郎
副委員長	昭和57年卒	熊谷 康生
名簿委員会 委員長	昭和50年卒	吉武 孝生
周年委員会 委員長	昭和50年卒	桑崎 安弘
副委員長	昭和63年卒	光岡 孝之



# 平成25年度総明会 評議員一覧

## 同期会

敬称略

卒業年	名称	氏名	氏名	卒業年	名称	氏名	氏名
昭和11年		板垣 忠吉		昭和54年	明誠	志村 和哉	水上 泰良
昭和12年		中富 光國		昭和55年	紫魂	大迫 好孝	波辺 裕之
昭和15年	明 中 2 6 会	三笠 光人		昭和56年	明翔	寺村 一義	蓬田 裕一
昭和19年		鈴木 昌雄	齊藤 久也	昭和57年	明明	岩崎 広人	田中 幹浩
昭和21-22年	午 巳 の 会	小内 昭雄		昭和58年	明輪	達宏 重幸	高橋 浩
昭和24年		小川 功	高橋 信雄	昭和59年	明心	田中 幸裕	渡邊 文夫
昭和25年	明 二 会	内藤 玉城	高橋 武二	昭和60年	明世	大塚 山	高橋 柴
昭和26年	明 二 会	熊井 実	寺村 幹夫	昭和61年	新 世	山 鵜飼	友義 栗本
昭和27年	明 高 会	米山 耕右	渡邊 欣生	昭和62年			
昭和28年	明 高 会	戸田 一郎	渡邊 持丸	昭和63年	昭和 戊辰 乃会	光岡 孝之	米持 貴史
八丈島高校	明 八 会	高橋 和夫	宇田 正義	平成元年			
昭和29年	2 9 会	小川 彰之	橋岡 川雄弘	平成2年		森 正樹	鈴木 弘和
昭和30年		石田 彰之	佐藤 健一	平成3年		山口 一郎	斎藤 直宏
昭和31年	明 楽 会	大出 育男	山崎 敬生	平成4年	快汗、どすこい塾	小畑 安藤	福田 浩茂
昭和32年	明 治 会	天野 善正	鈴木 寿雄	平成5年		高利 哲也	長野 吉克
昭和33年	三 旧 会	藤田 義茂		平成6年		新村 哲也	河村 健一
昭和34年	三 雨 の 会	加藤 佳一	倉林 貞夫	平成7年		石田 頼典	金子 敦史
昭和35年	瑚 翔 の 会	加藤 洋一	谷 正之	平成8年		青木 大樹	三村 小谷
昭和36年	明 駿 7 会	戸田 眞義	中村 哲士	平成9年	紫 雲 8 会	香川 満洋	平田 健志
昭和37年	明 3 会	阿部 誠樹	三浦 昭生	平成10年	9 哲 会	秋山 光徳	小畑 仁
昭和38年	二 年 に 一 会	高橋 正佑	堀 健一	平成11年	明 治 2 1 会	石川 一仁	戸邊 寛
昭和39年	三 明 会	佐藤 正行	大関 清人	平成12年		玉木 万理夫	保科 大輔
昭和40年	4 1 明 友 会	小川 秀次	菊本 哲也	平成13年		大橋 康仁	岡庭 良臣
昭和41年		新村 保男	結城 康郎	平成14年		上原 康介	武 雄一郎
昭和42年	M 紫 1 会	小田嶋 孝樹	寺田 康夫	平成15年		大川 将史	徳竹 正憲
昭和43年	紫 坂 俱 楽 部	中河 隆史	山形 康夫	平成16年		杉田 隆信	室井 純
昭和44年	明 子 会	金子 敏一	木村 茂	平成17年	白 雲 会	荒川 佳史	山崎 裕貴
昭和45年	明 潮 会	内田 茂	廣野 宏士	平成18年		角田 惇吾	横倉 光輝
昭和46年	波 七 同 志 会	内田 重明	海老根 一介	平成19年		早川 貴之	渡邊 主
昭和47年	四 七 同 志 会	雨海 和夫	大前 実之	平成20年		大森 亨太郎	加藤 敦
昭和48年	明 紫 々 会	三森 勲	窪寺 弘匡	平成21年	明 雄 会	佐藤 裕貴	亀屋 将紀
昭和49年	明 紫 々 会	前田 一郎	山田 眞也	平成22年		平田 三浦	春山 愛美
昭和50年	明 子 校 根 性 組	黒田 理樹	小嶋 真作	平成23年		岡 志寛	市川 陸
昭和51年	紫 友 会	加藤 裕之		平成24年			押田 華穂
昭和52年				平成25年			
昭和53年							

## 班部OB会

名称	氏名	名称	氏名
生徒 徒 会 本 部 班 長 谷 川 裕		庭 バ レ 球 部 奈 良 部 昭	
心 援 指 間 導 班 村 正 哲		新 奏 書 楽 班 山 正 雄	
吹 奏 奏 楽 班 西 山 光 彦		図 書 班 齊 麻 州 男	
放 送 心 会 班 宮 田 幸 彦		剣 道 部 ( 見 心 会 ) 鈴 木 幸 男	
硬 式 野 球 部 ( 明 球 会 ) 高 澤 洋 一		柔 道 部 ( 明 水 会 ) 戸 張 毅	
ス キ ー 部 ( 明 雪 会 ) 山 崎 泰 夫		卓 球 部 ( 明 卓 会 ) 山 崎 泰 夫	
		庭 バ レ 球 部 奈 良 部 昭	
		フ ェ ン シ ン グ 部 哲 次 雄	
		陸 上 競 技 部 勝 博	
		バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部 弘 資	
		囲 碁 部 八 進	
		化 物 理 部 ( 明 物 会 ) 休 謙	
		マ ン ド リ ン 部 小 林 謙	
		地 理 研 究 部 土 田 正	
		歴 史 研 究 部 武 藤 仁	
		アイスホッケー愛好会(明水会) 横 谷 昌 明	
		J R C	

## 平成25年度 活動報告

総明会 専務理事 山崎 秀樹

「新しい1000年へ—今を  
知り、明日を考える。」をテ  
ーマに第48回総明会総会・懇  
親会は平成24年11月25日にハ  
イアットリージェンシー東京  
において開催されました。

母校明治高校創立100  
周年の年に幹事学年となった  
昭和60年卒「闘組会」の準備・  
運営のもと、「来賓、明治高  
校・中学校関係者、総明会会  
員の皆様に多数」ご出席いた  
さましたことに厚く御礼申し  
上げます。ありがとうございます。

さて、母校100周年を  
記念した総明会行事も無事に  
完結し、本年度の活動は落ち  
着きを取り戻したものとなり  
ました。2月には明治高校3  
年生を対象とした総明会説明

会を実施し、3月の卒業式、  
4月の入学式に本部役員が出  
席し、尾島会長が総明会を代  
表して祝辞を述べさせて頂き  
ました。また、明大中野校友  
会「武陵会」総会への出席や  
役員との懇親会を継続するこ  
とで交流を深めてまいりまし  
た。

母校へのチャリティーと総  
明会の会員親睦を目的とした  
ゴルフコンペは、過去最多  
141名という参加者を集め、  
千葉新日本ゴルフ倶楽部にお  
いて開催されました。当日は  
好天に恵まれる絶好のゴルフ  
日和となり、紫紺の旗の下に  
集った同期や先輩後輩どうし、  
各組で和気あいあいのラウン  
ドが繰り広げられました。来  
年は20回を記念する大会とな  
りますので、より多くの皆様  
のご参加をお待ちしておりま  
す。

## 平成24(2012)年

- 11月25日 総会・懇親会 (ハイアットリージェンシー 東京)
- 12月8日 忘年会

## 平成25(2013)年

- 1月18日 第一回理事会
- 1月24日 第一回評議員会
- 2月19日 高校3年生対象総明会説明会
- 2月22日 武陵会懇親会
- 3月10日 明治高校卒業式
- 3月15日 第二回理事会
- 3月16日 新卒業クラス委員との昼食会
- 3月22日 第二回評議員会
- 4月6日 明治高校入学式
- 5月17日 第三回理事会
- 5月18日 武陵会総会 (明大中野高校)
- 6月1日 第17回総明会チャリティーゴルフ
- 6月22日 白駿会総会 (京王プラザホテル)
- 7月6日 評議員・班クラブOB・OG会
- 7月19日 第四回理事会
- 10月11日 第五回理事会
- 10月18日 第三回評議員会

さて、総明会は来年設立50  
年を迎えることとなります。  
現在、周年委員会を中心に、  
理事会においてその記念事業  
について検討を重ねておりま  
す。同窓会という組織が50年  
という歴史を刻むことは他に  
も例があると思いますが、

卒業生の手から手に、年々  
大きく発展している同窓会は  
私学の中でも群を抜くものと  
自負しております。  
何卒、総明会50年記念事業  
にあたりご協力を頂けますよ  
う、よろしくお願い申し上げ  
ます。

総明会 平成24年度 一般会計報告  
(自)平成24年4月1日 ～ (至)平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	9,103,528 円	会議費	625,446 円
新入会員入会金	2,640,000 円	交流費(学校、他)	935,460 円
新入会員永久会費	2,640,000 円	通信費	1,103,671 円
学年会費	735,000 円	小会旗	500,000 円
雑入(会議費、他)	439,000 円	各委員会活動費	966,360 円
雑入(ゴルフ委員会)	3,610 円	雑費	50,000 円
寄付金	78,000 円	基金へ組入れ	1,500,000 円
預金利息	3,293 円	次年度繰越金	9,961,494 円
合 計	15,642,431 円	合 計	15,642,431 円

総明会 平成24年度 基金会計報告  
(自)平成24年4月1日 ～ (至)平成25年3月31日

基金区分	平成23年度末残金	平成24年度増減額	摘要	平成24年度末残金
事業遂行基金	8,847,206 円	1,500,000 円	一般会計から繰入	10,347,206 円
財政基盤基金	△ 10,000,000 円	17,671,000 円	100周年特別基金より繰入	
		△ 7,155,000 円	明治高校100周年へ寄付	516,000 円
100周年記念事業特別基金	17,671,000 円	△ 17,671,000 円	財政基盤基金へ振替	0 円

上記のとおり報告致します。

平成25年 3月31日 会 長 尾 島 育 四 郎 会 計 狩 野 智 雄  
監査の結果相違ありません。  
平成25年 6月14日 監 査 佐 藤 仁 監 査 佐 藤 眞 弘

総明会 平成25年度 一般会計予算(案)  
(自)平成25年4月1日 ～ (至)平成26年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	9,961,494 円	会議費	600,000 円
新入会員入会金	2,500,000 円	交流費(学校、他)	1,460,000 円
新入会員永久会費	2,500,000 円	通信費	1,150,000 円
学年会費	800,000 円	各委員会活動費	1,291,000 円
雑入(会議費、他)	700,000 円	雑費	100,000 円
雑入(寄付金・利息)	130,851 円	基金へ組入れ	2,000,000 円
		次年度繰越金	9,991,345 円
合 計	16,592,345 円	合 計	16,592,345 円

総明会 平成25年度 基金会計予算(案)  
(自)平成25年4月1日 ～ (至)平成26年3月31日

基金区分	平成24年度末残金	平成25年度増減額	摘要	平成25年度末残金
事業遂行基金	10,347,206 円	2,000,000 円	一般会計から50周年事業の為繰入	12,347,206 円
財政基盤基金	516,000 円	0 円		516,000 円

第48回 総明会 特別会計報告  
(自)平成24年4月1日 ～ (至)平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	3,267,860 円	総会関係費	4,792,956 円
総明会より助成金	1,006,648 円	会報関係費	3,389,139 円
寄付・広告	6,954,931 円	運営関係費	3,047,344 円
合 計	11,229,439 円	合 計	11,229,439 円

第49回 総明会 特別会計予算(案)  
(自)平成25年4月1日 ～ (至)平成26年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	3,150,000 円	総会関係費	4,250,000 円
総明会より助成金	1,050,000 円	会報関係費	3,300,000 円
寄付・広告	6,500,000 円	運営関係費	3,150,000 円
合 計	10,700,000 円	合 計	10,700,000 円

# 総会委員会 活動報告

総明会 総会委員長 染谷 貴男

総会委員会を担当しております。まず、昭和57年卒（明魂会）染谷貴男で御座います。第49回総明会総会・懇親会の開催、誠にありがとうございました。

昭和61年卒「新世輝」のみなさんは今年と言うより昨年の早い内から、総明会の集まりには必ず誰かが顔を出してくれており、特に鶴飼実行委員長・土田正昭君・栗本宣長君の三人は大変な苦勞をされたかと思えます。当時「なかなか人が集まらない」なんて心配していた事が嘘のように、今では他のメンバーを含めた皆さんの勢いを凄く感じています。この1年間（2年間？）お疲れ様でした。

今年の総会委員会は、昨年同様に育成部門を大山輝芳副

委員長（昭和59年明心会）が、後輩諸君との連絡を密にし、次年度以降の学年の皆さん達に意識を持って貰う為に汗水垂らして頑張っております。

また総会部門に関しては平野一哉副委員長（昭和59年卒明心会）が総会・懇親会に関する事柄や、またそれ以外の事でも幹事学年の不安・不満を一手に引き受けて、様々なアドバイスをしている様です。また二人の副委員長に加えて、同じく明心会の藤原輝夫君にも加わって頂き、私を含め3人の手が回らない所を細かくフォローして貰っております。

さて「幹事学年」は、ある意味その学年の晴舞台である

と思っております。その晴舞台・大舞台を迎える学年が、早くから総明会と言う組織を理解し、雰囲気慣れ貰い、全力で一年を突っ走れる様、総会委員会としてサポートが出来ればと思っております。

今年の幹事学年「新世輝」は「頂きを目指す。繋がる伝統を世界へ」をテーマとし、「新しい未来へ」「次のステップを目指す」という思いでこの1年を活動してこられ、まさに明治高校創立101年目のスタートとして相応しい学年と言えるのではないのでしょうか。

1万数千名のOBの皆様の想いと幹事学年の汗の結晶が、総会・懇親会当日に西新

宿ハイアットリージェンシー東京にて花開くのを祈念して、挨拶とさせて頂きます。本当に一年間、お疲れ様でした。有難う御座いました。

## 会報委員会 活動報告

総明会 会報委員長 衛藤雅一

### 「紫紺の腕章」

ゴルフ委員の皆さんは、ゴルフコンペやその他委員会活動の際に紺のブレザーを着用し、胸にエンブレムをつけて活動をされています。

我々会報委員会は、学校行事や総明会行事における取材の際には「紫紺の腕章」を着用しています。

総明会の行事ではまだしも、学校行事にお邪魔する時には怪しい？オジサンたちが写真撮影をしていると「あいつらは一体何者なんだ！」ということにもなりかねません。会報にすこしでも良い記事や写真を掲載して総明会会員の皆さんに御覧いただきたいという想いからついつい写真を撮



るのに熱中してしまいます。学校関係者の皆様やご父兄の皆様は総明会会報委員会の取材活動であることを判っていただく為に平成22年に腕章を作成し、平成23年の取材から使用しています。腕章をつけての取材活動も3年目に入り、次第に認知度もアップしてきましたようです。

腕章は、現時点ではまだまだ総明会会報委員会の活動を理解していただくための目印でしょうか。しかし、これから先は会報委員会の伝

統を引き継ぎ次代に伝えていく「バトン」の役割になってくれたらと思っています。

会報委員会の「ご子息が将来母校に入学、卒業して総明会会報委員になり腕章をつけて会報委員会の活動をする親子2世代、3世代。このようなことも決して夢ではありません。現在と未来、親と子を繋ぐ絆になってもらえたら素晴らしいと思います。

それでは最後に、簡単に会報委員会の活動報告をさせていただきます。

昨年11月には母校創立100周年記念式典が開催され、その様子を始めて「号外」という形で作成し、総会懇親会のときに会場で配布をさせていただきました。式典から発行まで非常に短時間ではありましたが式典にご出席いただけなかった皆様へ当日の様子をご紹介できたと思っています。

今年の幹事学年においては、母校が創立100年を迎えるということと「頂を目指す。繋がる伝統を世界へ」というテーマに沿って特集を組み、会報を作成しました。これまでの伝統を引き継いできたなかにも新しい切り口があるかもしれないので是非最後までお読みください。

このように会報委員会もこれまでの長い伝統の上に新たな取組を加え進化を続けてきております。これからも皆様方に「協力を御願います」とがあるかと思いますが是非とも「理解いただき」「協力をいただきますよう御願ひ申し上げます。

また、総明会も設立50周年を迎えるということもあり会報委員会でもこれからそこを焦点にして活動をすすめていきたいと考えていますので併せてご協力を御願ひいたします。

## 企画委員会 活動報告「明朗会」報告

総明会 企画委員長 小林 謙之

昨年は明治高校創立100周年にあたり、恒例の明朗会は、九月二十九日（土）、銀座のグランドキャバレー『白いばら』で盛大に開催されました。『白いばら』は昭和の風情を残し生バンドと華やかなショーで多くのファンをもつ老舗のキャバレーです。

夕方6時より、尾島会長の挨拶で開会となり、昭和25年卒明二会の牛久先輩に乾杯のご挨拶を頂きました。そしてホステスさん入場です。このホステスさんは皆、出身地を書いた名札をつけていて、北は北海道、南は沖縄までどこ出身か、わかって話ができる面白いシステムです。そんなこともあり、ご歓談の時間は、大変盛り上がりおりました。ご歓談の後、お店のご

厚意でイベントゲームを行いました。各年代の代表の方5名がホールに出て、ホステスさんと一緒にトイレットペーパー巻取るタイムレースです。普段厳格な先輩方が、音楽に合わせて一所懸命トイレットペーパーを巻き取る姿に周りの先輩方も大盛り上がり。優勝は、昭和45年卒の桜井先輩でした。その後、ひとときご歓談の時間があり、8時頃からお店恒例のショータイムが始まりました。華やかなドレスやボンテージの衣装に包まれた踊り子さんたちが入替わり立ち替わり生演奏に合せ、迫力のダンスを披露して、諸先輩方の視線を釘付けにしておりました。ショータイムが終わるといよいよ会も佳境です。昭和47年卒の廣野先輩のりー

で明治高校校歌を斉唱。生バンド演奏の中、皆、手を高く掲げ『お、明治』が轟き渡り一般のお客様から拍手が起るほどでした。

今回の「明朗会」は、昭和44年卒の中河先輩のお口添えのお陰で、すばらしい会場で開催できました。本当に有難うございました。

また、お忙しい中、お手伝いを頂きました先輩、同期、幹事学年の方、そして、ご寄付・ご協力を賜りましたすべての皆様に感謝申し上げます、報告と致します。



## &lt;平成24年度「明朗会」ご参加の皆様&gt;

松倉 康信 (23年卒)	尾島 育四郎 (41年卒)	比留間 竹郎 (45年卒)	狩野 智雄 (56年卒)
牛久 順之 (25年卒)	菊池 博道 (41年卒)	小出 俊介 (45年卒)	鳴海 浩樹 (57年卒)
山本 峰司 (29年卒)	広瀬 準 (41年卒)	桜井 久昭 (45年卒)	鈴木 裕朗 (幹事学年)
石田 彰之 (30年卒)	中村 正容 (43年卒)	中村 裕次 (45年卒)	山田 啓明 (幹事学年)
大塚 和哉 (32年卒)	関谷 芳久 (44年卒)	廣野 宏士 (47年卒)	岡本 雅仁 (委員51年卒)
米山 武男 (33年卒)	藁谷 豊 (44年卒)	内田 茂 (47年卒)	小林 謙之 (委員57年卒)
丞村 裕次 (35年卒)	中河 孝樹 (44年卒)	戸張 毅 (47年卒)	
山田 和孝 (36年卒)	栗田 茂 (44年卒)	雨海 重明 (48年卒)	
矢口 博康 (36年卒)	亀岡 亨 (44年卒)	小田川 利久 (48年卒)	
中村 哲士 (37年卒)	佐伯 正 (44年卒)	山口 隆 (48年卒)	
三浦 昭生 (38年卒)	吉田 耕太郎 (45年卒)	上野 雅宏 (51年卒)	
小原 義久 (40年卒)	笹本 和義 (45年卒)	熊倉 章雄 (54年卒)	

## 組織委員会 活動報告

総明会 組織委員長 上野 雅宏

総明会で初めての職域同窓会「明大職員・教員明高会」を開催。

組織委員会では、学生を中心とした若手会員をサポートし、総明会全体の組織が盤石なものとなるよう種々の活動を行っていますが、今年は特に、総明会において初めての職域同窓会「明大職員・教員明高会」を開催致しましたので、以下にご紹介します。

明治大学には明治高校卒業生の職員・教員が37名ほど勤務している事が判明し、この皆様が一つの同窓会を組織出来ないかと考えました。向殿先生(明治大学校友会会長)に相談しましたところ、先生も「前から考えていた事は是非進めてくれないか」との賛同を頂戴しました。初めて

の職域同窓会の立ち上げという事で、総明会組織委員会が事務局となり平成25年7月13日(土)に新宿で第一回「明大職員・教員 明高会」を開催いたしました。夏休み直前という事で明大職員には多忙の方も多く、職員・教員合わせて8名の参加を得ました。

総明会からは吉田耕太郎副会長と上野組織委員長が出席し、初めての職域同窓会発足をお祝いました。

その他、組織委員会では次のような事業を行っております。

### 1. 総明会説明会

卒業を間近に控えた高校3年生を対象として総明会についての説明会を開催しております。毎年春先に明治高校へ出

向き、「総明会」の成り立ちや現在の活動、引いては明治高校卒業生としての心意気といったことを説明します。今期は平成25年2月19日に学校にて行いました。

### 2. 新卒会員(クラス委員)との昼食会

毎期、卒業生の中から今後同期の活動の要となるクラス委員が指名されます。今回は各クラスから男女1名、計16名が決まりました。組織委員会では、このクラス委員を通じて同期の繋がり・会の育成を計りますが、更に深く総明会を理解してもらうべく、総明会役員との昼食会を開催しています。今期は平成25年3月16日にクラス委員13名の出席を得て行いました。

### 3. 最初の同期会

組織委員会の最大の目標が大学卒業の時期に合わせた同

期会の開催です。社会人となって間もないうちは時間の自由がきかず、同期が一同に会することは難しいので、その前の大学卒業時の3月に同期会を開催するようサポートしています。今年は、明治高校を平成21年3月に卒業した諸君が大学卒業前に明治高校の食堂にて開催しました。

### 4. 若手の会

大学在学中の1～4学年のクラス委員同志の懇親を深めようというもので、「総明会」役員にも出席をいただき、毎年愉快なひとときを過ごしています。この会を通じて将来の「総明会」コアメンバーを育成したいと考えています。

このように、総明会組織の礎を構築すべく活動する組織委員会に対し、引き続きの「ご支援」ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 総務委員会 活動報告

総明会 総務委員長 須藤 貢一

総明会会員の皆様、いつも総明会活動に御協力頂き、誠にありがとうございました。

昨年は、明治高校創立100周年の記念行事も盛大に行われました。

本年度からは次の100年に向かう記念の年であります。総務委員会は、次の100年に微力ながらお手伝い出来ればと考えております。ところで、皆様の中には、総務委員会がどのような活動をしているか分からない会員の方々も大勢いらっしゃると思います。

大変簡単な説明で恐縮ですが、現在では以下の役割を総務委員会が担っております。

①年3回(1月、3月、10月)の総明会評議員会の準備及び運営

## 〈具体的業務〉

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務並びに評議員会での議事録作成を行います。

②評議員・班クラブOB・OG会懇親会(7月)の準備及び運営

## 〈具体的業務〉

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

③総会(11月)の議事録作成

④忘年会(12月)の準備及び運営

## 運営

忘年会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

以上ですが、会社の総務部等の部署を想像して頂くと、身近に感じて頂くことが出来ると思います。

常日頃、総明会会員の皆様の前に出て様々な業務を行うことも無く、縁の下で総明会を支えていく地味な委員会ですが、議事録の作成や各委員会との打合せ等、管理運営に関し大変重要な委員会ですので、総務委員全員誇りを持って活動しております。今後とも宜しくお願いします。



## 広報委員会 活動報告

総明会 広報委員長 大西 静士郎

皆様、いつも総明会の活動にご参加ご協力いただき、ありがとうございます。ここでは、広報委員会の活動についてご説明いたします。

広報委員会は、総明会ホームページの更新管理を担当しています。ホームページでは、総明会の各種情報、幹事学年の活動状況、各委員会からのイベント情報とその報告などを掲載し、会員の皆様にご覧いただくための情報を発信するように心がけています。

ホームページには、会員の皆様が直接情報を発信できる場として、連絡用掲示板、フリー掲示板を設けております。連絡用掲示板は、重要な伝達事項をはじめとする連絡事項を伝達するための伝言板として、フリー掲示板は部活やイベント情報はもちろん、そ

の他自由に情報発信できる場として利用していただきたいと思っております。最近ではOB会のご連絡やご報告、運動部の試合結果のご報告、イベントのご連絡、訃報などにご利用いただいております。

今後、広報委員会では、皆様の興味を引くような情報の掲載、情報掲載のスピードアップ、誰でもホームページを簡単に管理できるような改善を考えております。そのためにも、将来を見据えて、ホームページ運営の斬新なアイデアや新しい技術などを持った方を探しています。

これからも総明会ホームページへのご支援、ご協力をお願いするとともに、新しい力のご参加をお待ちしております。よろしく願います！

## 周年委員会 活動報告

総明会 周年委員長 桑崎 安弘

昭和50年卒、周年委員長の桑崎です。昨年は母校「明治高校・中学校」の100周年の記念式典を盛大に開催する事が出来たことを、まずは総明会会員の皆様に御礼申し上げます。

おめでたい年回りになりましたが、今度は来年2014年に総明会発足50周年を迎えます。

不思議なもので、今まで40周年も30周年も何もイヴェントは行われてこなかったとの事で、50周年の記念の年には、最初で最後ぐらいの気持ちで大きな事業を考えております。と申しますのは、50周年の記念誌を制作し発行してゆこうと準備委員会を毎月開催し、様々な検討をしております。まだまだ皆様には発表できる段階ではありませんが、各学年の先輩達にご苦勞されてきた、総明会の伝統を継承し、後世に残るような内容で、新

しい会員の皆様は総明会のルーツとしての貴重な文獻になるようにとの思いで検討しております。

また、2014年の50周年記念式典は、来年の総会、懇親会と一緒に開催できればいいのではと考えておりますので今後は幹事学年の皆さんと打ち合わせをしながら、企画を進めていきます。

基本的な方向性は、総明会のこれからの50年を支えてくれる若い会員の皆さん中心で考えております。

まだまだ企画段階での報告になりますが、50周年というのは当たり前ですが最初で最後になりますので、周年委員会や総明会会員の皆様の知恵と力をお借りして、すばらしいものに作り上げて参りたいと思っておりますので、皆様方のお力添えの程、宜しくお願い申し上げます。

## 名簿委員会 活動報告

総明会 名簿委員長 吉武孝生

名簿委員長の拝命を受けた後、引き受けたからには引越など住所がわからなくなってしまう総明会の会員に会報を届けなくてはいいけないと強く決意しました。その一心から、どうしても不明の住所をいち早く、また正確に調べるのに何かいい方法はないかと、普段使わない頭を使い考えてみました。

思いついた方法は、各同期会・班クラブBOBOG会のなかで名簿を管理されている方がいるはずであろうから、その方に名簿委員に「就任いただき、名簿委員会と各同期会・班クラブBOBOG会の名簿委員との連絡を直接取れる体制を構築できないだろうかと考えました。

各同期会からの情報を横軸

と考えますと、各班クラブBOBOG会からの情報は縦軸になります。

現在までの総明会の名簿の管理は最低でも、卒業年度・住所・氏名を把握することになりました。

これからは、現在の管理体制にプラスして明治高校・明治中学校の現役時代に所属していた班クラブを管理の中に織り込んでいきたいと思えます。

是非とも、これからは現役時代に所属していた班クラブも名簿委員会にお知らせください。

「名簿」が、皆さん一人ひとりと我が母校「明治」を繋ぐ一つの懸け橋となっているのをお忘れなく！

なお、皆さんの大事な個人

情報をお預かりしている責任と重圧は重々承知しております。

近年、個人情報流出や悪用といったニュースを聞きますと名簿に載せるのを躊躇される方もおられるのではないのでしょうか。

それでも、総明会のこれまでの歴史とこれからの未来のためには「名簿」の存在が欠かせないものであることをご理解いただくとともに皆さんの積極的な協力をお願いしたい所存であります。

もちろん、お預かりした個人情報には名簿委員会で厳重に管理いたします。

お引越の際には、住民票の変更と同じく総明会までご一報をよろしく願います。

# 第19回チャリティーゴルフ大会

昭和61年卒 新世輝 片桐 泰裕



尾島会長より恩師山田先生へ母校チャリティーの贈呈



ラウンド前の様子

総明会の年間行事として恒例となりましたチャリティーゴルフ大会も迎えて19回目。今年は6月1日(土)、千葉県市原市にある千葉新日本ゴルフ倶楽部を舞台に、恩師で当代会期会の名付け親でもいらつしやる山田伸夫先生をお迎えして開催されました。

開催直前に関東地方が梅雨入りし、直前まで天候が心配されましたが、天気予報は開催3日前に晴れに変わり、当日は快晴に恵まれる絶好のコンディション。過去最多であった昨年を更新する141名の参加者が紫紺の旗の一堂に会し、盛大に行われました。競技は新ペリア方式で行われ、個人戦、「学年対抗戦」に加え、昭和46年以前に卒業

された大先輩方による「大先輩名人戦」(名人戦・大名人戦)が繰り広げられたほか、ドラコン・ニアピン等各コンテストも行われました。

今年は昭和31年卒の大先輩から平成12年卒の後輩まで、幅広い年代のOB・関係者にご参加いただきましたが、基本的に同期・同世代が同組となつてのプレーです。好プレー・珍プレー続出に笑いの絶えないラウンドになったのではないのでしょうか。

表彰式では尾島会長の挨拶、学校へのチャリティー贈呈に続き、各賞の授与が行われ、入賞者の名前が呼ばれるたびに、歓声とどよめき、そして大きな拍手が沸き起こりました。

大会の締めくくりはもちろん校歌斉唱。昭和63年卒「昭和戊辰乃会」で応援団OBの



校歌斉唱



CHIBA SHINNIHON  
GOLF CLUB

千葉新日本ゴルフ倶楽部

〒290-0212 千葉県市原市新巻850

TEL : 0436-36-2131

スタート予約 : コース

0436-36-7297

<http://www.chibashinnihongc.jp/>

## 2012年度総明会活動報告

個人 順位戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	齊木麻州男	S 5 6	43	47	90	20.4	69.6
	準優勝	平田 昌治	S 5 6	38	36	74	2.4	71.6
	3 位	大野 久芳	S 5 8	40	43	83	10.8	72.2
	ベスト	平田 昌治	S 5 6	38	36	74		

学年 対抗戦	優 勝	S 4 6 明楽会	代表選手名				NET
			堀 直樹				
			木村 茂				
			齋藤 公義				
	準優勝	S 5 8 明輪会	清水 鉄也				222.8
			大野 久芳				
			田村 高志				
			中尾 憲則				
	3 位	S 4 3 紫雲会	小田嶋保男				223.0
			国井 孝重				

名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	小田嶋保男	S 4 3	41	45	86	13.2	72.8
	準優勝	堀 直樹	S 4 6	41	45	86	13.2	72.8
	3 位	齋藤 公義	S 4 6	36	45	81	7.2	73.8

大名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	高見 鉄夫	S 3 1	48	44	92	18.0	74.0
	準優勝	鈴木 慶一	S 3 4	49	50	99	24.0	75.0
	3 位	村嶋大三郎	S 3 4	45	47	92	16.8	75.2

(敬称略)

全25学年、先生及び父母会による「個人順位戦」、各学年代表者3名または選抜チームによる「学年対抗戦」のほか、「大先輩名人戦」として昭和38年卒から昭和46年卒までの先輩方による「名人戦」、昭和37年卒以前の先輩方による「大名人戦」が行われました。4位以下の方は誌面の関係上省略させていただきました。



個人戦優勝の齊木麻州男氏

光岡氏のリードにより、「白雲なびく」の大合唱と「フレ－フレ－明治」のエルがクラブハウスを包み込みました。

来年は総明会設立50周年という大きな節目であり、当チャリティーゴルフ大会も50回記念大会を迎えます。今年をさらに上回る多くのご参加を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、母校へのチャリティーにご協力いただきましたました参加者全員の皆様、ご協賛・ご寄付を賜りましたご提供者の皆様、ならびに素晴らしい会場をご提供いただき、当大会の運営にご協力いただきました千葉新日本ゴルフ倶楽部の吉田支配人様ほか皆様のおかげをもちまして大会が無事開催できましたことを大変感謝しております。書面をもちまして厚く御礼申し上げます。

## 寄付ご報告

### 金一封

山浦 晟暉 様	金壱万円
佐藤 健一 様	金壱万円
尾島 育四郎 様	金壱万円
中村 正容 様	金壱万円
関谷 芳久 様	金壱万円
吉田 耕太郎 様	金壱万円
平野 一哉 様	金壱万円
井上 光将 様	金伍千円

### 賞品寄贈

明楽会 様	バター2本
平野 一哉 様	ボストンバッグ、牛肉佃煮
宮井 俊樹 様(三井化学)	モンダミンカップ入場券4枚
千葉新日本ゴルフ倶楽部 様	キャディーバッグ

### 学校チャリティー報告

寄付	14万1千円
----	--------

※多大なご寄付とご協賛を賜り、誠に有難うございました。

## 前年度幹事学年挨拶

第48回総明会実行委員長 昭和60年卒 關紺会 鈴木重之

昭和61年卒「新世輝」のみ  
なさま、総明会第49回総会・  
懇親会の開催、まことにおも  
でと「さいます。昨年度幹  
事学年、昭和60年卒「關紺会」  
を代表いたしました一言「接  
拶申し上げます。

昨年は母校設立100周年、また、来年は総明会50周年という周年行事に挟まれ、今回の第49回総会・懇親会をいかに特色ある運営にて行うのか、大変苦心したのではと推察いたします。しかし、新たな世紀の幕開けである創立101周年、そして半世紀への足掛かりである49周年という輝かし年、まさにみなさま新世輝の「輝」なくしてはで

きない会と考えます。

思い起こせば、2年前、私も關紺会の面々も総明会の総会や懇親会がどのように運営されているのか良くわからず、まさに手さぐりの状態にて幹事学年の活動に臨みました。独立自治の校風の「ごく、自由闊達に企画し、ことを運べばよい」ということはわかりましたが、反面、前もってある程度全体の流れがわかれば、もっとスムーズに、もっと効率よく、運営できたのではとも思いました。そこで、次代を担うみなさま方に無理を承知で「実地参加」をお願いしました。最初は恐る恐る私どもの定例会に顔を出していた

だき、メンバーも一人増え、二人増えと、参加者が増え、そして一緒に諸先輩方の同期会等にお邪魔したりと、ともに活動していただきました。

現在の活動状況を拝見するに、私どもの反省点が随所に生かされている感じがし、無理を言って経験していただいたことが良かったのだと思います。この原稿を入稿する時期は6月末。あと5カ月後、過去49回のうち、最も素晴らし総会・懇親会が実現することを願ってやみません。

同期のメンバー力を合わせて、がんばってください。



## 次年度幹事学年挨拶

## 第50回総明会実行委員

第49回総明会総会・懇親会の開催に当たりましてお祝い申し上げます。誠にめでとうございます。この総明会が毎年開催されるのも、総明会の役員・執行部の諸先輩並びに学校関係者の皆様のためまぬご尽力があるからこそ開催出来る事であると思っております。更に、その伝統を引き継ぎ、本年度幹事学年「新世輝」諸先輩の皆様、本日までのご準備にかなりの時間、労力を費やされた事と思います。大変にお疲れ様でございます。昨年の総明会終了時から本日の準備が始まったと思いますが、私は縁でございますが、幸運にも「新世輝」の先輩方

のお手伝いをさせて頂く事が出来、公私共に多忙である世代にも関わらず、諸先輩お一人お一人が役目を果たされ、一つ一つ形にして行く様子を勉強させて頂き、「友・仲間」「明治」というのは素晴らしいものだと痛切に感じました。

この原点にかえる事が出来るのも、「総明会」があるからだと思います。高校卒業後四半世紀を過ぎ改めて母校の行事に参加出来るのは貴重な事ですし、社会人の折り返しにさしかかっているこの時期に、旧友と共に自分のおかれている現状を見つめ直し、立ち止まって考える事の出来る

時間がとれるのは、自身の人生にとりましても有意義な事だろうと思います。

諸先輩方が苦勞しながらも作ってこられたこの環境は、明治を愛する同窓同志、楽しく集い、語らう事が出来て、更に諸先輩方との新たな交流を築く事が出来る場であり、この伝統を守り、引継ぎ、発展させていく事の重要性を感じております。

私達の学年は現在名称もございませぬ。(平成25年8月時です) 同期の集まりも無く寂しい状況でございます。

来年は総明会も第50回を迎える大きな節目の年です。50年という大きく、重い伝統の「たすき」を受け取るには相応しい状況ではないのですが、

幹事学年を努めさせて頂くに当たりまして、早急に態勢を整え、この大きな責任のある年を乗り越えられる様に努力精進を致す所存です。諸先輩方が築き上げてこられた伝統は絶やすことは出来ませんが、力量不足は痛感しております。諸先輩方のご指導なくしては成し得る事の出来ない重要な年になると思っております。

次年度の幹事学年として一人でも多くの同窓の方々にご参加頂ける様に鋭意努力をし、意欲的に取り組んでいきたいと考えております。ご迷惑を多々おかけするかと存じますが、これからも諸先輩方のご指導、ご鞭撻を賜りたくよろしくお願いを申し上げます。ありがとうございます。

## 本年度幹事学年挨拶

第49回総明会実行委員長 昭和61年卒 新世輝 鶴飼 友義

「45歳になって、もう一度文化祭準備委員をやるようなもの。大人の文準だよ!」

昨年、闘紺会のみなさんから引き継ぎを頂きまして新世輝としてスタートしたばかりの頃、私は同期のみんなへそう言って参加を呼びかけておりました。幸いにも私も新世輝は、昨年1年、闘紺会の先輩方と一緒に活動させて頂けたおかげで、粗方やる事は理解しておりました。また闘紺会の方達からも「俺たち以上な」と少しばかりのプレッシャーも頂戴しておりましたので、その時分の私は幹事学年という気負いがあったの

か、去年以上の総会懇親会や会報をしつかりやり遂げる事ばかりに気がいつて周りを鼓舞するように、そのように言っていたのだと思います。

先輩方にお会いすると「たいへんだろう」「あと3ヶ月!頑張れよ」あるいは「応援しているぞ」とたくさんの心温かいエールを頂きます。幹事学年活動の大変さを良く知る先輩方は、私も幹事学年を思っただけで励ましてくれているのだと、大変ありがたい気持ちになります。

ところが最近私はもうひとつ別の感情が芽生えて参りました。それは楽しいという事。

先輩方に労いの言葉を頂く度に、大変という気持ちよりも楽しんでやっていますと返したくなるのです。

寄付のお願いや会報の編集、総会懇親会に向けての準備など確かにまだまだ気を抜けぬ事も多いです。しかしそれ以上に楽しいと思えるのは、たくさんの先輩との繋がりが出来たからだと思います。面識も無く初めて会う先輩方、当然同じ時期に在学しているほどお年が近い方ばかりでもございませぬ。ところがお会いしたその時から、こんなにも親しく、そして楽しく話しが弾むのか。何て心地よく、楽しく、そして心強いのか。この感覚が驚きでございました。まさに「ア明治ング!」

同じ出身校という事が、これほどの凝集力となるとは。そしてこの出会いがまた実に

楽しい。

もし明治高校に宿るDNAのようなものがそうさせるのであれば、この年になってからの皆様との出会いは、恐らく明中明高に入学した時点で決まっていたことなのでしょう。

私は思います。総会・懇親会・会報などをやり遂げる事以上に大事なものの、そして得られたものは、この「繋が

『頂きを目指す』

繋がる伝統を世界へ」

幹事学年のクライマックス!! 第49回総会・懇親会でみなさまにお会い出来る事を心より楽しみにしております。

**facebook.com/hatoya**

S61年卒 新世輝

鵜飼友義

お海苔好きですかあ〜?!



鵜屋海苔店

東京都中央区築地 4-14-16  
Tel & Fax 03-3541-5523

乾海苔問屋

商 標



神田 築地 神楽坂



## 第49回総明会 御寄付者一覧

総明会行事		金	九万一千円	明翔会	金	十一万六千円
チャリティゴルフ大会 参加者有志一同		金	八万八千円	明魂会	金	六万円
班クラブOB会		金		明輪会	金	九万八千円
学校関係				明心会	金	十万一千円
明治白駿会	有志一同	金	十万三千円	闘紺会	金	二十六万八千円
明大校友会	豊島地域支部	金	六万六千円	応援団OB会	金	六万一千円
同期会	班クラブOB・OG会等			吹奏楽班OB・OG会	金	五万四千円
明二会	(昭和25年卒)	金	一万二千元	歴史研究部OB会	金	四万五千円
三七会	(昭和37年卒)	金	十三万円	ごとう会	金	三万八千円
三九会	(昭和39年卒)	金	四万三千円	卯の木会	金	五万円
紫讃会	(昭和43年卒)	金	七万八千円	田村会(放送班OB会)	金	一万円
男坂倶楽部	(昭和44年卒)	金	八万七千円	ヤマダ大感謝祭	金	五万四千円
明紫会	(昭和50年卒)	金	九万八千円	第1回新世輝ゴルフコンペ参加者一同	金	二万円
明々会	(昭和51年卒)	金	八万三千円			
男子校根性組	(昭和52年卒)	金	二万円			
明誠会	(昭和54年卒)	金	十四万四千円			
紫魂会	(昭和55年卒)	金	七万六千円			

個人の寄付者

金 十三万円

鈴木 重之(昭和60年卒)

金 十万円

平野 一哉(昭和59年卒)

金 二万円

小田川玉城(昭和25年卒)

比留間竹郎(昭和45年卒)

小嶋 眞作(昭和52年卒)

金 一万二千元

町側 尚則(昭和60年卒)

金 一万円

高橋 和夫(八丈島高校昭和28年卒)

持丸 孝雄(八丈島高校昭和28年卒)

府川 利幸(昭和31年卒)

高村 光昭(昭和37年卒)

小田嶋保男(昭和43年卒)

内田 茂(昭和47年卒)

並木 清志(昭和47年卒)

廣野 宏士(昭和47年卒)

近藤 敏彦(昭和50年卒)

井家上哲史(昭和51年卒)

岡本 雅仁(昭和51年卒)

玉置 孝一(昭和54年卒)

須藤 貢一(昭和56年卒)

染谷 貴男(昭和57年卒)

寺山 裕也(昭和60年卒)

原 健治(昭和60年卒)

矢澤(西野) 徹(昭和60年卒)

中谷 英樹(昭和62年卒)

100周年記念事業寄付への御礼

総明会会長 尾島 育四郎

明治高校「創立100周年記念事業」に際して、総明会へご寄付をいただき誠にありがとうございました。

平成24年11月17日、明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモンにおいて明治大学付属明治中学校・高等学校創立100周年記念式典および祝賀会が挙行されました。この場をお借りしましてご報告をさせていただきますとともに厚く御礼申し上げます。

総明会として、総額3千万円余の寄付を母校に対しておこなうことができました。

このうち皆様方からいただきました「ご厚情は平成24年3月31日締め切り時点で305名、17,671,000円となりましたことを重ねてご報告させていただきます。

幹事学年 寄付者一覧

小峰信太郎	栗本 宜長	桐生 学	菊池 明彦	龜山 郁夫	上條 秀樹	片桐 泰裕	柏木 仁	海藤 忍	鬼澤 礼志	大和田和治	大野 敏和	大谷 良二	大江 真史	大竹口 進	宇田川和宏	宇田川安雄	白田真一郎	氏家喜久雄	鶴飼 友義	上野 拓哉	伊藤 幸一	市川 尚武	石森 諭	池田 曜	天野 賢吾
西岡 敏弘	生井 康文	中村 隆之	長田 卓史	堂野 雅之	土田 正昭	千葉 弘也	千葉 定保	田端 勉	田中 尚	竹沢 栄	高橋 誠	高橋 信康	高澤 誠司	染谷 昇司	関 寛明	隅田 耕司	杉浦 邦雄	志村 康樹	清水 敏弘	清水 稔夫	清水 孝浩	嶋田 茂之	猿田 尚弘	坂野 哲也	斎藤 秀行
	渡辺 秀明	米山 幸喜	吉原 基弘	吉野 正敏	吉田 学	横山 一実	山本 博章	矢田 浩一	守田 和弘	宮井 丈博	三浦 淳司	丸山賢一郎	松本 年一	松村 洋平	松原 利夫	馬越 英樹	本間 潤	藤代 哲	平岡 哲幸	平岩 啓史	早川 均	長谷川隆洋	萩原 健	野村真一郎	野津 真男

※総明会は、「個人情報の保護に関する法律」(個人情報保護法)に規定される個人情報取扱事業者として、独自に「個人情報の保護に関する規則」を策定し、個人情報保護法・その他の法令に照らして適正且つ公正な手段によって会員に関する情報を収集し、お預かりした情報を適切に取り扱うとともに、正確性・機密性の保持に務めてまいります。この規則は、本会報の製作にも生かされております。

御礼

第49回総明会開催並びに会報の発行に当たり、皆様より多大なるご寄付並びに広告のご掲載を賜り、深く御礼申し上げます。

昨年の12月に引き継ぎを受け、本年度は私共「新世輝」が総明会幹事学年として寄付広告の運営をさせていただきました。活動に際し、多くの諸先輩方の「明治魂」が寄付・広告の形となり、そして温かいご支援となつてご尽力いただきましたことに大変感動致しました。また、幹事学年の活動を通し、同期の仲間をはじめ、同窓の諸先輩方・後輩諸氏と交流を深めさせていただき、心より感謝致しております。

우리가母校明治高校は社会に貢献できる素晴らしい人材を多く輩出してきた伝統校でございます。今回の幹事学年の活動を通して学ばせていただいた「明治魂」を明治高校同窓生として誇りを胸に、霊峰不二を仰ぎ、刻苦研鑽して頂を目指し、これからの人生を歩んで参りたいと存じます。幹事学年として一生に一度の貴重な時間を高校時代の仲間と共に送ることができ、大変感謝いたしております。

新世輝 寄付広告委員長  
横山 一実

# 総明会(明治大学付属明治高等学校同窓会) 会則

## 第1章 総 則

### (名称)

第1条 本会は、総明会と称する。

### (目的)

第2条 本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

### (事業及び会計処理)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 母校に対する賛助活動を推進すること。
- 2 会員名簿を整備、管理すること。
- 3 会報などの広報物を発行すること。
- 4 同期会の結成を助成し、奨励すること。
- 5 支部OB会の開催を助成し、奨励すること。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

② 前項に定める事業はすべて一般会計として処理する。ただし、会長は、理

事会の議決と評議員会の承認を得て、前項1号ないし6号に定める一部もしくは全部を特別会計として処理することができる。

### (事務局、所在地)

第4条 本会の事務を行うために事務局を設ける。

② 事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

## 第2章 会 員

### (会員資格)

第5条 本会は、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業生ならびに同校に在籍したことがあるものを会員とする。

### (入会金及び終身会費)

第6条 会員は、入会の際に入会金及び終身会費を本会に納入するものとする。入会費及び終身会費の額ならびにその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長(以下「校長」という)の同意を得て定める。

### (特別会員)

第7条 母校の教職員であるもの及びその職にあったものを特別会員とする。

② 特別会員は、本会が行う事業に参加することができる。

## 第3章 役 員

### (役員の種類及び定員)

第8条 本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

② 本会に会長1人、副会長3人以内、専務理事1人、事務局長1人、会計

③ 必要であれば、本会に常務理事を若干名置くことができる。

### (役員の選任)

第9条 会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事会及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもってこれを選任する。会長及び副会長はその就任と同時に理事となる。但し、任期中途で会長及び副会長を補充す

- べき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任直後の総会において承認を得るものとする。
- ② 会長及び副会長以外の理事並びに監事(以下「会長選任役員」という)は、会員の中から、会長が選任する。会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。
- ③ 専務理事、常務理事及び事務局局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。
- ④ 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- ⑤ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いように直ちに役員を選任しなければならない。
- ⑥ 理事は評議員を兼務できない。

(理事会)

第10条 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

- ② 理事会は理事をもつて構成する。
- ③ 理事会は会長がこれを招集する。
- ④ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。
- ⑤ 理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- ⑥ 理事は書面により理事会の決議に加わることができる。
- ⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。

(会長等の職務)

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。

- ② 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順位にしたがい会長の職務を代行する。
- ③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括してつかさどり、かつ事務局を総括する。
- ④ 常務理事は、専務理事を補佐する。
- ⑤ 事務局局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。

- ⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。
- ⑦ 理事は、会務を分担する。

(監事の職務)

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。

- ② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

(名誉役員)

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。

- ② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功労のあつたものの内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。
- ③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてこれを推薦する。
- ④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問をそれぞれ推薦する。
- ⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあつた者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

## 第4章 総会及び懇親会

### (総会の招集)

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は必要のあるときに開催する。

② 総会は、会長がこれを招集する。

③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行う。

### (総会の議事)

第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。

② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。

③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

### (懇親会の開催)

第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。

② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の召集通知に準じて行う。

## 第5章 委員会

### (委員会の設置)

第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

② 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議により設置する。

③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上をもって構成する。

④ 委員長は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

⑤ 委員会は、委員長がこれを主宰する。

⑥ 委員長は、その就任と同時に理事となる。

## 第6章 評議員及び評議員会

### (評議員)

第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。また、総明会に登録した班部OB会毎に1人の評議員

を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

② 同期会が結成されていないか、もしくは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

③ 総明会に登録すべき班部OB会が結成されていないか、もしくは班部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員を置くことができない。同期会の評議員と班部OB会の評議員は兼任できない。

### (評議員の職務)

第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び班部OB会の関係で必要な事務を処理する。

② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

### (評議員会)

第20条 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

③ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものがあたり、その進行は事務局長が行う。

④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

## 第7章 同期会

(同期会)

第21条 会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

## 第8章 班部OB会

(班部OB会)

第22条 会員は、在学中在籍した班部ごとに

班部OB会を組織することができる。

② 班部OB会は、OB会名簿を整備し、

運営に関する準則を定めるものとする。

③ 班部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 班部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

## 第9章 会計

(会計の分類と会計年度)

第23条 本会の会計処理は、一般会計と特別

会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合の他、理事

会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除

いたすべての会計処理とする。

② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(基金)

第24条 理事会は、本会の財政基盤を安定さ

せ、また第3条に定める事業の遂行資金を形成するため基金を積立てる

努力をしなければならない。

② 基金は、特別会計(以下「基金特別会計」という)で処理する。

③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並び

に基金へ組入れることを目的とする寄付金(以下「特別基金」という)は、

基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支

弁することはできない。

④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもつて構成する。

⑤ 基金への組入金金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。

⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定もしくは変更する。この場合、第26条の定め(特別決議)を

準用する。

⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会におい

て承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め(特別決議)を準用する。

⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を

超える額を事業遂行基金とする。

⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に

定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁するため、理事会及び

評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができる。

- ⑩ 会長は、緊急に対処を要すると認めたる事項（以下「緊急処理事項」という）のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

- ⑪ 事業遂行基金を支弁して行う事業を検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

#### （経費）

#### 第25条

本会の経費は、入会費（ただし基金組入れ分を除く）、終身会費及び寄付金（ただし基金組入れ分を除く）並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもって支弁する。

#### （予算）

#### 第26条

会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

- ② 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

#### （決算）

#### 第27条

本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

- ② 基金特別会計の決算報告においては、財政基盤基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。

### 第10章 補 則

#### （特別決議）

#### 第28条

本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数によ

る決議によらなければならない。

#### （届出）

#### 第29条

会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

- ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

- ③ 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

#### 附 則

#### （経過措置1）

#### 第1条（年会費同期会）

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となった者が構成される同期会（以下「年会費同期会」という）が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

#### 第2条（年会費）

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

#### （経過措置2）

#### 第1条（年会費班部OB会）



班部OB会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

## 第2条 (年会費)

班部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

## (施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

## (参考)

### 改正前第7条(年会費)

同期会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

## 総明会会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

### (選出委員会の設置、解散、委員の選出)

第1条 会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。

### ② 委員会は役員改選又は補充の時期に

合わせて、十分な期間を考慮し、理事

会が設置する。

### ③ 委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。

委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

### ④ 委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

### (会長、副会長の選出、承認について)

### 第2条 委員会は、会長及び副会長の選出にあたり、推薦及び立候補を受け、その者をもって候補者とする。

### ② 候補者の中から、会長及び副会長候補者を選出する。

選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

### ③ 理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

### ④ 評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもって、これを選任する。

### (理事会の承認)

### 第3条 委員会より選出された会長候補者が

1名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

### ② 委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

### ③ 委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

### ④ 委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

### (評議員会の承認)

### 第4条 理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

### (会長、副会長の資格)

### 第5条 会長及び副会長は、総明会会員として20年以上在籍し、かつ評議員又は理事を経験していることを資格とする。

この規定は、平成18年12月3日より施行するものとする。

# 編集後記

会報を発行するに当たって、諸先輩方をはじめとする総明会関係者や金子校長、教職員の先生方、生徒さん達並びに学校関係者に多大なご尽力をいただき発行できましたことを感謝申し上げます。

私は、昨年12月に右も左もわからないまま会報委員長を拝命し、衛藤会報委員長をはじめ会報委員会の諸先輩方に毎回「叱咤激励」をいただき、企画を練り、修正するという作業を繰り返しあつという間の9か月でした。

振り返れば誌面作りで、まだまだ知恵や工夫が足りなかったのではないかと。もう少し段取りよくできたのではないかと。など思う所は多々ありますが何とか形にする事が出来たと思います。

初めてのことがばかりで大変でしたが私にとっては、先輩や同期、そして後輩と様々な年代の方々と共にできたことが何よりの経験となりました。

最後に、この会報を読んで下さった方の多くが明治高校の卒業生や在校生との繋がりを再認識し、自分なりにそれらの繋がりを考えるきっかけとなれば幸いです。

(会報委員長 野津真男)



## 住所変更時のお願い

総明会では、総明会会報・総明会からのお知らせが皆様のお手元に、一通でも多く確実に届くよう各学年の評議委員を通じて総明会会員名簿の管理を行っております。

お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが、左記総明会事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先：総明会 事務局長

**熊倉 章雄**

TEL

03-3695-0067

アドレス

a\_kumakura@ybb.ne.jp

## お礼とお詫び

この会報誌発行にあたり、多くの総明会会員の皆様から、ご寄稿及び貴重なお写真の提供をいただきました。会報委員会一同心よりお礼申し上げます。

誌面の都合上、全部を掲載することができませんでした。この場を借りてお詫び申し上げます。また、文章中においても、万人が読みやすい表現に統一をはかるため、会報委員の責任で割愛・表現を変更させていただきました。

会報委員全員で文章を校正しましたが、至らぬ点もあるかと思ひます。

何卒ご理解をいただきます様お願い申し上げます。

## 第49回 総明会実行委員会

実行委員長

鵜飼 友義

事務局

企画 土田 正昭  
予算 吉野 正敏  
清水 稔夫

名簿 白田真一郎  
長谷川隆洋

会報委員

野津 真男  
矢田 浩一  
吉原 基弘

萩原 健  
三浦 与英

式典委員

栗本 宜長  
本間 潤  
野口 容弘  
杉浦 邦雄  
千葉 弘也

松本 年一  
坂野 哲也  
中村 隆之  
外岡 理  
細野 秀樹

寄付広告委員

横山 一実  
高橋 誠

池田 曜  
菊池 明彦  
上野 拓哉  
千葉 定保  
平岡 哲幸

ゴルフ委員

片桐 泰裕  
志村 康樹  
平岩 啓史

清水 孝浩  
高澤 誠司

会計委員

清水 稔夫



## experience

都会の喧噪から離れた極上空間で紡ぐ上質な“非日常”の時間…

洗練されたホテル宴会場でのパーティーはいかがでしょう。

同窓会プラン ¥9,000 / ¥8,000 / ¥7,000 (料理、フリードリンク、室料、サービス料・消費税を含む)

詳細は宴会セールス課 T: 03 5321 3540 (直通) までお問い合わせください。

Hyatt. You're More Than Welcome.



**HYATT**  
REGENCY™

ハイアットリージェンシー 東京

160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2

T: 03 3348 1234 [tokyo.regency.hyatt.jp](http://tokyo.regency.hyatt.jp)